

能代市 高齢者福祉・介護保険に関する ニーズ調査

調査結果報告書

平成23年8月

目 次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の対象.....	3
3 調査の方法.....	3
4 調査の実施時期.....	3
5 配布・回収の結果.....	3
6 報告書の表記及び注意点について.....	4
II 調査結果①【各設問の回答状況】.....	5
1 調査対象者の基本属性.....	7
（1）調査票記入者.....	7
（2）年齢.....	7
（3）性別.....	8
（4）居住地区.....	8
（5）要介護度.....	9
2 家族や生活状況について.....	10
（1）家族構成.....	10
（2）同居人数と同居者.....	10
（3）日中の生活状況.....	11
（4）介護・介助の必要性.....	11
（5）介護・介助が必要になった主な原因.....	12
（6）主な介護者.....	13
（7）主な介護者の年齢.....	13
（8）年金の種類.....	14
（9）就労状況.....	14
（10）現在の暮らしの状況.....	15
（11）住居の形態.....	15
（12）住居の所有・賃貸の状況.....	16
（13）住まいは2階以上にあるか.....	16
（14）2階建て以上の住居のエレベーター設置の有無.....	17
3 運動・閉じこもりについて.....	18
（1）日常生活動作.....	18
（2）外出を控えているか.....	19
（3）外出を控える理由.....	19
（4）外出の頻度.....	20
（5）外出する際の移動手段.....	20
4 転倒予防について.....	21
（1）転倒予防に関すること.....	21
5 口腔・栄養について.....	22
（1）本人の身長・体重・BMI.....	22
（2）口腔・栄養.....	23
（3）入れ歯の有無.....	24
（4）入れ歯について.....	24
6 物忘れについて.....	25
（1）物忘れ.....	25
（2）判断能力.....	25
（3）意思の伝達.....	26

7	日常生活について.....	27
	(1) 日常生活の状況①.....	27
	(2) 日常生活の状況②.....	28
	(3) 日常生活の状況③.....	29
	(4) 日常生活の状況④.....	30
	(5) 日常生活の状況⑤.....	30
8	社会参加について.....	31
	(1) 日常の行動について①.....	31
	(2) 相談の状況.....	32
	(3) 相談相手.....	32
	(4) 日常の行動について②.....	33
	(5) 地域活動への参加状況.....	34
9	健康について.....	35
	(1) 主観的健康観.....	35
	(2) 治療中の病気.....	36
	(3) 服用中の薬の種類.....	37
	(4) 通院の状況.....	37
	(5) 通院の頻度.....	38
	(6) 通院に介助を要するか.....	38
	(7) 介護サービスの利用状況.....	39
	(8) 飲酒の状況.....	40
	(9) 喫煙の状況.....	40
	(10) 最近2週間の心の状況.....	41
10	高齢者の見守り、地域福祉について.....	42
	(1) 一人暮らし高齢者等を地域で見守る体制について.....	42
	(2) 地域包括支援センターの認知度.....	43
	(3) 能代市の初養老の対象年齢について.....	43
	(4) 能代市の高齢者福祉事業について.....	44
11	今後の生活についての意向.....	45
	(1) 近所の方に協力してもらいたいこと.....	45
	(2) 介護が必要になった場合に望む生活.....	46
	(3) 健康づくりや介護予防のために利用したいサービス.....	47
12	高齢者福祉・介護保険制度全般について.....	48
	(1) 介護保険料の負担感.....	48
	(2) 介護保険料と介護サービスの関係について.....	48
	(3) 介護保険制度の認知度.....	49
	(4) 行政に力をいれてほしいこと.....	50

Ⅲ 調査結果②【生活機能等の評価】.....51

1	一般高齢者の評価結果.....	53
	(1) 生活機能項目別のリスク該当者割合.....	53
	(2) 日常生活動作（ADL）の状況.....	54
2	二次予防対象者の評価結果.....	55
	(1) 生活機能項目別のリスク該当者割合.....	55
	(2) 日常生活動作（ADL）の状況.....	56
3	要支援認定者の評価結果.....	57
	(1) 生活機能項目別のリスク該当者割合.....	57
	(2) 日常生活動作（ADL）の状況.....	58
4	要介護認定者の評価結果.....	59
	(1) 生活機能項目別のリスク該当者割合.....	59
	(2) 日常生活動作（ADL）の状況.....	60

Ⅳ 調査結果③【項目別リスク分析】	61
1 運動器.....	63
(1) 男女・年齢階級別該当状況	63
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	63
2 閉じこもり.....	64
(1) 男女・年齢階級別該当状況	64
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	64
3 転倒.....	65
(1) 男女・年齢階級別該当状況	65
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	65
4 栄養.....	66
(1) 男女・年齢階級別該当状況	66
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	66
5 口腔.....	67
(1) 男女・年齢階級別該当状況	67
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	67
6 認知症予防.....	68
(1) 男女・年齢階級別該当状況	68
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	68
7 認知機能障害程度（CPS）.....	69
(1) 男女・年齢階級別該当状況	69
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	69
8 うつ予防.....	70
(1) 男女・年齢階級別該当状況	70
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	70
9 虚弱.....	71
(1) 男女・年齢階級別該当状況	71
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	71
10 基本チェックリスト得点.....	72
(1) 男女・年齢階級別該当状況	72
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	72
11 二次予防対象者.....	73
(1) 男女・年齢階級別該当状況	73
12 手段的自立度（IADL）.....	74
(1) 男女・年齢階級別該当状況	74
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	74
13 生活機能総合評価.....	75
(1) 男女・年齢階級別該当状況	75
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	75
14 日常生活動作（ADL）.....	76
(1) 男女・年齢階級別該当状況	76
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	76
(3) ADL得点累積相対度数	77
15 知的能動性.....	78
(1) 男女・年齢階級別該当状況	78
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	78
16 社会的役割.....	79
(1) 男女・年齢階級別該当状況	79
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況	79

V 調査結果④【各地区のリスク該当状況】81

各地区の対象者の基本属性（年齢・性別・要介護認定状況）	83
1 運動器.....	84
2 閉じこもり.....	84
3 転倒.....	85
4 栄養.....	85
5 口腔.....	86
6 認知症予防.....	86
7 認知機能障害程度（CPS）	87
8 うつ予防.....	87
9 虚弱.....	88
10 基本チェックリスト得点.....	88
11 二次予防対象者.....	89
12 手段的自立度（IADL）	89
13 生活機能総合評価.....	90
14 日常生活動作（ADL）	90
15 知的能動性.....	91
16 社会的役割.....	91

参考資料【判定方法】93

判定方法.....	95
1 基本チェックリスト.....	95
2 日常生活動作（ADL）	98
3 日常生活	99

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成24年度から26年度を計画期間とする「能代市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画」を策定するにあたり、市民の日常生活の状況、身体状況、健康づくりに対する意識、福祉・介護保険事業に関する意見などをうかがい、計画づくりの参考資料とし活用するために実施した。

2 調査の対象

調査対象については能代市に住む65歳以上の高齢者とし、年齢、男女、居住地区等の構成比を考慮した上で、層化無作為抽出法※により2,000サンプルを抽出した。

※母集団を調査区分ごとに地域や年齢・性別などの複数の層に分け、各層の人口に応じた比例配分によりサンプル数を定め、そこから無作為にサンプルを選び出す方法。

3 調査の方法

郵送による配布・回収

4 調査の実施時期

平成23年6月～7月

5 配布・回収の結果

配布数	①回収数 【回収率】	無効回答 (※)	②有効回答 【有効回答率】
2,000件	1,264件 【63.2%】	2件	1,262件 【63.1%】

※無効回答については、白紙またはそれに準ずるものを無効とした。

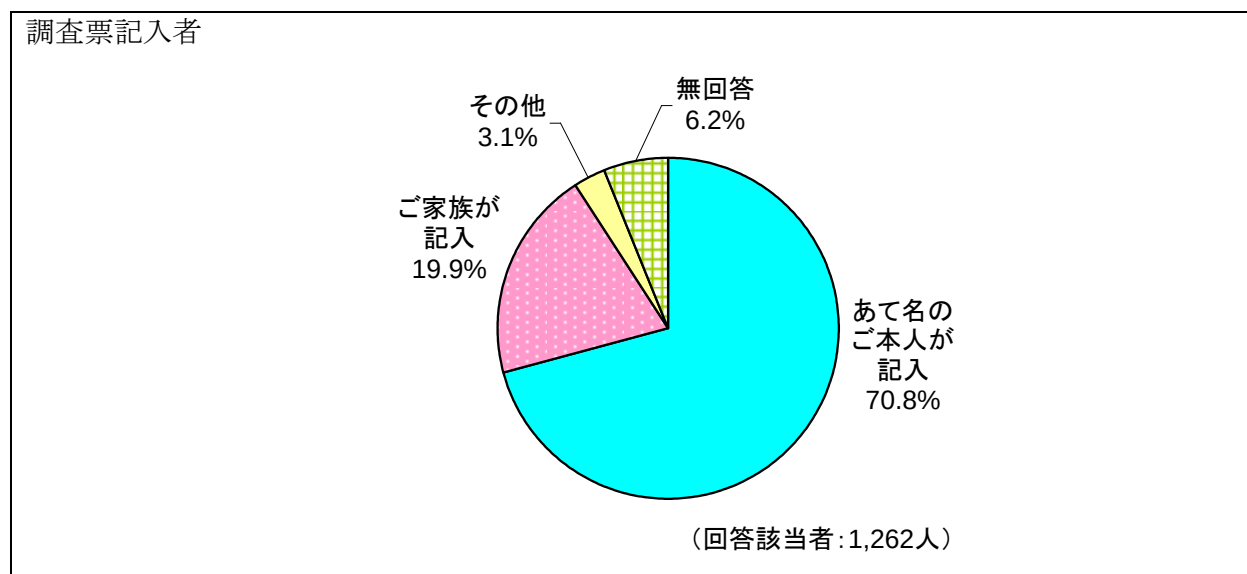
6 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（％）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0％にならない場合がある。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているので、回答比率の合計は100.0％を超える。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「回答該当者」と表記し、その数を表している。

Ⅱ 調査結果①【各設問の回答状況】

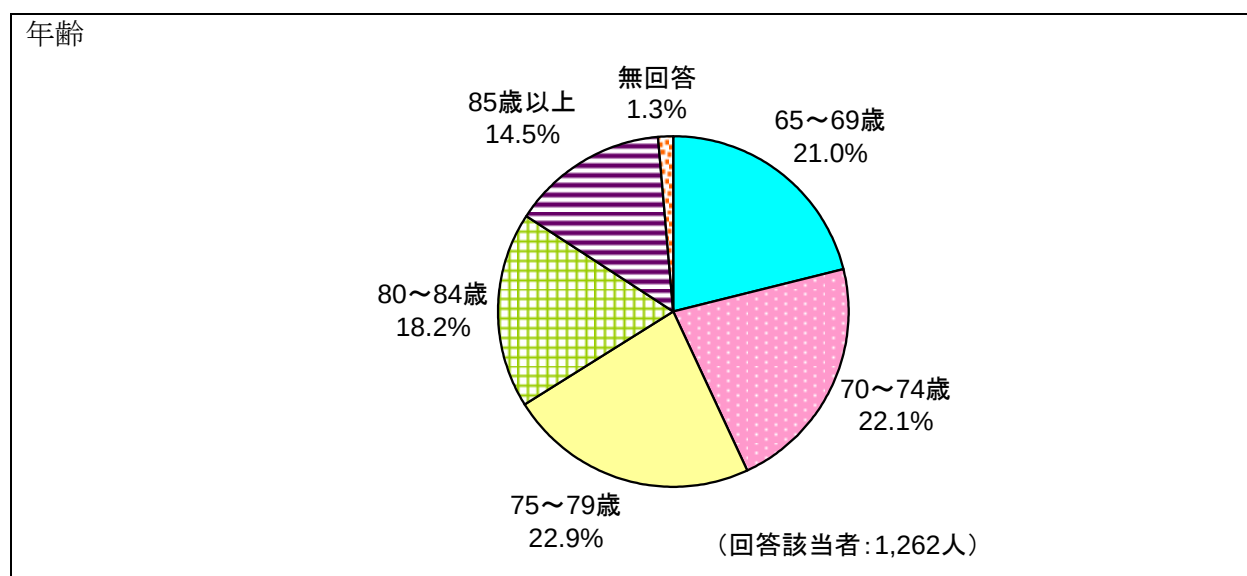
1 調査対象者の基本属性

(1) 調査票記入者



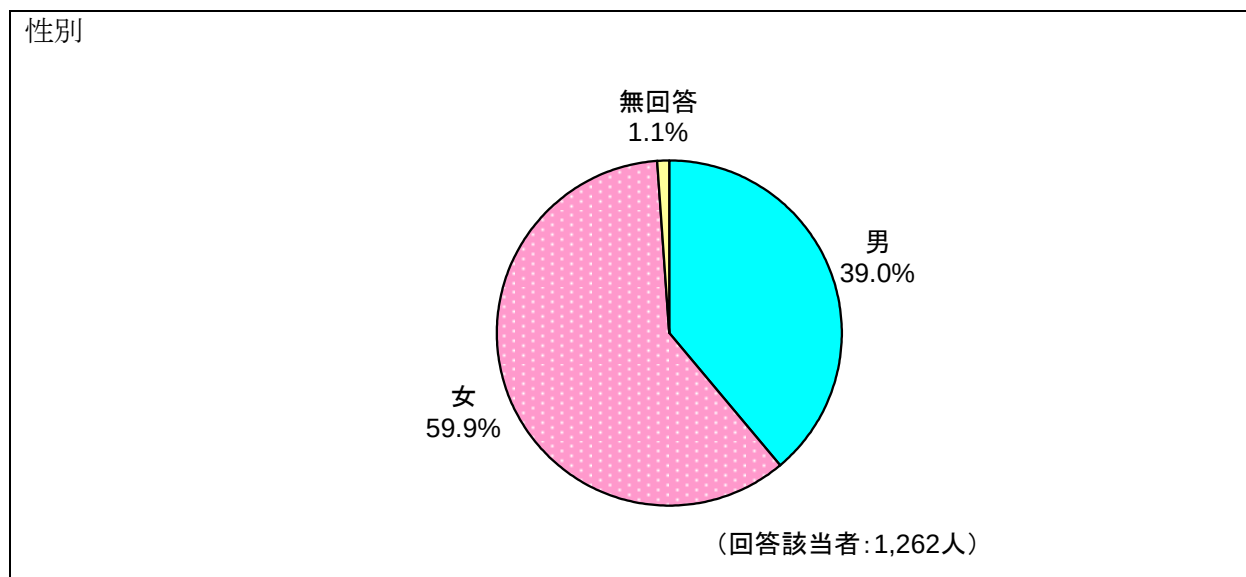
調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が70.8%で過半数を占めているほか、「ご家族が記入」が19.9%となっている。

(2) 年齢



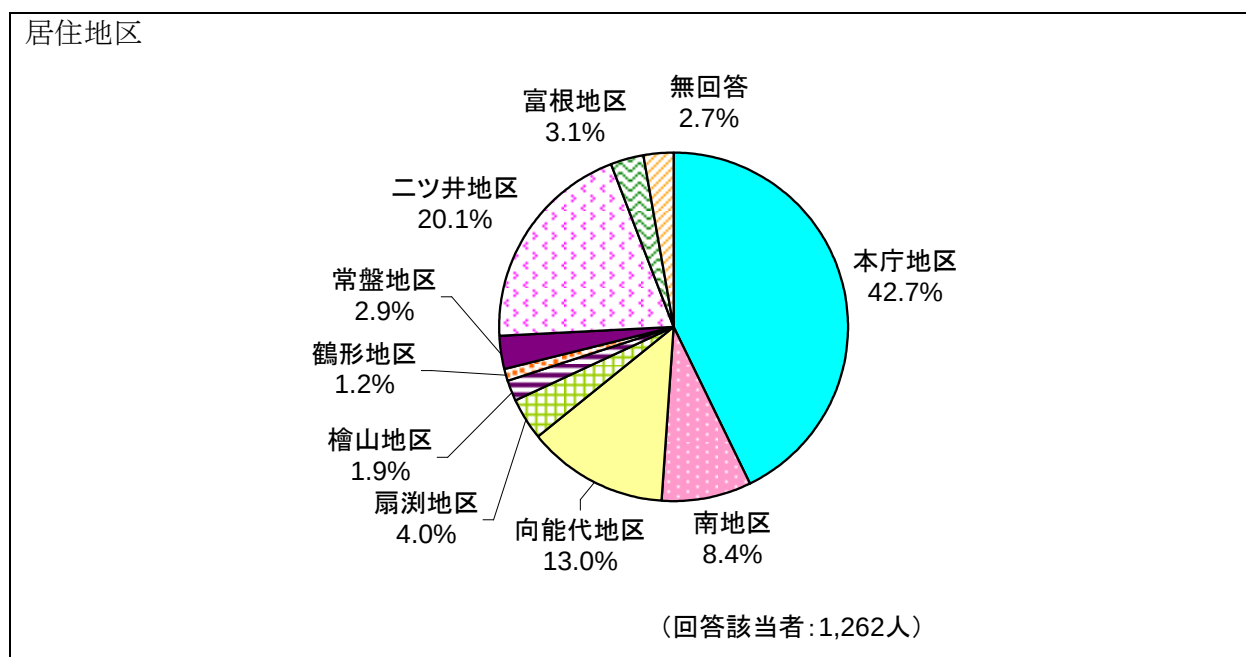
年齢は、「70～74歳」が22.1%で最も多く、以下、「65～69歳」(21.0%)、「75～79歳」(22.9%)、「80～84歳」(18.2%)、「85歳以上」(14.5%)と続いている。

(3) 性別



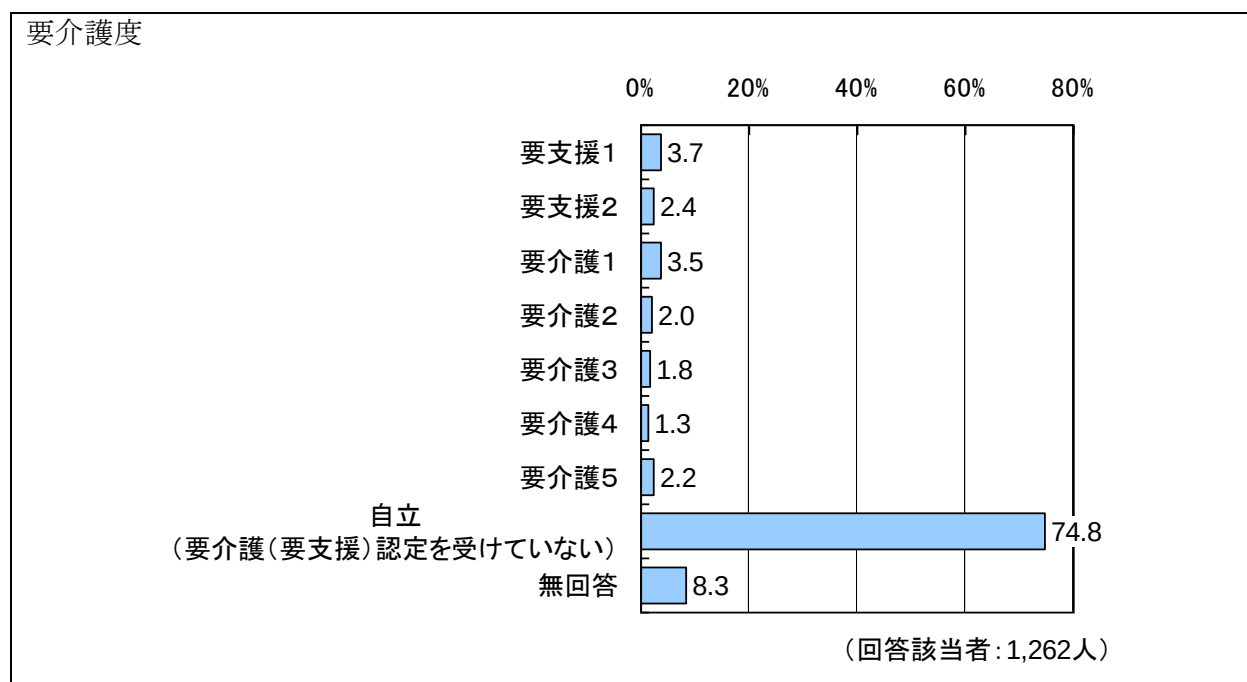
性別は、「男」が39.0%、「女」が59.9%で、「女」の割合が「男」の割合を上回っている。

(4) 居住地区



居住地区は、「本庁地区」が42.7%で最も多く、以下、「二ツ井地区」(20.1%)、「向能代地区」(13.0%)、「南地区」(8.4%)、「扇淵地区」(4.0%)、「富根地区」(3.1%)、「常盤地区」(2.9%)、「檜山地区」(1.9%)、「鶴形地区」(1.2%)の順となっている。

(5) 要介護度



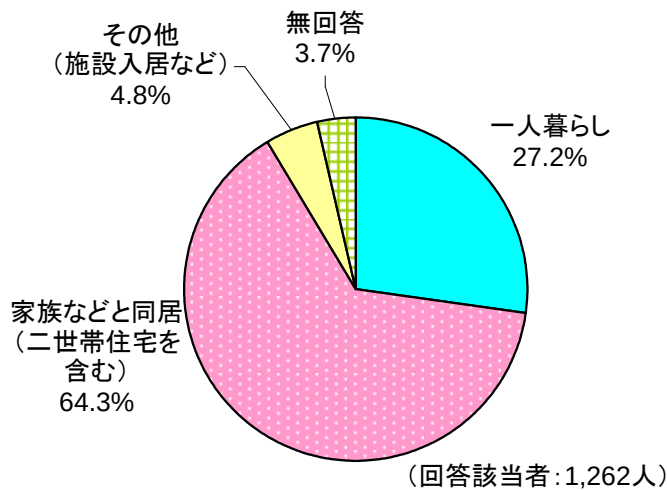
要介護度は、「要支援1」が3.7%で最も多く、以下、「要介護1」(3.5%)、「要支援2」(2.4%)、「要介護5」(2.2%)、「要介護2」(2.0%)、「要介護3」(1.8%)、「要介護4」(1.3%)と続いている。

なお、74.8%は「自立(要介護(要支援)認定を受けていない)」であることが分かる。

2 家族や生活状況について

(1) 家族構成

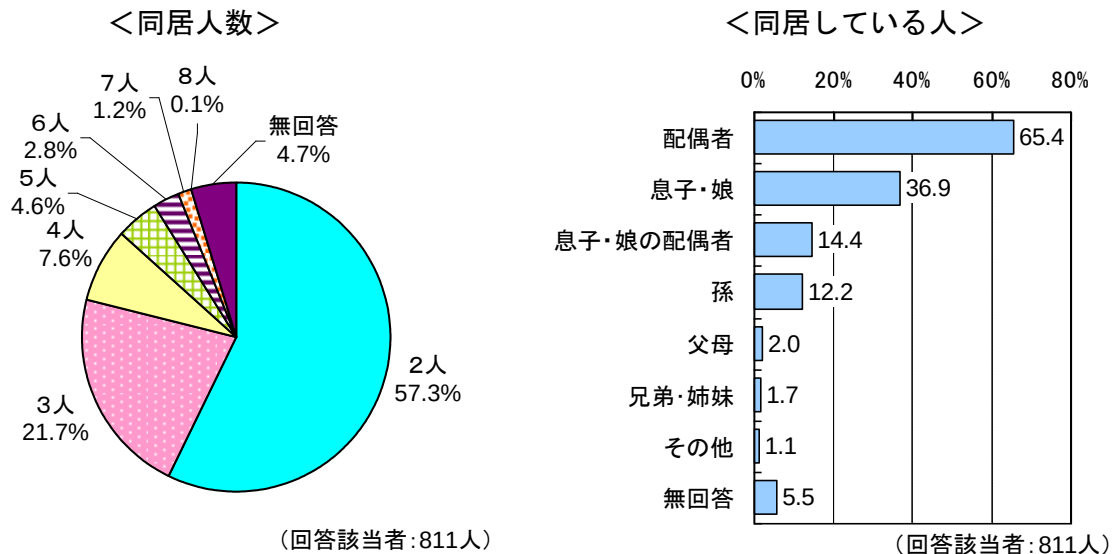
問1 家族構成をお教えてください。(1つ)



家族構成については、「家族など同居（二世帯住宅を含む）」が64.3%で圧倒的に多く、以下、「一人暮らし」が27.2%、「その他（施設入居など）」が4.8%となっている。

(2) 同居人数と同居者

問1-1 問1で「2. 家族など同居（二世帯住宅を含む）」とお答えの方にお聞きます。ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。(いくつでも)

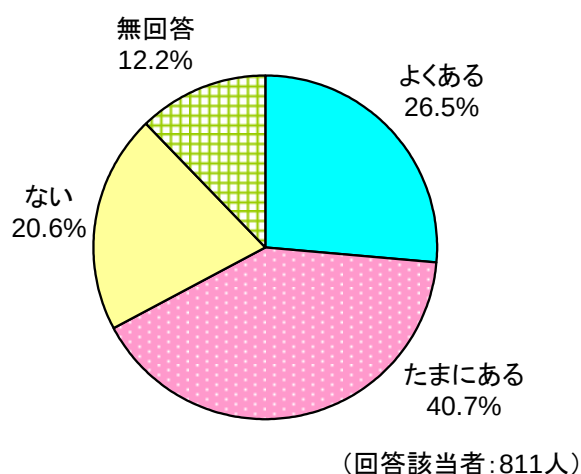


問1で「2. 家族など同居（二世帯住宅を含む）」と回答した811人に、同居人数及び誰と同居しているかを尋ねたところ、同居人数については「2人」が57.3%で最も多く、以下、「3人」（21.7%）、「4人」（7.6%）、「5人」（4.6%）、「6人」（2.8%）などと続き、同居人数は多くなるにつれて構成比は少なくなっている。

同居している人については、「配偶者」が65.4%で最も多く、以下、「息子・娘」（36.9%）、「息子・娘の配偶者」（14.4%）、「孫」（12.2%）などが多くなっている。

(3) 日中の生活状況

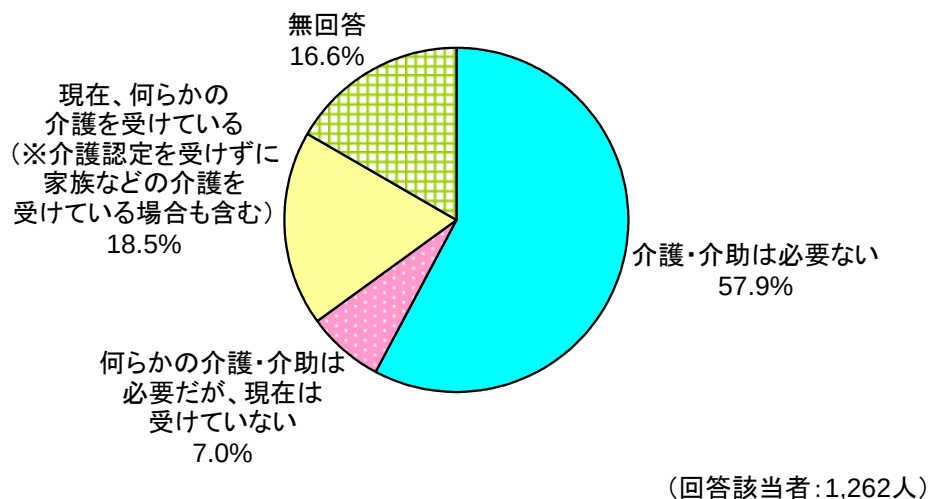
問1-2 問1で「2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）」とお答えの方にお聞きします。
日中、あなた一人になることがありますか（1つ）



問1で「2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）」と回答した811人に、日中あなた一人になることがあるか尋ねたところ、「たまにある」が40.7%で最も多く、以下、「よくある」が26.5%、「ない」が20.6%と続いている。

(4) 介護・介助の必要性

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つ）

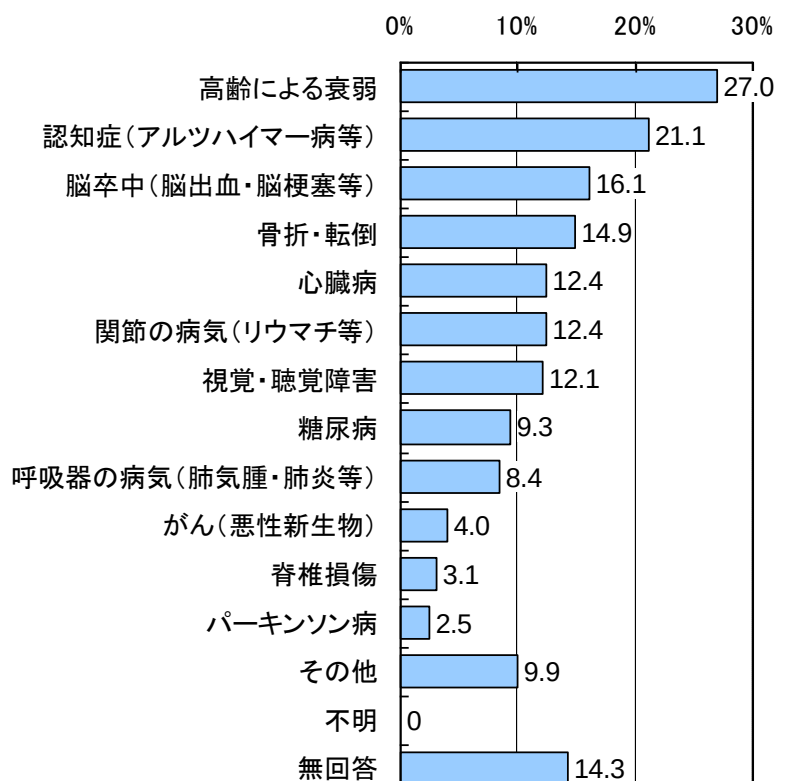


普段の生活で介護・介助が必要かでは、「介護・介助は必要ない」が57.9%と過半数を占めて最も多くなっており、以下、「現在、何らかの介護を受けている（※介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が18.5%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.0%となっている。

(5) 介護・介助が必要になった主な原因

問2-1 問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（いくつでも）

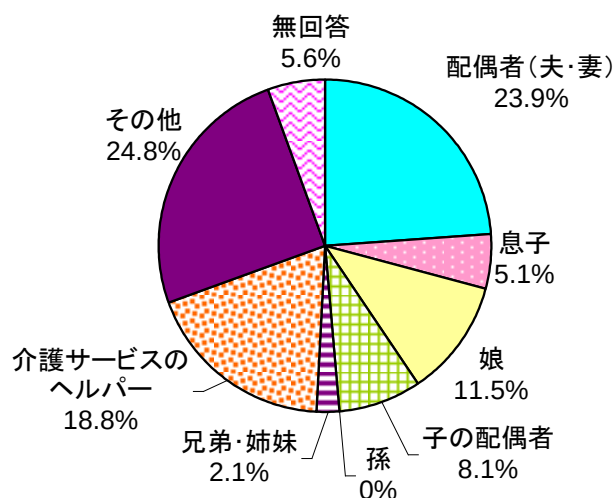


(回答該当者:322人)

問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した322人に、介護・介助が必要になった原因を尋ねたところ、「高齢による衰弱」が27.0%で最も多く、以下、「認知症（アルツハイマー病等）」（21.1%）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（16.1%）、「骨折・転倒」（14.9%）、「心臓病」、「関節の病気（リウマチ等）」（いずれも12.4%）、「視覚・聴覚障害」（12.1%）、「糖尿病」（9.3%）、「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」（8.4%）などが比較的多く挙げられている。

(6) 主な介護者

問2-2 問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。
主にどなたの介護・介助を受けていますか。(1つ)

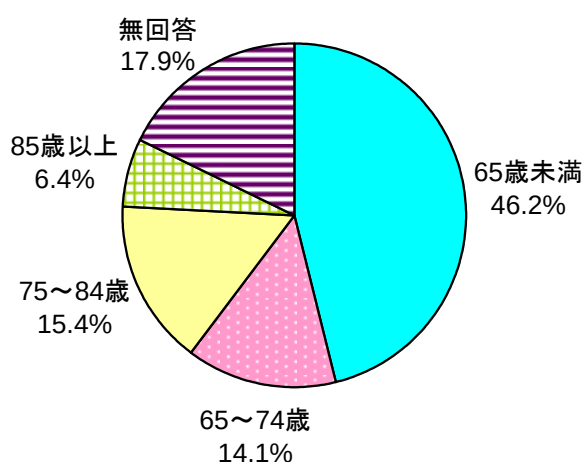


(回答該当者:234人)

問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した234人に、主な介護者・介助者を尋ねたところ、「配偶者(夫・妻)」が23.9%で最も多く、以下、「介護サービスのヘルパー」(18.8%)、「娘」(11.5%)、「子の配偶者」(8.1%)、「息子」(5.1%)、「兄弟・姉妹」(2.1%)と続いている。なお、24.8%を占める「その他」については、施設職員あるいは施設、グループホームなどの回答が多くみられた。

(7) 主な介護者の年齢

問2-3 問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。
主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。(1つ)

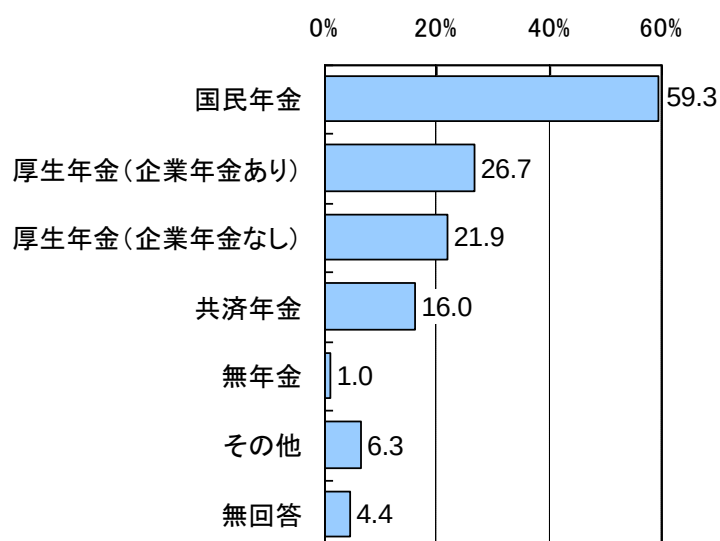


(回答該当者:234人)

問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した234人に、主な介護者・介助者の年齢を尋ねたところ、「65歳未満」が46.2%で最も多く、以下、「75～84歳」(15.4%)、「65～74歳」(14.1%)、「85歳以上」(6.4%)と続いている。このことから、高齢者が高齢者を介護・介助している割合は、3割以上を占めていることが分かる。

（８）年金の種類

問３ 現在、受給されている年金の種類は次のどれですか。（いくつでも）

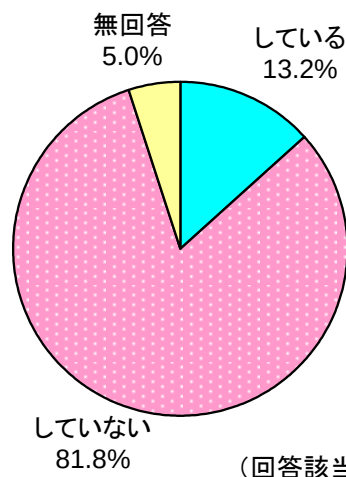


（回答該当者：1,262人）

年金の種類については、「国民年金」が59.3%で最も多く、以下、「厚生年金（企業年金あり）」（26.7%）、「厚生年金（企業年金なし）」（21.9%）、「共済年金」（16.0%）などとなっている。また、1.0%は、「無年金」と回答している。

（９）就労状況

問４ 現在、収入のある仕事をしていますか。（１つ）

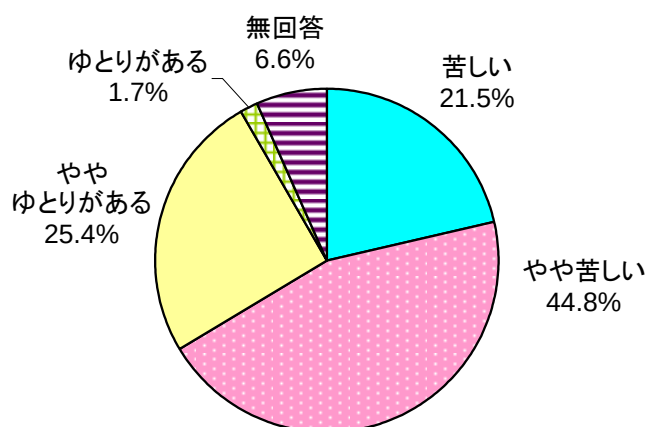


（回答該当者：1,262人）

現在、収入のある仕事をしているかについては、「していない」が81.8%で圧倒的に多く、「している」は13.2%となっている。

(10) 現在の暮らしの状況

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つ）

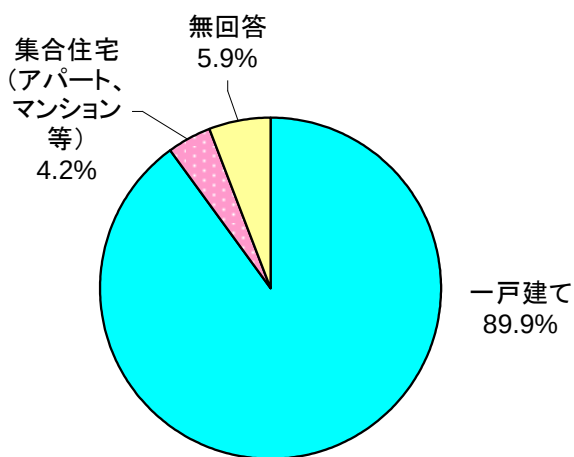


（回答該当者：1,262人）

現在の暮らしの状況では、「やや苦しい」が44.8%で最も多く、以下、「ややゆとりがある」（25.4%）、「苦しい」（21.5%）、「ゆとりがある」（1.7%）となっている。大別して、生活が苦しいと感じる割合（「やや苦しい」及び「苦しい」の合計）は66.3%で、生活にゆとりがあると感じる割合（「ゆとりがある」及び「ややゆとりがある」及びの合計）の27.1%を大きく上回っている。

(11) 住居の形態

問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（1つ）

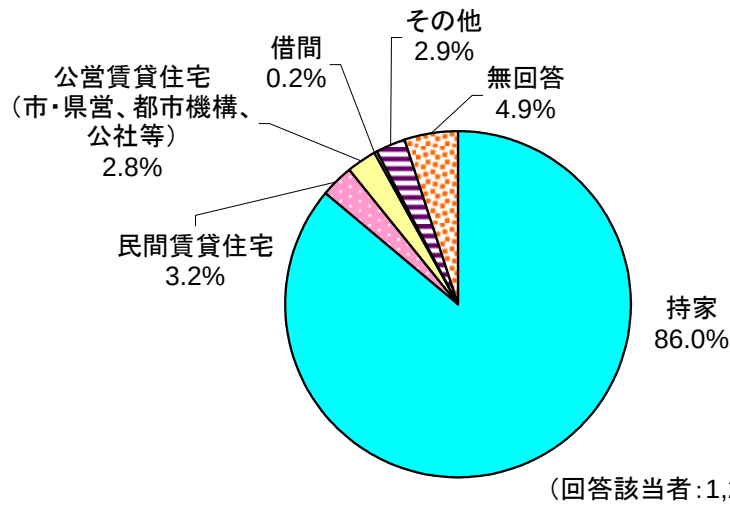


（回答該当者：1,262人）

一戸建てか集合住宅かについては、「一戸建て」が89.9%と大半を占め、「集合住宅（アパート、マンション等）」は4.2%となっている。

(12) 住居の所有・賃貸の状況

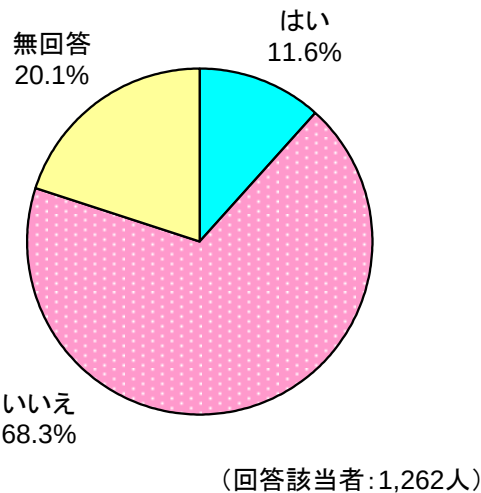
問7 お住まいは、次のどれにあたりますか。（1つ）



住居の所有・賃貸の状況については、「持家」が86.0%と圧倒的に多く、以下、「民間賃貸住宅」（3.2%）、「公営賃貸住宅（市・県営、都市機構、公社等）」（2.8%）、「借間」（0.2%）などと続いている。

(13) 住まいは2階以上にあるか

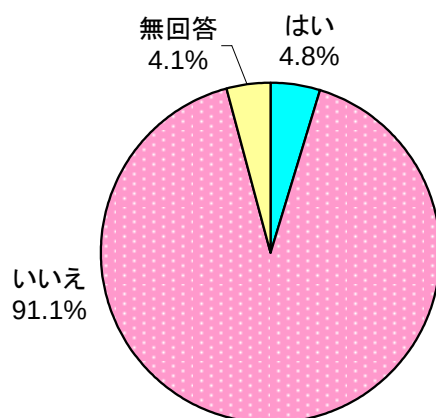
問8 お住まい（一戸建ての場合は、主に生活する部屋）は2階以上にありますか。（1つ）



住まい（一戸建ての場合は、主に生活する部屋）が2階以上かどうかでは、11.6%が「はい」と回答している。

(14) 2階建て以上の住居のエレベーター設置の有無

問8-1 問8で「1. はい」と答えた方（2階以上の方）にお聞きします。
お住まいにエレベーターは設置されていますか。（1つ）



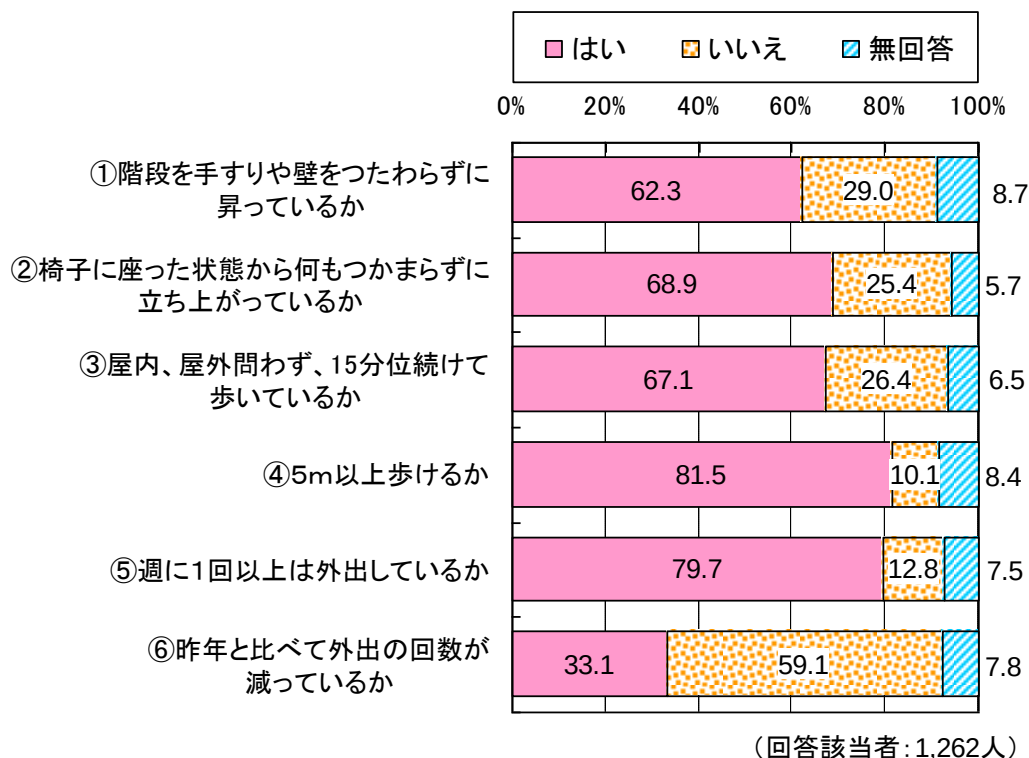
（回答該当者:146人）

問8で住まい（一戸建ての場合は、主に生活する部屋）が2階以上であると回答した146人に、エレベーターの設置状況を尋ねたところ、「はい」が4.8%であるのに対し、「いいえ」が91.1%と圧倒的に多くを占めている。

3 運動・閉じこもりについて

(1) 日常生活動作

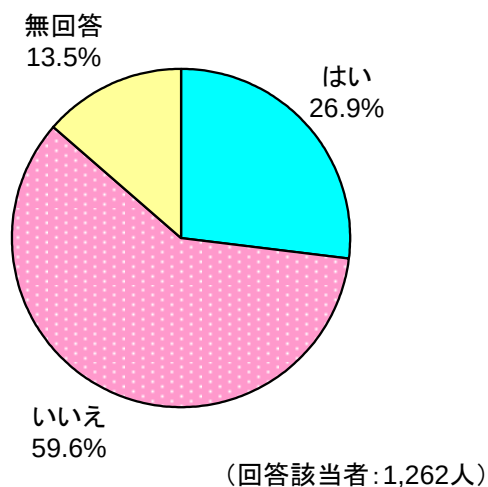
問9 日常の生活動作についてうかがいます。（それぞれ1つ）



日常生活動作に関する各項目のチェック該当割合は、「⑥昨年と比べて外出の回数が減っているか」が33.1%（「はい」）で最も高く、以下、「①階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか」（29.0%：「いいえ」）、「③屋内、屋外を問わず、15分位続けて歩いているか」（26.4%：「いいえ」）、「②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか」（25.4%：「いいえ」）、「⑤週に1回以上は外出しているか」（12.8%：「いいえ」）、「④5 m以上歩けるか」（10.1%：「いいえ」）の順となっている。

(2) 外出を控えているか

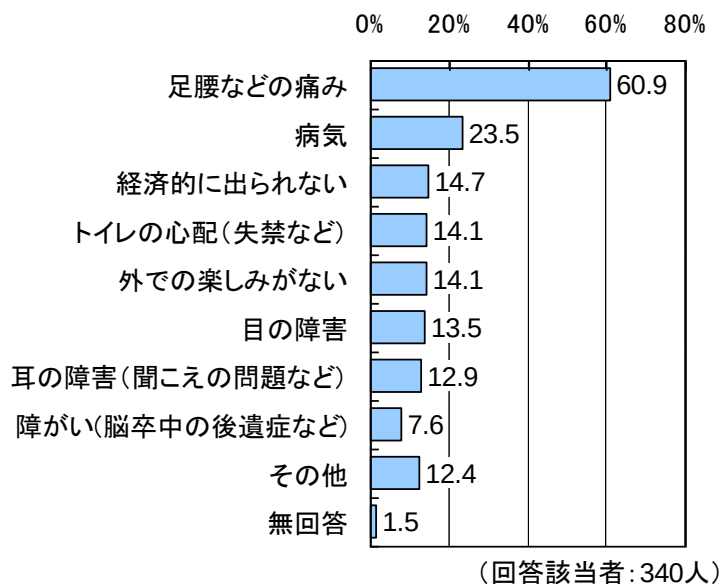
問10 外出を控えていますか。(1つ)



外出を控えているか尋ねたところ、「いいえ」が59.6%と過半数を占め、「はい」の26.9%を上回っている。

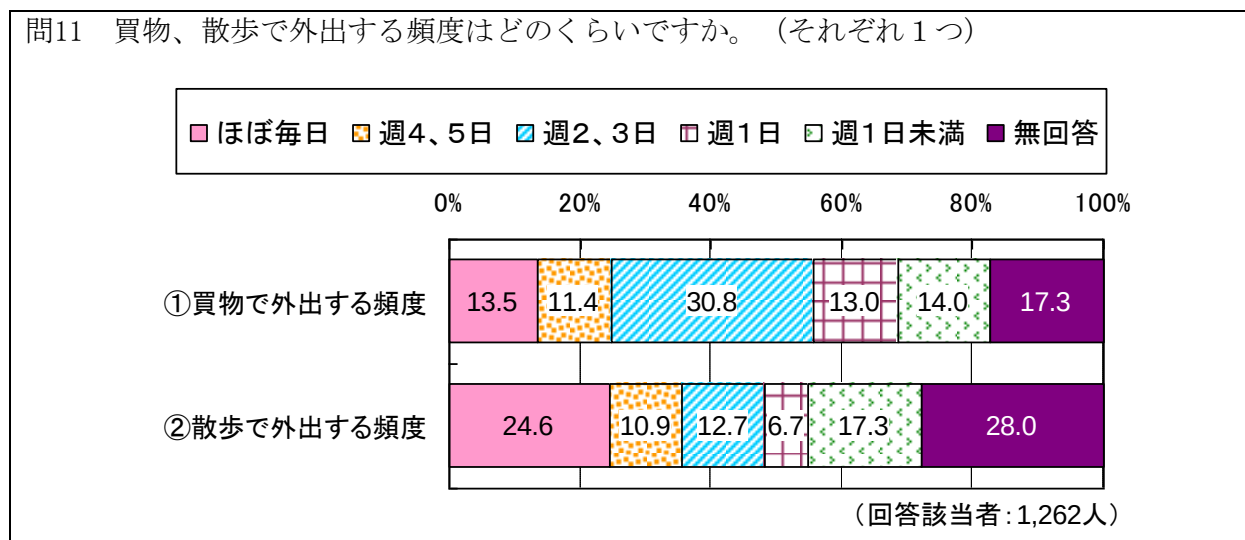
(3) 外出を控える理由

問10-1 問10で「1. はい」と答えた方(外出を控えている方)にお聞きします。
外出を控える理由は、次のどれですか。(いくつでも)



問10で外出を控えていると回答した340人に、その理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」が60.9%で最も多く、以下、「病気」(23.5%)、「経済的に出られない」(14.7%)、「トイレの心配(失禁など)」、「外での楽しみがない」(いずれも14.1%)、「目の障害」(13.5%)、「耳の障害(聞こえの問題など)」(12.9%)、「障がい(脳卒中の後遺症など)」(7.6%)となっている。また、「その他」については、歩行が困難、体力の衰えや疲れ、自分の意思、家族の介護をしているためなどの内容がみられた。

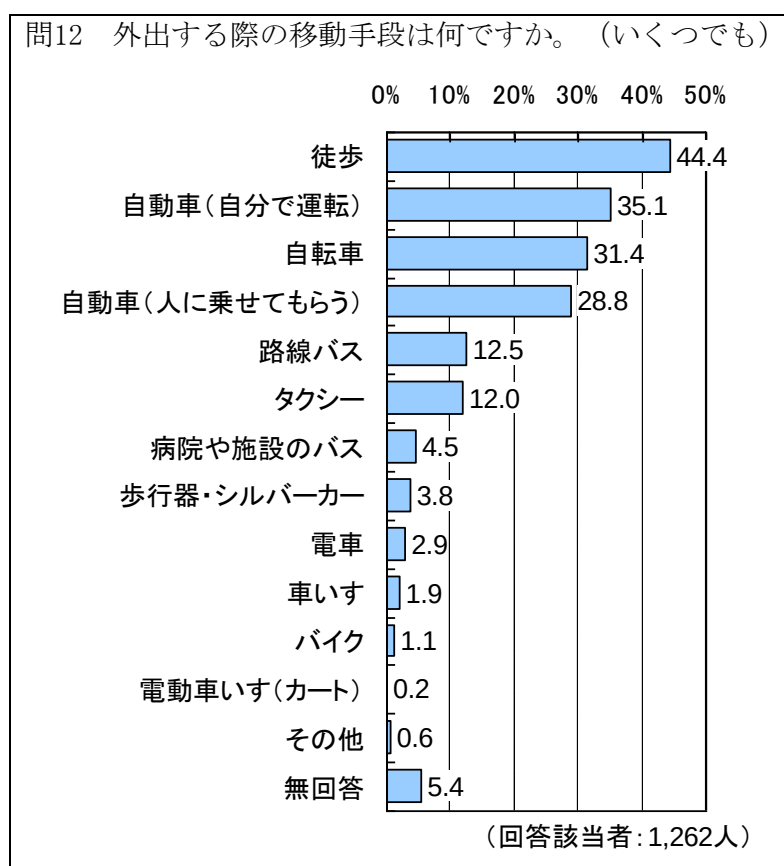
(4) 外出の頻度



外出の頻度については、「①買物で外出する頻度」は「週2、3日」が30.8%で最も多く、以下、「週1日未満」(14.0%)、「ほぼ毎日」(13.5%)、「週1日」(13.0%)などの順となっている。

また、「②散歩で外出する頻度」は「ほぼ毎日」が24.6%で最も多く、以下、「週1日未満」(17.3%)、「週2、3日」(12.7%)などが多くなっている。

(5) 外出する際の移動手段

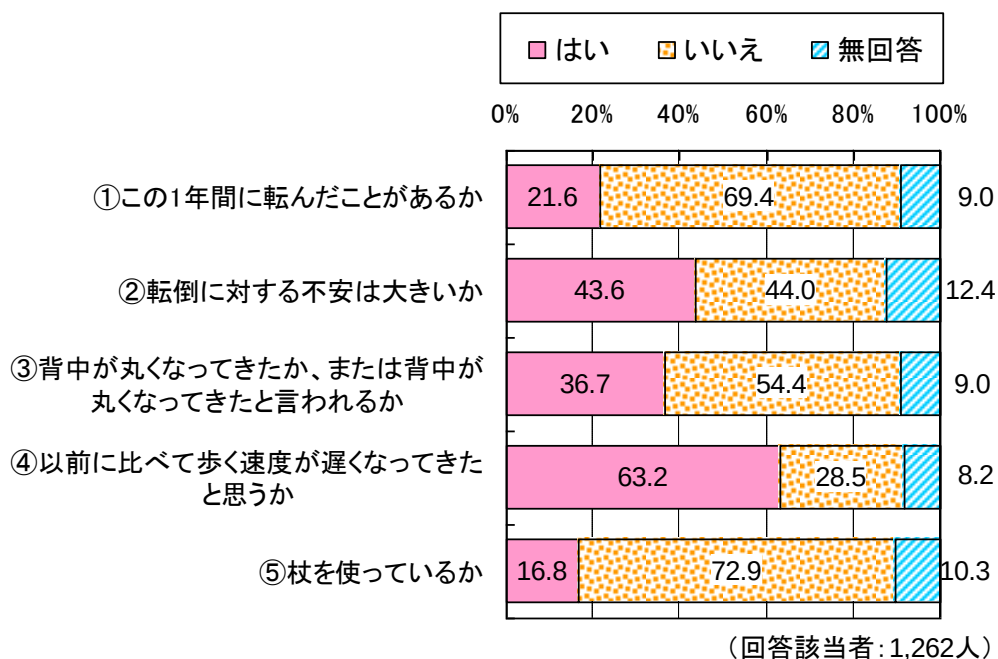


外出する際の移動手段については、「徒歩」が44.4%で最も多く、以下、「自動車(自分で運転)」(35.1%)、「自転車」(31.4%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(28.8%)、「路線バス」(12.5%)、「タクシー」(12.0%)などが比較的多く挙げられている。

4 転倒予防について

(1) 転倒予防に関すること

問13 転倒予防についてうかがいます。（それぞれ1つ）



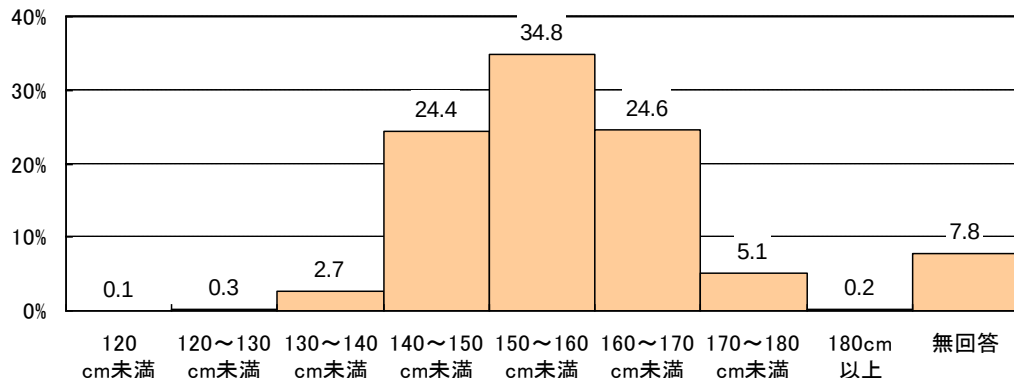
転倒予防に関する各項目のチェック該当（いずれも「はい」）割合は、「④以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか」が63.2%で最も高く、以下、「②転倒に対する不安は大きい」（43.6%）、「③背中が丸くなってきたか、または背中が丸くなってきたと言われるか」（36.7%）、「①この1年間に転んだことがあるか」（21.6%）、「⑤杖を使っているか」（16.8%）の順となっている。

5 口腔・栄養について

(1) 本人の身長・体重・BMI

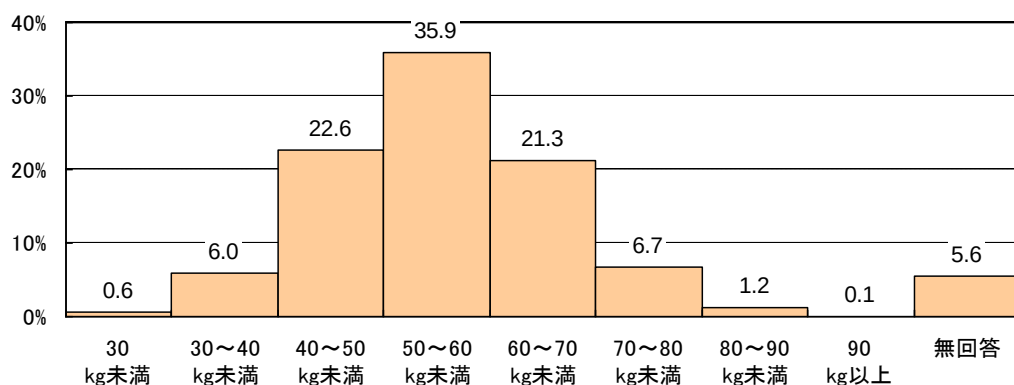
問14 ご本人の身長、体重をお答えください。

<身長>



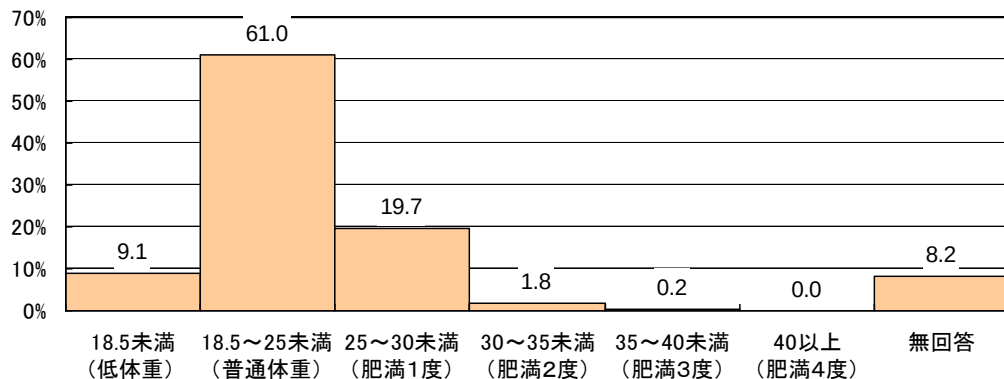
(回答該当者: 1,262人)

<体重>



(回答該当者: 1,262人)

<BMI>



(回答該当者: 1,262人)

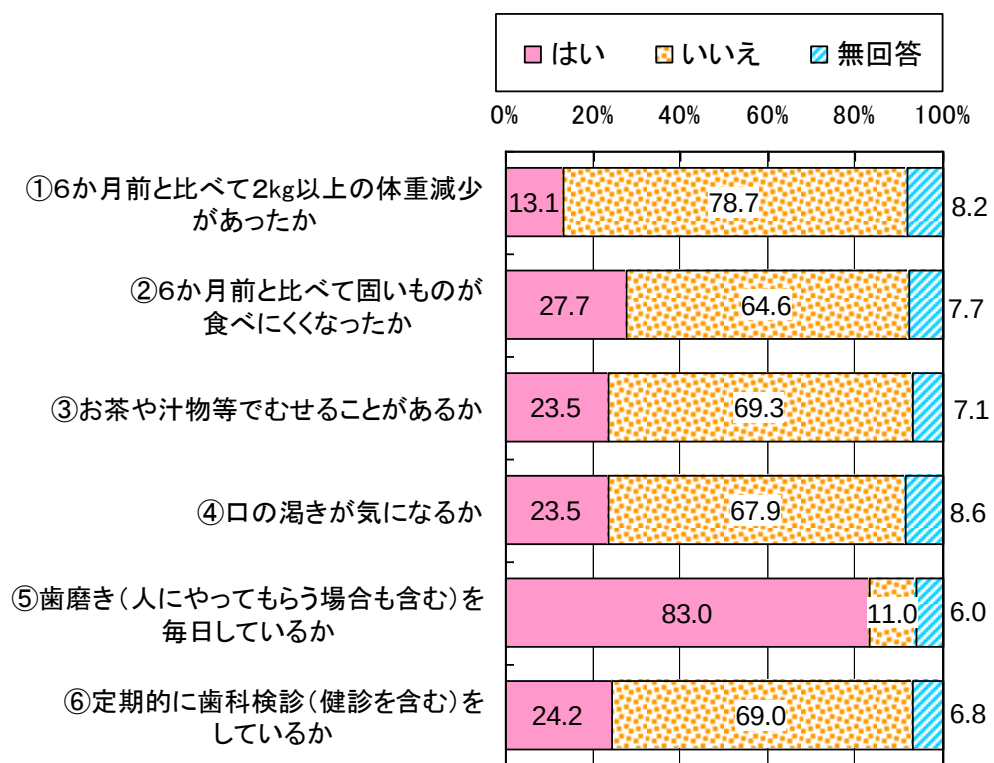
身長は、「150～160cm未満」が34.8%で最も多く、以下、「160～170cm未満」(24.6%)、「140～150cm未満」(24.4%)などと続いている。

また、体重は、「50～60kg」が35.9%で最も多く、以下、「40～50kg未満」(22.6%)、「60～70kg未満」(21.3%)、「70～80kg未満」(6.7%)などと続いている。

さらに、BMIについては、「18.5～25未満(普通体重)」が61.0%で最も多く、以下、「25～30未満(肥満1度)」(19.7%)、「18.5未満(低体重)」(9.1%)、「30～35未満(肥満2度)」(1.8%)などと続いている。

(2) 口腔・栄養

問15 口腔・栄養についてうかがいます。（それぞれ1つ）

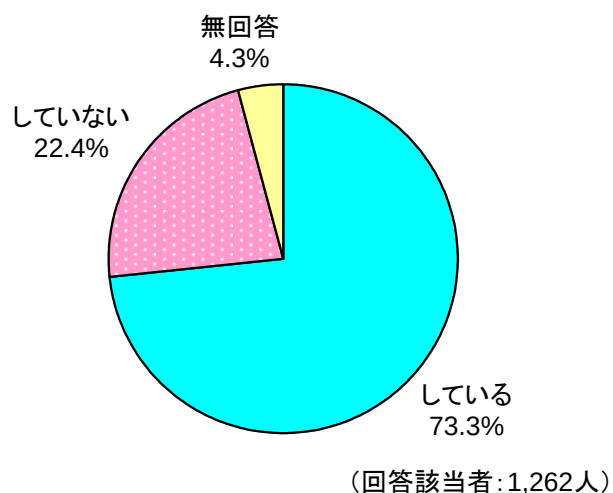


(回答該当者: 1,262人)

口腔・栄養に関する各項目のチェック該当割合は、「⑥定期的に歯科検診（健診を含む）をしているか」が69.0%（「いいえ」）で最も高く、以下、「②6か月前と比べて固いものが食べにくくなったか」（27.7%：「はい」）、「③お茶や汁物等でむせることがあるか」、「④口の渇きが気になるか」（いずれも23.5%：いずれも「はい」）、「①6か月前と比べて2kg以上の体重減少があったか」（13.1%：「はい」）、「⑤歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているか」（11.0%：「いいえ」）の順となっている。

(3) 入れ歯の有無

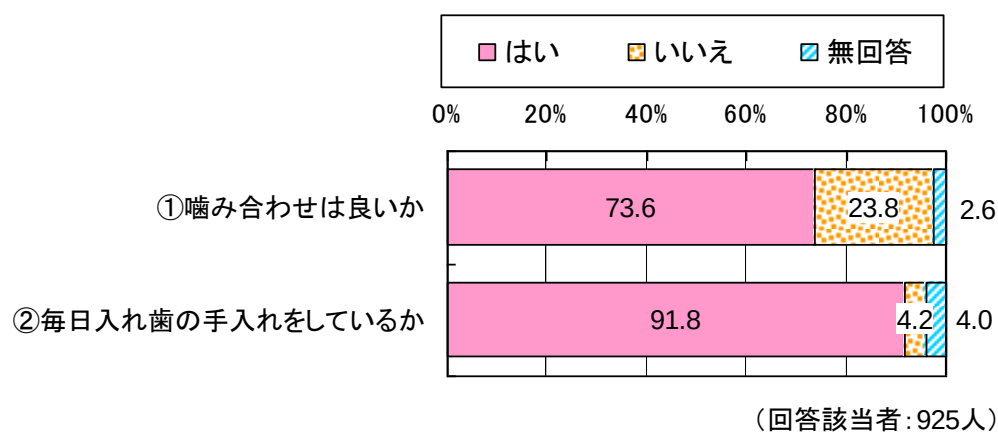
問16 入れ歯（部分入れ歯を含む）を使用していますか。（1つ）



入れ歯（部分入れ歯を含む）をしているかでは、「している」が73.3%を占めている。

(4) 入れ歯について

問16-1 問16で「1. している」と回答した方（入れ歯のある方）にお聞きます。
（それぞれ1つ）

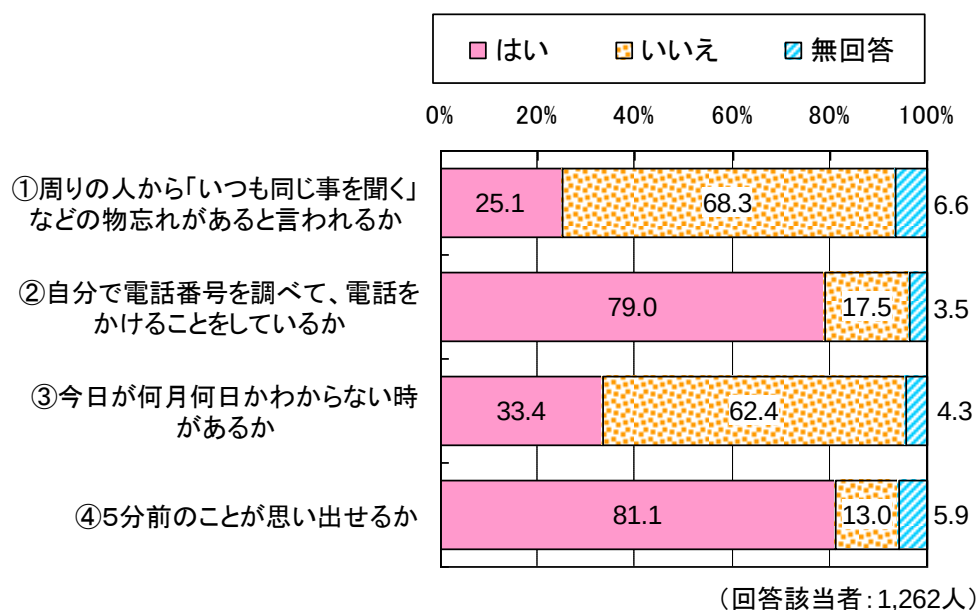


問16で入れ歯（部分入れ歯を含む）をしていると回答した925人に、入れ歯に関することについて尋ねたところ、「①噛み合わせはよいか」では、「はい」が73.6%、「②毎日入れ歯の手入れをしているか」では、「はい」が91.8%をそれぞれ占めている。

6 物忘れについて

(1) 物忘れ

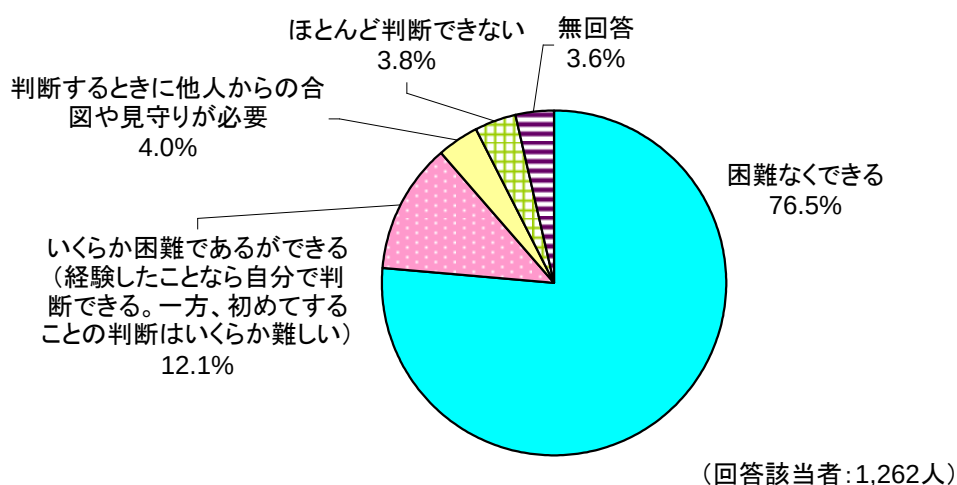
問17 物忘れについてうかがいます。（それぞれ1つ）



物忘れに関する各項目のチェック該当割合は、「③今日が何月何日かわからない時があるか」が33.4%（「はい」）で最も多く、以下、「①周りの人から『いつも同じ事を聞く』などの物忘れがあるとされるか」（25.1%：「はい」）、「②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか」（17.5%：「いいえ」）、「④5分前のことが思い出せるか」（13.0%：「いいえ」）の順となっている。

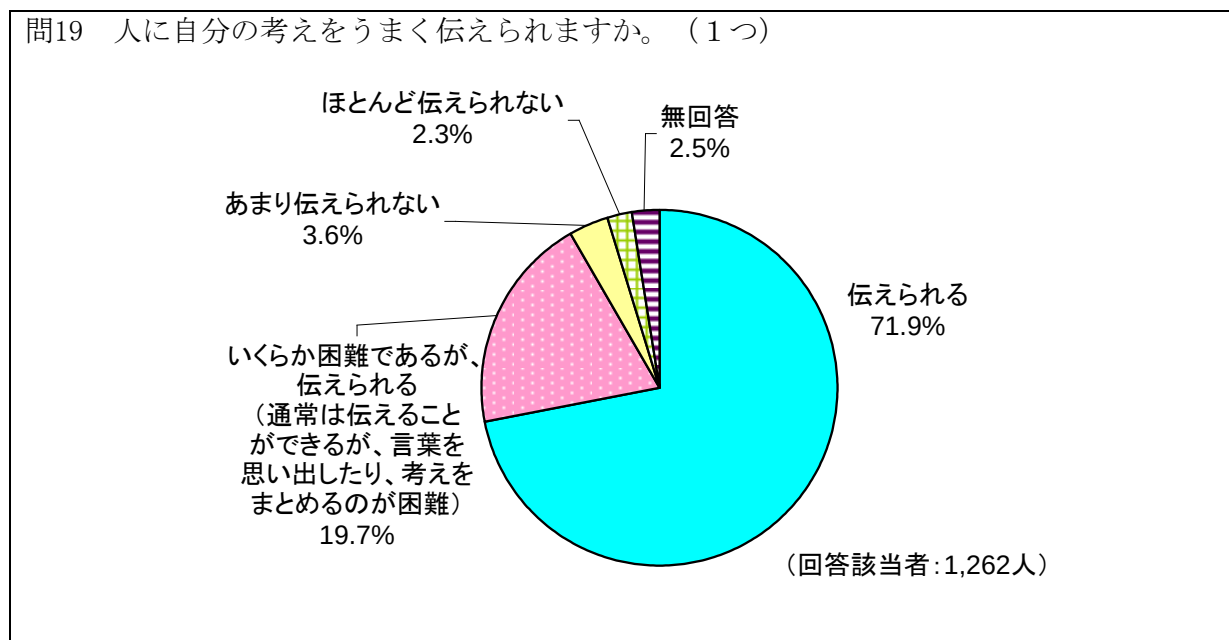
(2) 判断能力

問18 その日の行動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。（1つ）



その日の行動を自分で判断できるかでは、「困難なくできる」が76.5%で最も多く、以下、「いくらか困難であるができる（経験したことなら自分で判断できる。一方、初めてすることの判断はいくらか難しい）」（12.1%）、「判断するときに他人からの合図や見守りが必要」（4.0%）、「ほとんど判断できない」（3.8%）となっている。

(3) 意思の伝達

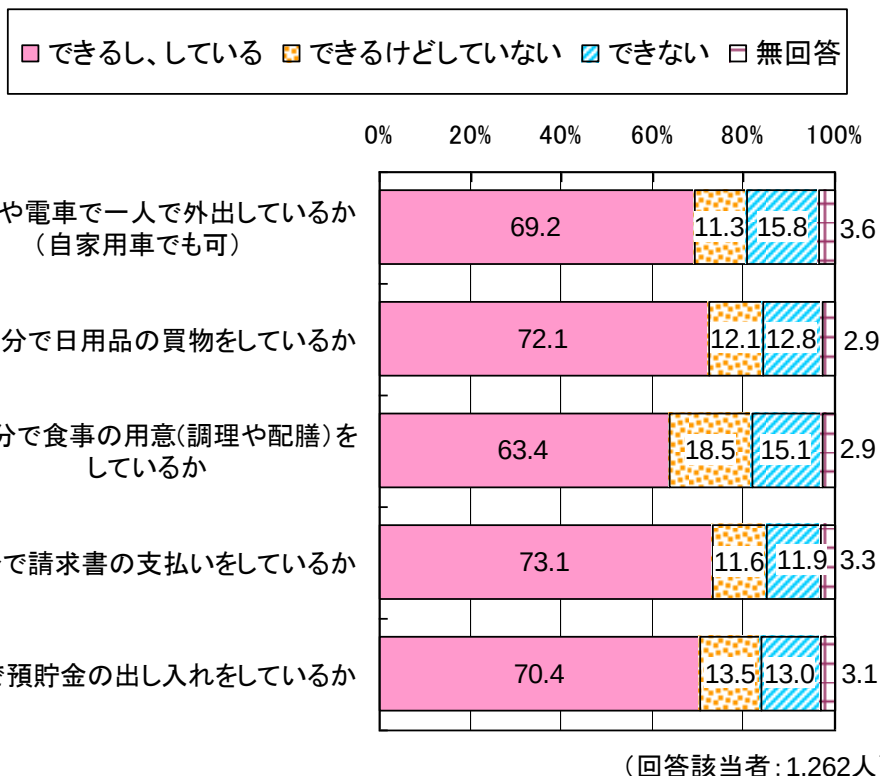


人に自分の考えをうまく伝えられるかでは、「伝えられる」が71.9%で最も多く、以下、「いくらか困難であるが、伝えられる（通常は伝えることができるが、言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難）」が19.7%、「あまり伝えられない」が3.6%、「ほとんど伝えられない」が2.3%となっている。

7 日常生活について

(1) 日常生活の状況①

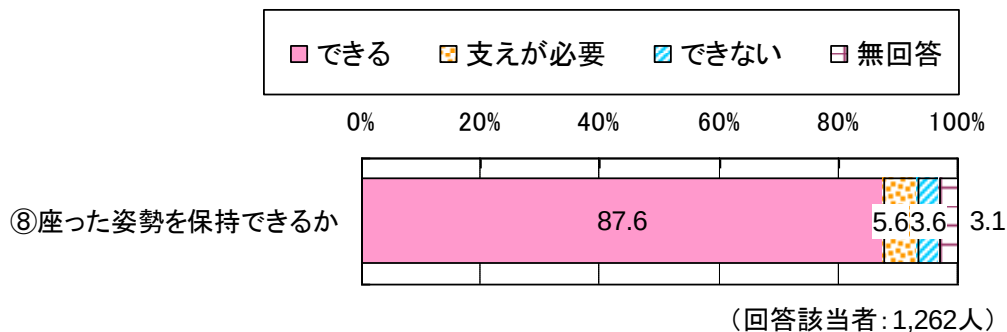
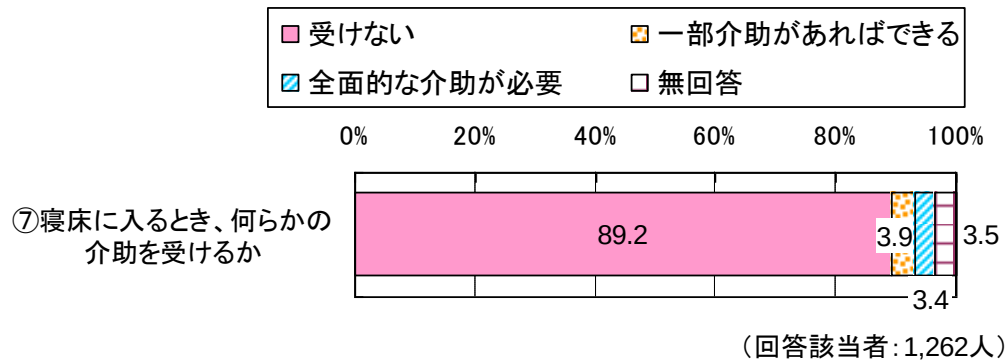
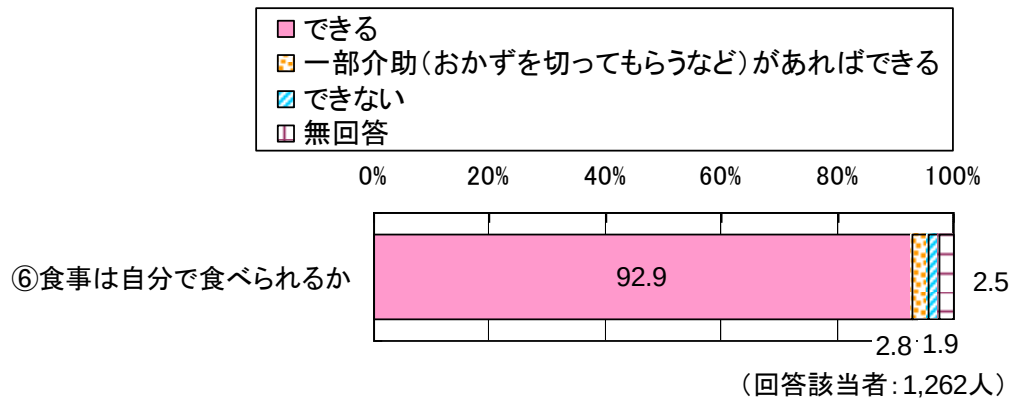
問20 日常生活についてうかがいます。（それぞれ1つ）



日常生活における①から⑤までの各項目については、「できるし、している」の回答割合はいずれも6割以上となっている。その中で回答割合が最も高い項目は「④自分で請求書の支払いをしているか」で73.1%の数値を示している。逆に、回答割合の最も低い項目は「③自分で食事の用意（調理や配膳）をしているか」で63.4%であるものの、「できるけどしていない」の割合についても18.5%でひときわ高くなっている。

(2) 日常生活の状況②

問20 日常生活についてうかがいます。(それぞれ1つ)



日常生活における⑥から⑧までの各項目について、「⑥食事は自分で食べられるか」では「できる」が92.9%、「一部介助(おかずを切ってもらなど)があればできる」が2.8%、「できない」が1.9%となっている。

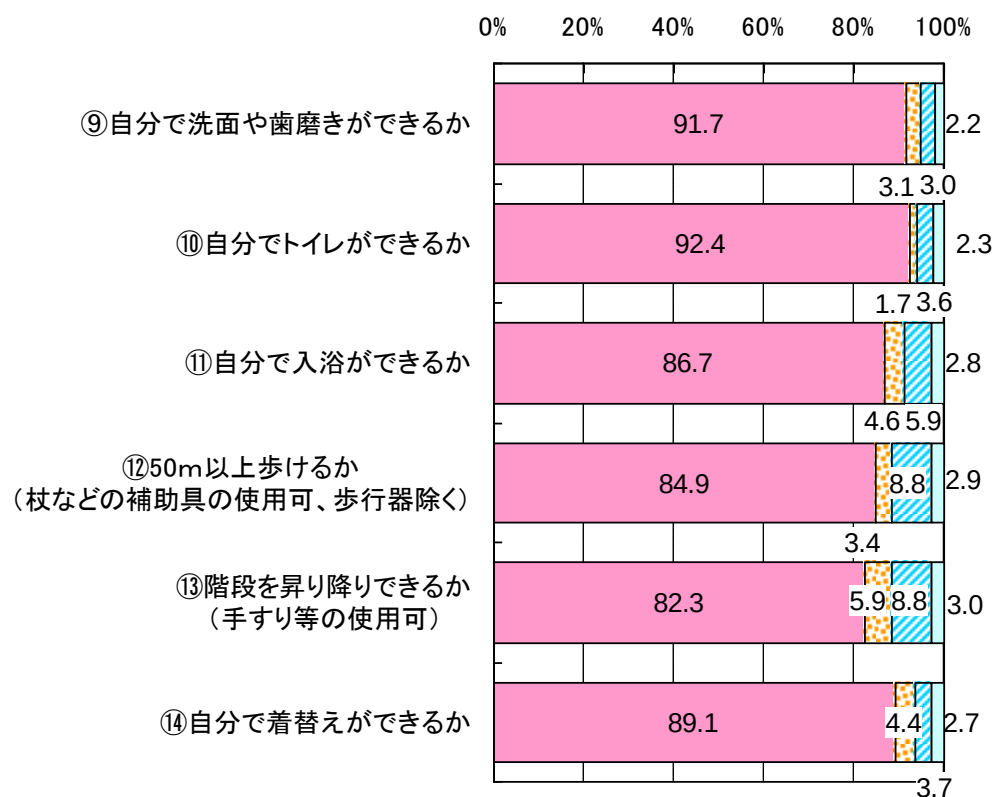
「⑦寝床に入るとき、何らかの介助を受けるか」では、「受けない」が89.2%、「一部介助があればできる」が3.9%、「全面的な介助が必要」が3.4%となっている。

「⑧座った姿勢を保持できるか」では、「できる」が87.6%、「支えが必要」が5.6%、「できない」が3.6%となっている。

(3) 日常生活の状況③

問20 日常生活についてうかがいます。(それぞれ1つ)

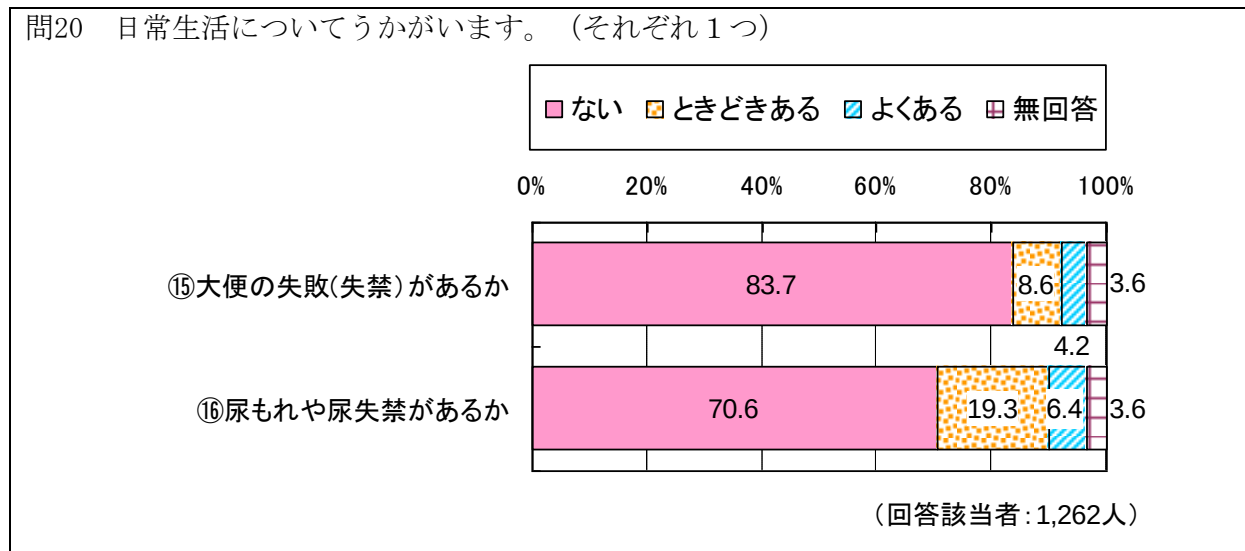
■ できる
 ■ 一部介助があればできる
 ■ できない
 ■ 無回答



(回答該当者: 1,262人)

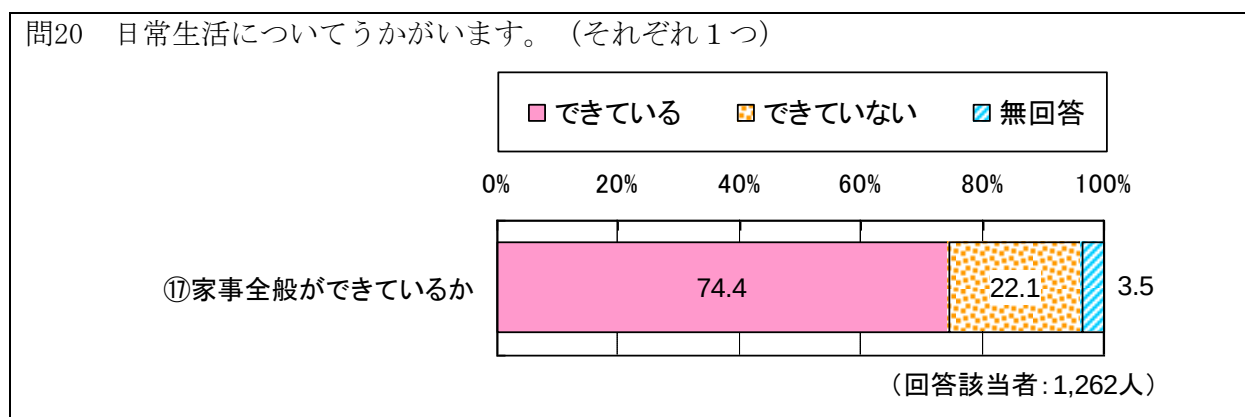
日常生活における⑨から⑭までの各項目については、いずれも「できる」の回答割合が8割以上を占めており、その中でも「⑩自分でトイレができるか」が92.4%と最も高い数値を示している。一方、「できない」割合については、「⑫50m以上歩けるか」、「⑬階段を昇り降りできるか」でいずれも8.8%で最も高くなっている。

(4) 日常生活の状況④



排便・排尿については、大便の失敗、小便の失敗いずれも、「ない」という回答割合が多くを占めており、前者で83.7%、後者では70.6%の数値を示している。

(5) 日常生活の状況⑤

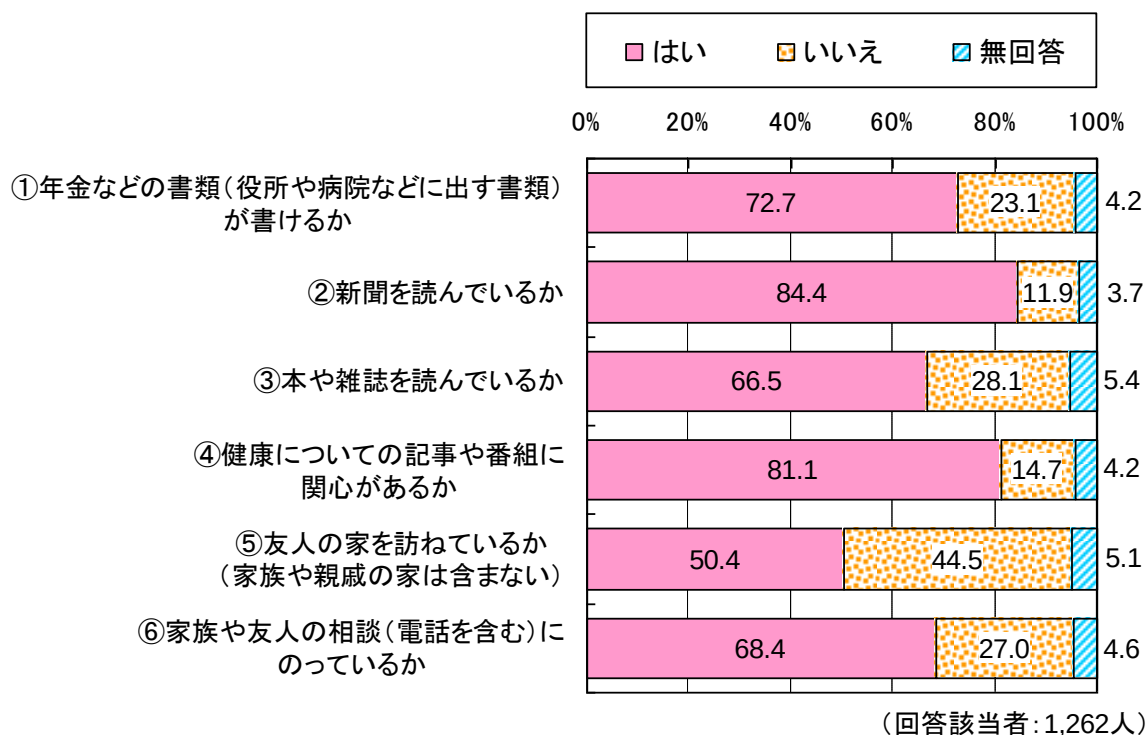


日常生活において「⑰家事全般ができているか」については、「できている」が74.4%、「できていない」が22.1%となっている。

8 社会参加について

(1) 日常の行動について①

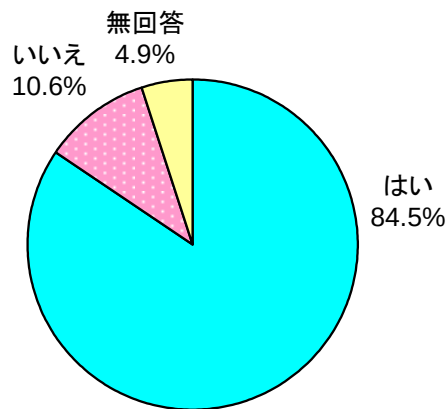
問21 日常の行動についてうかがいます【その1】。(それぞれ1つ)



日常の行動に関する①から⑥までの各項目における「はい」の回答割合については、「②新聞を読んでいるか」(84.4%)、「④健康についての記事や番組に関心があるか」(81.1%)で特に高く、いずれも8割以上の数値を示している。以下、「①年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けるか」(72.7%)、「⑥家族や友人の相談(電話を含む)にのっているか」(68.4%)、「③本や雑誌を読んでいるか」(66.5%)、「⑤友人の家を訪ねているか(家族や親戚の家は含まない)」(50.4%)と続いている。

(2) 相談の状況

問22 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談（電話を含む）をしていますか。
(1つ)

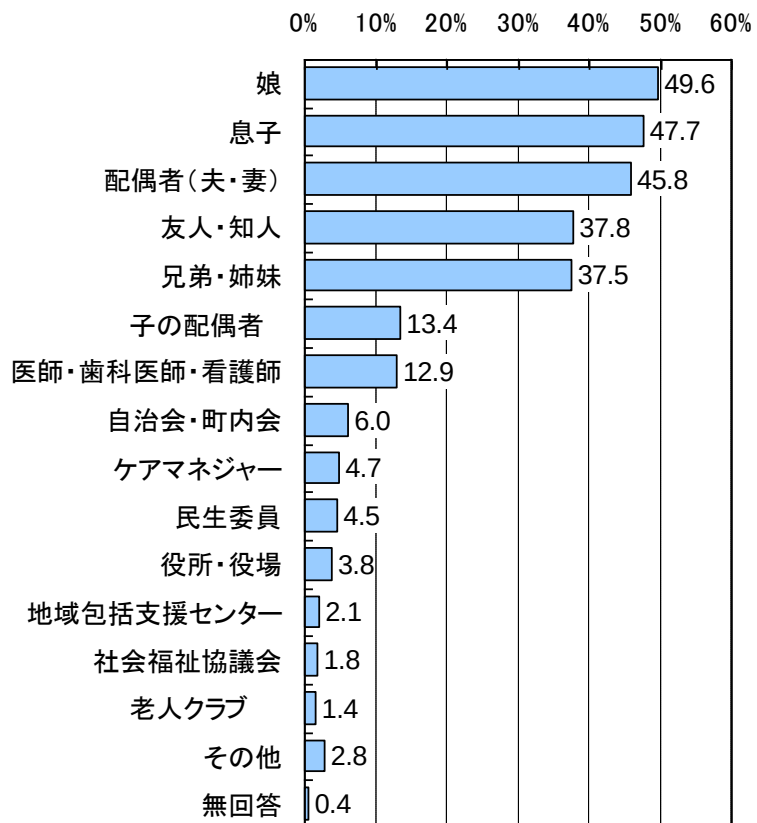


(回答該当者:1,262人)

何かあったときに、家族や友人・知人などに相談しているかについては、84.5%が「はい」と回答している。

(3) 相談相手

問22-1 問22で「1. はい」と回答した方にお聞きます。
相談相手を教えてください。(いくつでも)

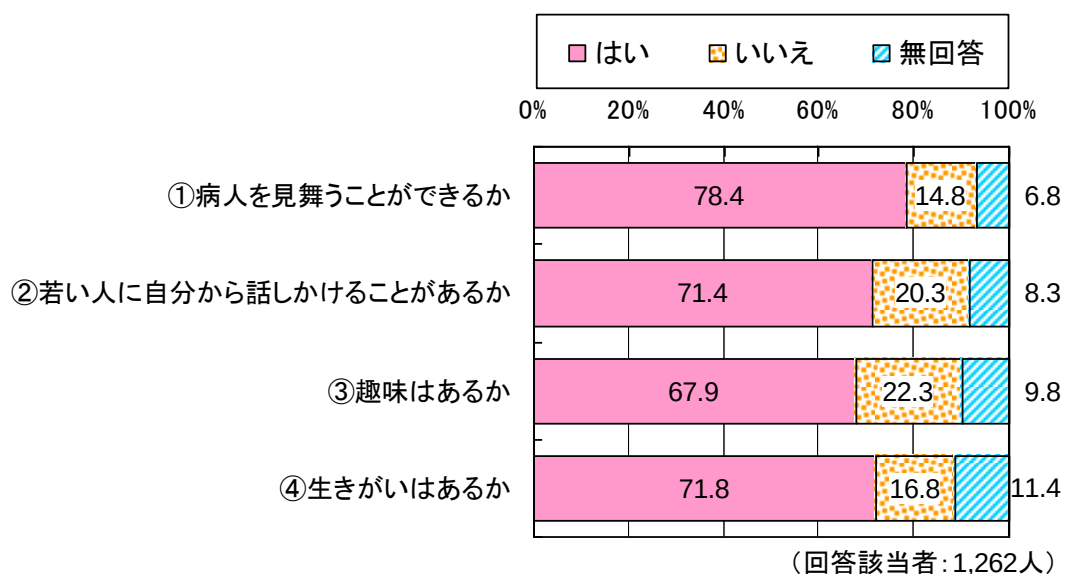


(回答該当者:1,066人)

問22で何かあったときに家族や友人・知人などに相談していると回答した1,066人に相談相手を尋ねたところ、「娘」(49.6%)、「息子」(47.7%)、「配偶者(夫・妻)」(45.8%)が特に多く挙げられており、その回答割合はいずれも5割近くの数値を示している。以下、「友人・知人」(37.8%)、「兄弟・姉妹」(37.5%)、「子の配偶者」(13.4%)、「医師・歯科医師・看護師」(12.9%)などが比較的多く挙げられている。また、「その他」については、いとかなどの親戚、施設の職員という内容がみられた。

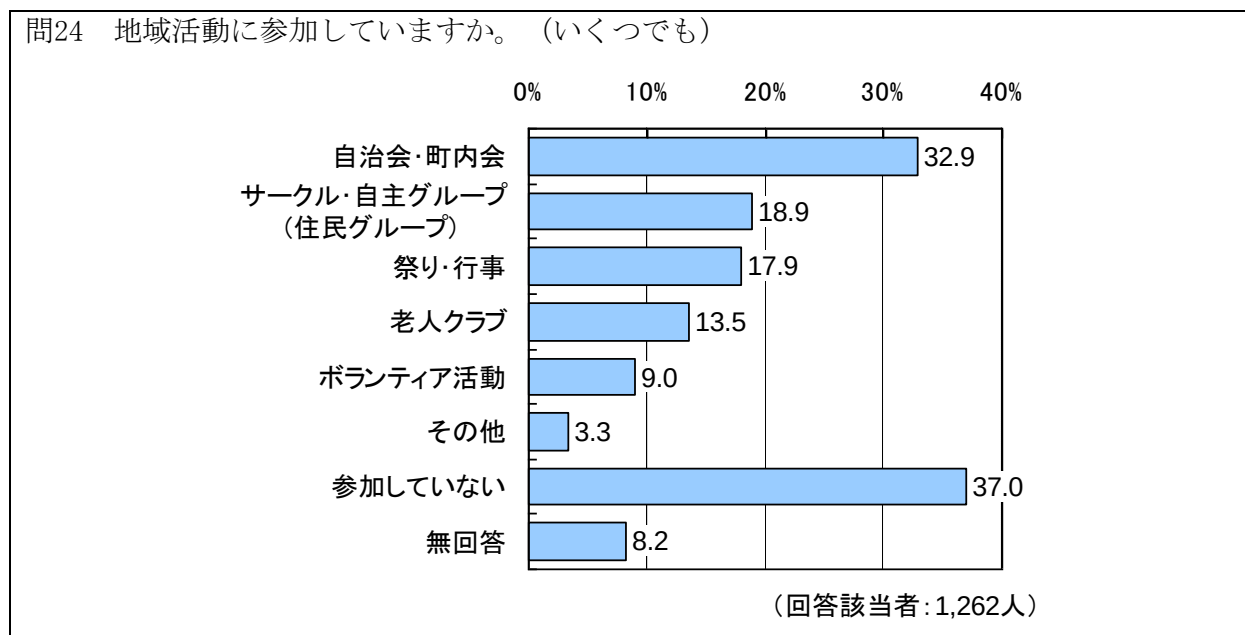
(4) 日常の行動について②

問23 日常の行動についてうかがいます【その2】。(それぞれ1つ)



日常の行動に関する①から④までの各項目における「はい」の回答割合については、「①病人を見舞うことができるか」で78.4%の数値を示している。以下、「④生きがいはあるか」(71.8%)、「②若い人に自分から話しかけることがあるか」(71.4%)、「③趣味はあるか」(67.9%)の順となっている。

(5) 地域活動への参加状況



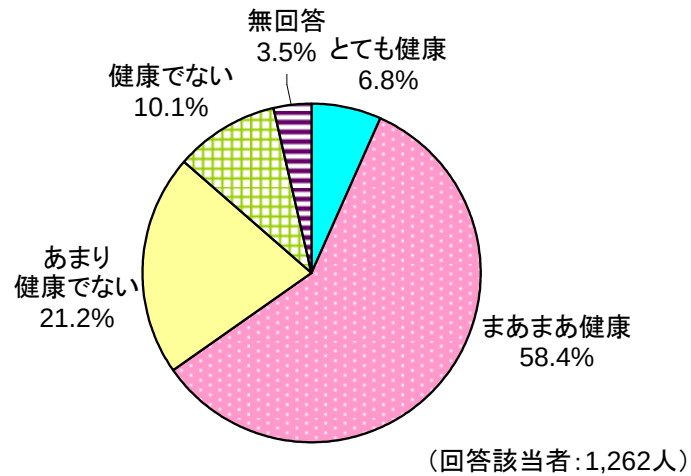
参加している地域活動については、「自治会・町内会」が32.9%で最も多く、以下、「サークル・自主グループ (住民グループ)」(18.9%)、「祭り・行事」(17.9%)、「老人クラブ」(13.5%)、「ボランティア活動」(9.0%)の順となっている。

なお、37.0%は「参加していない」と回答している。

9 健康について

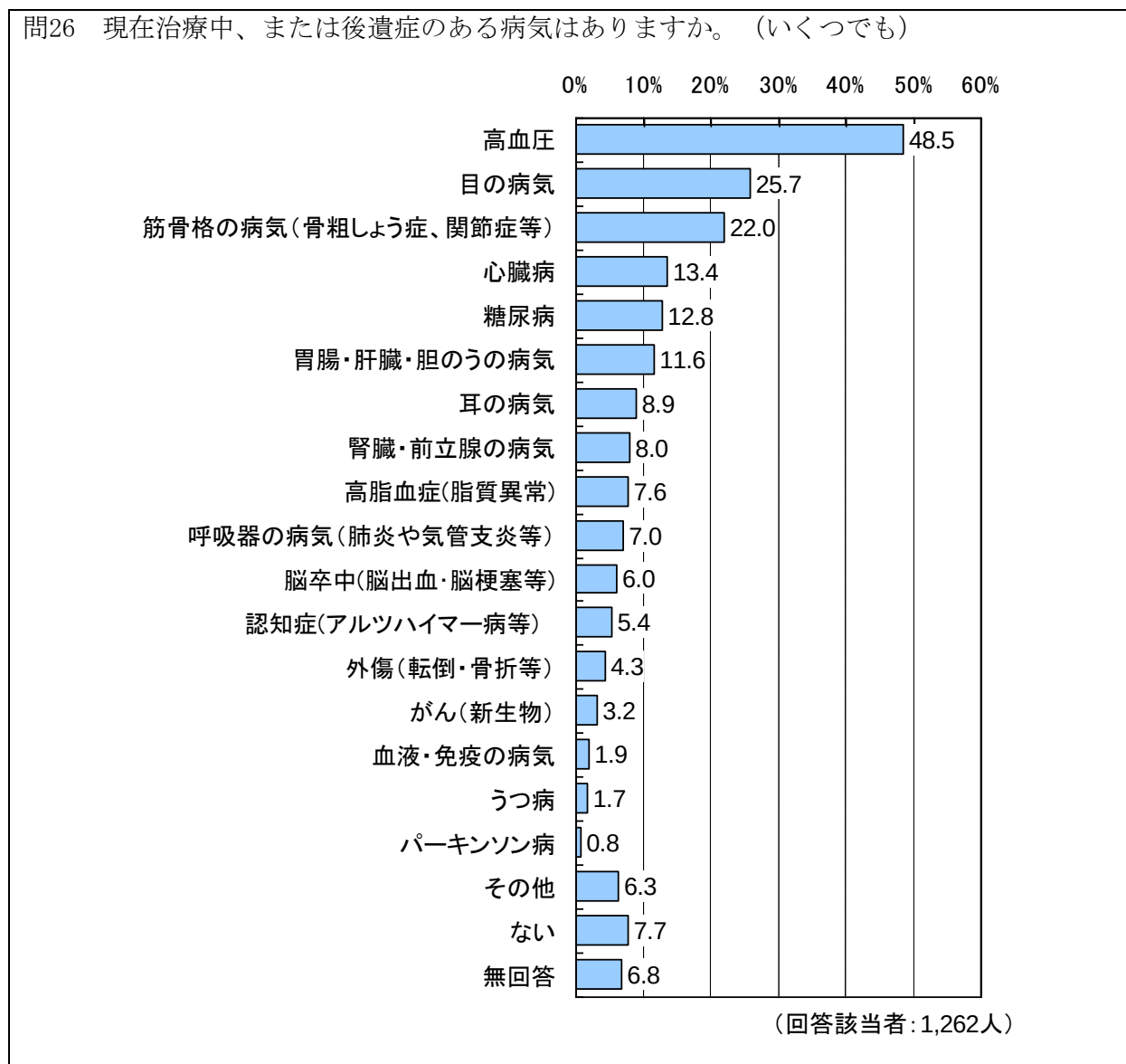
(1) 主観的健康観

問25 普段、ご自分で健康だと思いますか。(1つ)



普段、自分で健康だと思うか尋ねたところ、「まあまあ健康」が58.4%で最も多く、以下、「あまり健康でない」が21.2%、「健康でない」が10.1%、「とても健康」が6.8%となっている。大別して、健康だと思う人の割合（「とても健康」及び「まあまあ健康」の合計）は65.2%を占めることが分かる。

(2) 治療中の病気

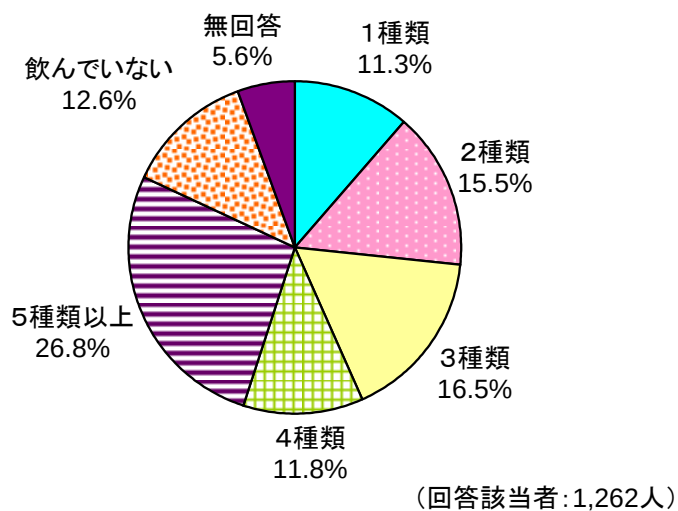


現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が48.5%と半数近くから挙げられて最も多くなっており、他を引き離している。以下、「目の病気」(25.7%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(22.0%)、「心臓病」(13.4%)、「糖尿病」(12.8%)、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」(11.6%)、「耳の病気」(8.9%)、「腎臓・前立腺の病気」(8.0%)、「高脂血症(脂質異常)」(7.6%)、「呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)」(7.0%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(6.0%)などが比較的多く挙げられている。また、6.3%を占める「その他」については、腰痛やコレステロール、甲状腺、自律神経をはじめ多様な回答がみられた。

なお、7.7%は「ない」と回答している。

(3) 服用中の薬の種類

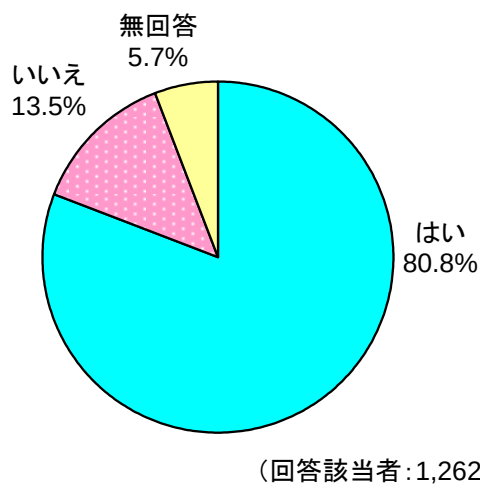
問27 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか。(1つ)



現在飲んでいる薬の種類は、「5種類以上」が26.8%で最も多く、以下、「3種類」(16.5%)、「2種類」(15.5%)、「4種類」(11.8%)、「1種類」(11.3%)と続いている。また、12.6%は「飲んでいない」と回答している。

(4) 通院の状況

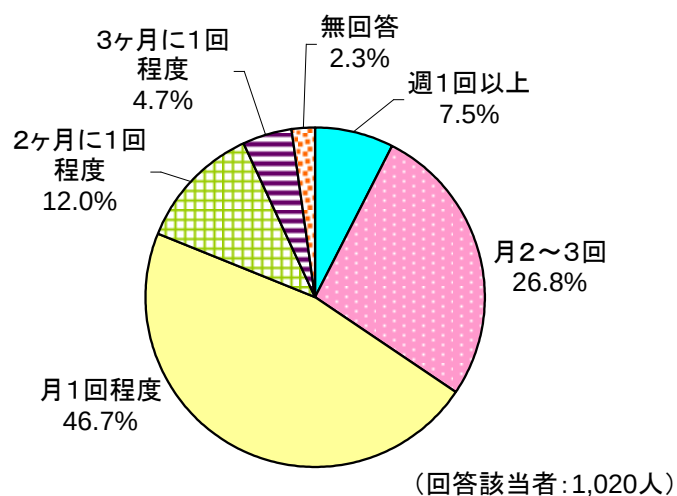
問28 現在、病院・医院（診療所・クリニック）に通院していますか。(1つ)



現在、病院・医院（診療所・クリニック）に通院しているかを尋ねたところ、80.8%が「はい」と回答している。

（５）通院の頻度

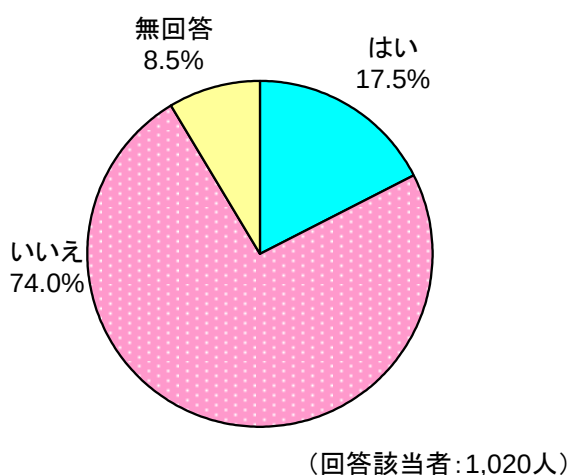
問28-1 問28で「１．はい」と回答した方にお聞きします。
その頻度は次のどれですか。（１つ）



問28で現在、病院・医院（診療所・クリニック）に通院していると回答した1,020人に、通院の頻度を尋ねたところ「月1回程度」が46.7%で最も多く、半数近くを占めている。以下、「月2～3回」（26.8%）、「2ヶ月に1回程度」（12.0%）、「週1回以上」（7.5%）、「3ヶ月に1回程度」（4.7%）の順となっている。

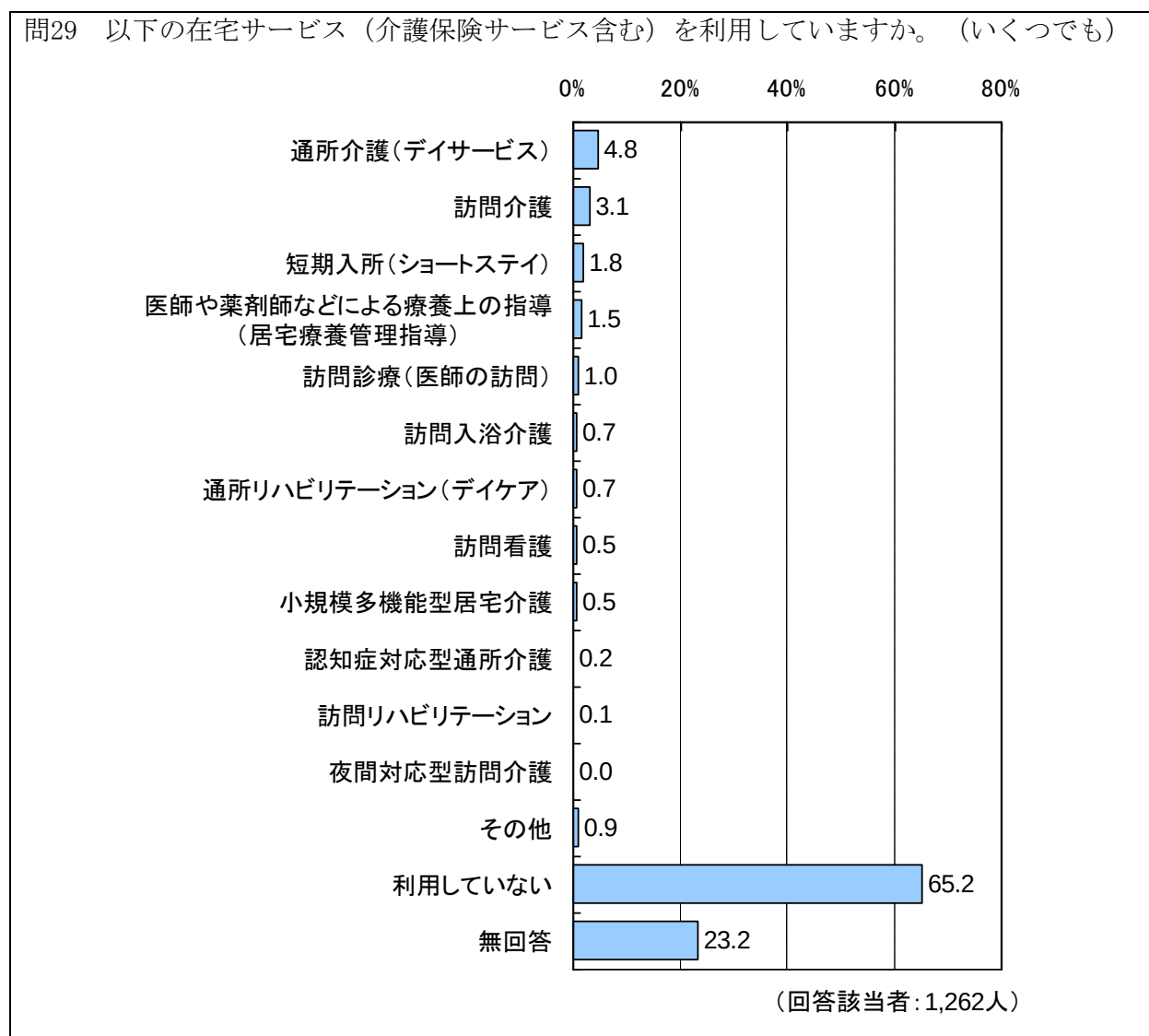
（６）通院に介助を要するか

問28-2 問28で「１．はい」と回答した方にお聞きします。
通院に介助が必要ですか。（１つ）



問28で現在、病院・医院（診療所・クリニック）に通院していると回答した1,020人に、通院に介助を要するか尋ねたところ、17.5%が「はい」と回答している。

(7) 介護サービスの利用状況

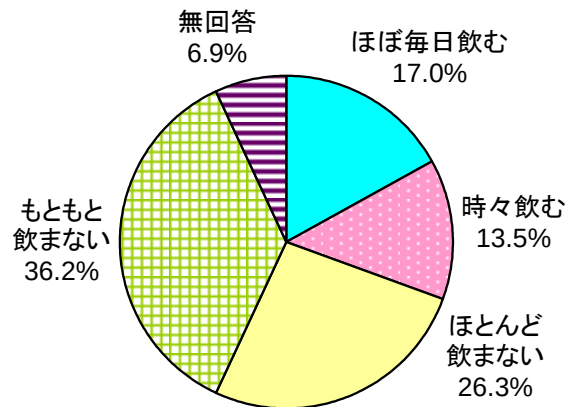


利用している介護サービスについては、「通所介護（デイサービス）」が4.8%で最も多く、以下、「訪問介護」（3.1%）、「短期入所（ショートステイ）」（1.8%）、「医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導）」（1.5%）、「訪問診療（医師の訪問）」（1.0%）、「訪問入浴介護」、「通所リハビリテーション（デイケア）」（いずれも0.7%）、「訪問看護」、「小規模多機能型居宅介護」（いずれも0.5%）などの順となっている。

なお、65.2%は「利用していない」と回答している。

（８）飲酒の状況

問30 お酒は飲みますか。（１つ）

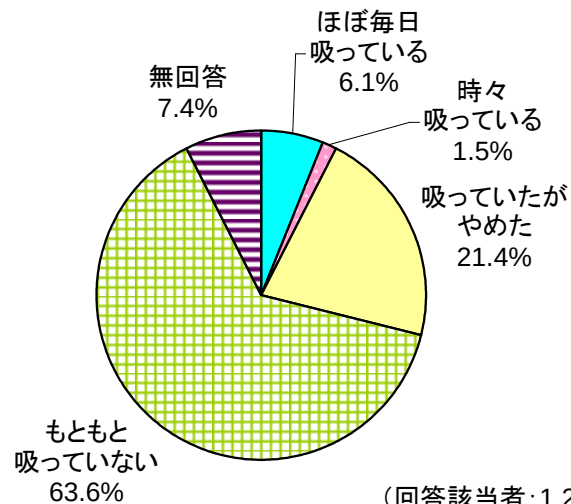


（回答該当者：1,262人）

飲酒については、「もともと飲まない」が36.2%で最も多く、以下、「ほとんど飲まない」が26.3%、「ほぼ毎日飲む」が17.0%、「時々飲む」が13.5%となっている。飲酒する割合（「ほぼ毎日飲む」及び「時々飲む」の合計）は3割程度であることが分かる。

（９）喫煙の状況

問31 タバコは吸っていますか。（１つ）

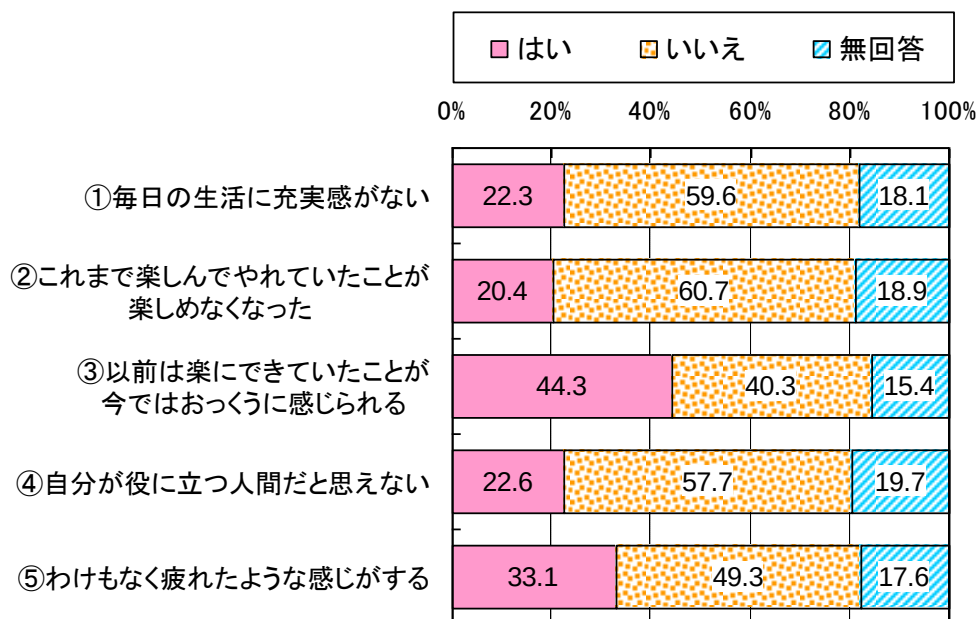


（回答該当者：1,262人）

喫煙については、「もともと吸っていない」が63.6%と過半数を占めて最も多く、以下、「吸っていたがやめた」が21.4%、「ほぼ毎日吸っている」が6.1%、「時々吸っている」が1.5%となっている。喫煙者の割合（「ほぼ毎日吸っている」及び「時々吸っている」の合計）は7.6%であることが分かる。

(10) 最近 2 週間の心の状況

問32 ここ 2 週間の状況についてうかがいます。（それぞれ 1 つ）



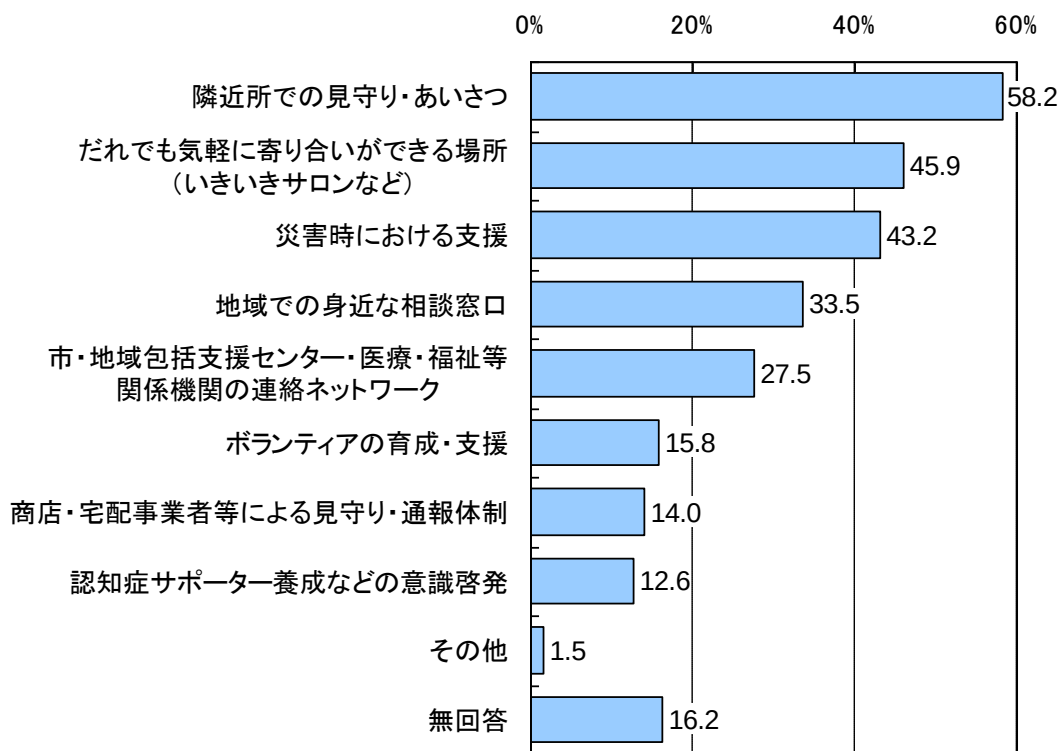
(回答該当者: 1,262人)

ここ 2 週間の状況について、「はい」の回答割合が最も高かった項目は、「③以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる」でその数値は44.3%を示している。以下、「⑤わけもなく疲れたような感じがする」が33.1%、「④自分が役に立つ人間だと思えない」が22.6%、「①毎日の生活に充実感がない」が22.3%、「②これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」が20.4%となっている。

10 高齢者の見守り、地域福祉について

(1) 一人暮らし高齢者等を地域で見守る体制について

問33 一人暮らし高齢者や認知症の方を地域で見守る体制をつくるためには、何が必要だと思いますか。（いくつでも）

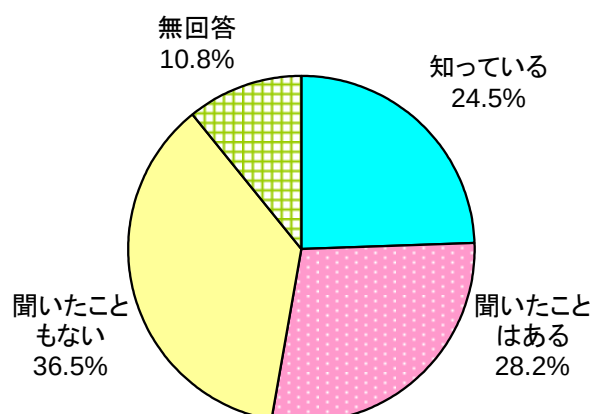


(回答該当者: 1,262人)

一人暮らし高齢者等の方を地域で見守る体制をつくるために必要なことを尋ねたところ、「隣近所での見守り・あいさつ」が58.2%で最も多く、以下、「だれでも気軽に寄り合いができる場所（いきいきサロンなど）」（45.9%）、「災害時における支援」（43.2%）、「地域での身近な相談窓口」（33.5%）などが比較的多く挙げられている。

(2) 地域包括支援センターの認知度

問34 高齢者の総合相談窓口として能代地域と二ツ井地域に設置されている、「地域包括支援センター」をご存知ですか。（1つ）

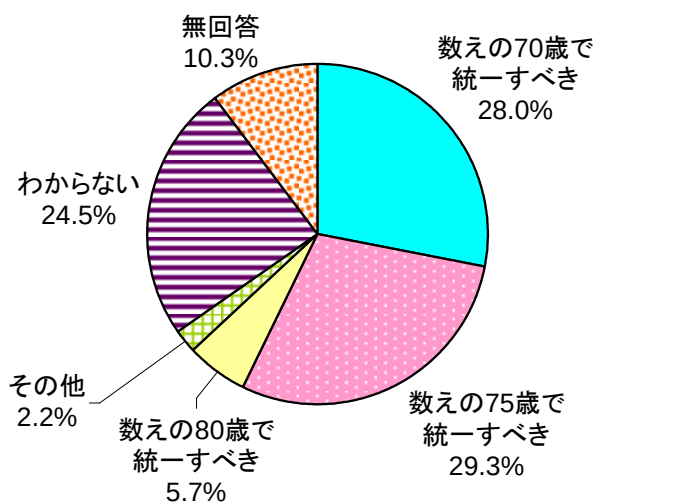


（回答該当者：1,262人）

「地域包括支援センター」を知っているかについては、「聞いたこともない」が36.5%で最も多いほか、「聞いたことはある」が28.2%、「知っている」は24.5%となっている。

(3) 能代市の初養老の対象年齢について

問35 能代市では、能代地域では初養老を数えの70歳とし、文化会館で敬老会を、二ツ井地域では初養老を数えの75歳とすることとして地区ごとに敬老式を行っています。今後の初養老の対象年齢についてどのように考えますか。（1つ）

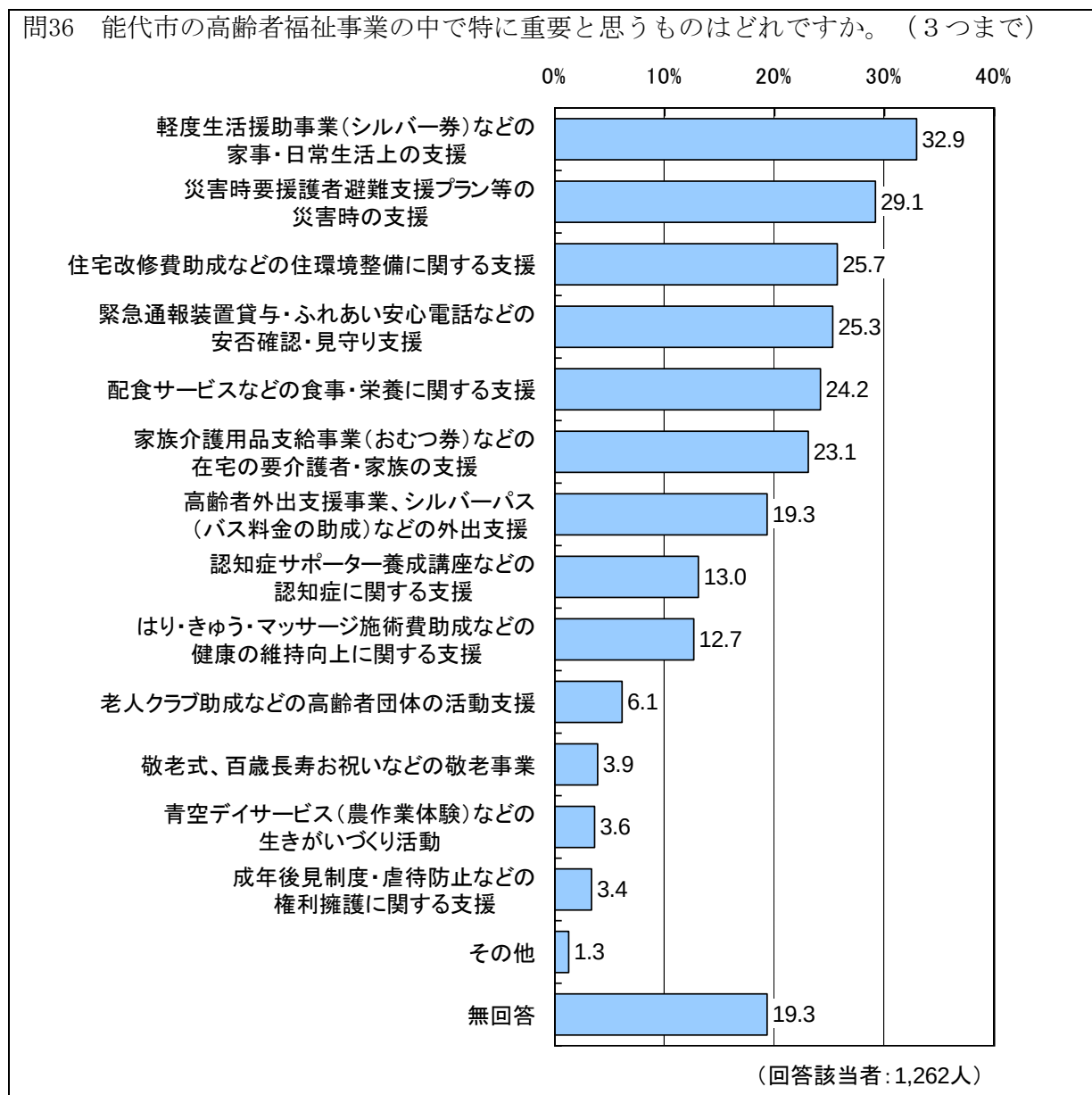


（回答該当者：1,262人）

能代市の初養老の対象年齢についてどのように考えるか尋ねたところ、「数えの75歳で統一すべき」が29.3%、「数えの70歳で統一すべき」が28.0%と、この2つの回答がほぼ同数で多く挙げられている。そのほか、「数えの80歳で統一すべき」が5.7%となっている。

なお、24.5%は「わからない」と回答している。

(4) 能代市の高齢者福祉事業について

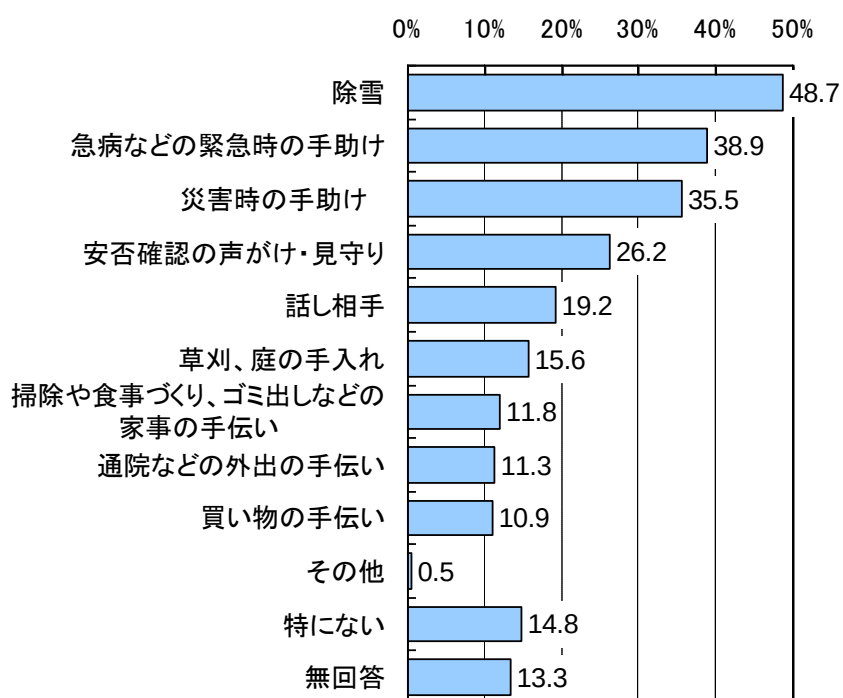


能代市の高齢者福祉事業の中で重要と思うものについては、「軽度生活援助事業(シルバー券)などの家事・日常生活上の支援」が32.9%で最も多く、以下、「災害時要援護者避難支援プラン等の災害時の支援」(29.1%)、「住宅改修費助成などの住環境整備に関する支援」(25.7%)、「緊急通報装置貸与・ふれあい安心電話などの安否確認・見守り支援」(25.3%)、「配食サービスなどの食事・栄養に関する支援」(24.2%)、「家族介護用品支給事業(おむつ券)などの在宅の要介護者・家族の支援」(23.1%)、「高齢者外出支援事業、シルバーパス」(19.3%)などが比較的多く挙げられている。

11 今後の生活についての意向

(1) 近所の方に協力してもらいたいこと

問37 今後、近所の方に協力してもらえたら助かることは何ですか。(いくつでも)

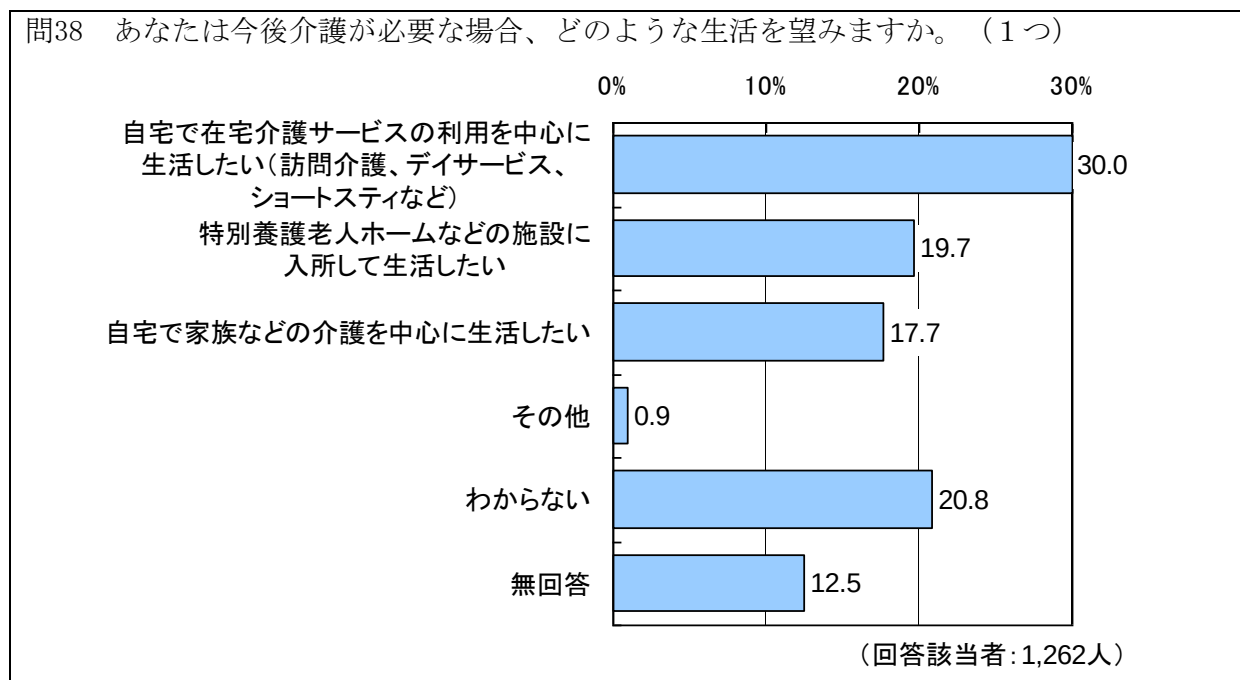


(回答該当者:1,262人)

今後、近所の方に協力してもらえたら助かることでは、「除雪」が48.7%で最も多く、半数近くが挙げていることが分かる。以下、「急病などの緊急時の手助け」(38.9%)、「災害時の手助け」(35.5%)、「安否確認の声がけ・見守り」(26.2%)、「話し相手」(19.2%)、「草刈、庭の手入れ」(15.6%)などと続いている。

なお、14.8%は「特にない」と回答している。

(2) 介護が必要になった場合に望む生活

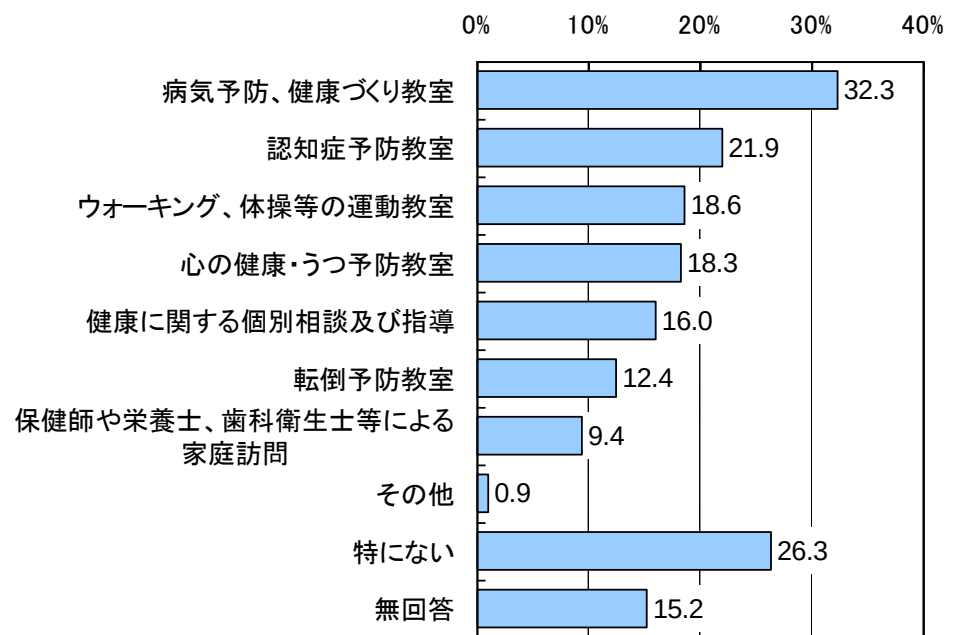


今後介護が必要な場合、「自宅で在宅介護サービスの利用を中心に生活したい(訪問介護、デイサービス、ショートステイなど)」が30.0%で最も多く、以下、「特別養護老人ホームなどの施設に入所して生活したい」(19.7%)、「自宅で家族などの介護を中心に生活したい」(17.7%)と続いている。

なお、20.8%は「わからない」と回答している。

(3) 健康づくりや介護予防のために利用したいサービス

問39 地域包括支援センターでは、要介護状態になるのを未然に防ぐため、介護予防教室を行っています。利用したいと思うものはどれですか。（いくつでも）



(回答該当者: 1,262人)

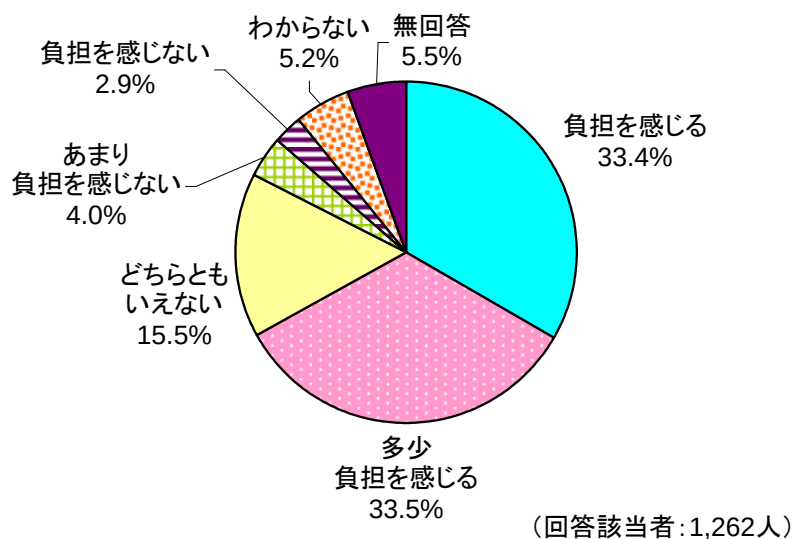
地域包括支援センターで行っている介護予防教室のうち利用したいと思うものを尋ねたところ、「病気予防、健康づくり教室」が32.3%で最も多く、次いで、「認知症予防教室」が21.9%が続いている。以下、「ウォーキング、体操等の運動教室」(18.6%)、「心の健康・うつ予防教室」(18.3%)、「健康に関する個別相談及び指導」(16.0%)、「転倒予防教室」(12.4%)、「保健師や栄養士、歯科衛生士等による家庭訪問」(9.4%)などの順となっている。

また、26.3%は「特になし」と回答している。

12 高齢者福祉・介護保険制度全般について

(1) 介護保険料の負担感

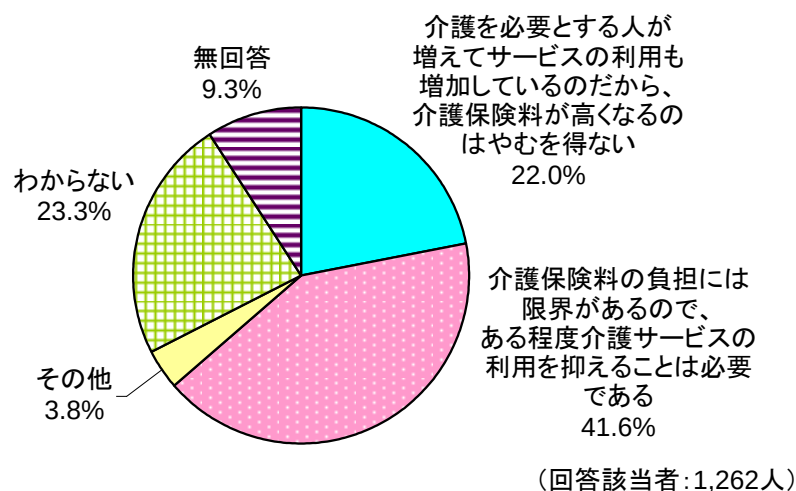
問40 能代市に納めていただいている介護保険料の負担についてどう感じますか。
(1つ)



介護保険料については、「多少負担を感じる」(33.5%)、「負担を感じる」(33.4%)がほぼ同数で多くなっており、両回答を合計した負担を感じている回答は過半数の66.9%にのぼる。一方、「あまり負担を感じない」は4.0%、「負担を感じない」は2.9%と、負担に感じていない回答は極めて少なくなっている。また、「どちらともいえない」は15.5%、「わからない」は5.2%をそれぞれ占めている。

(2) 介護保険料と介護サービスの関係について

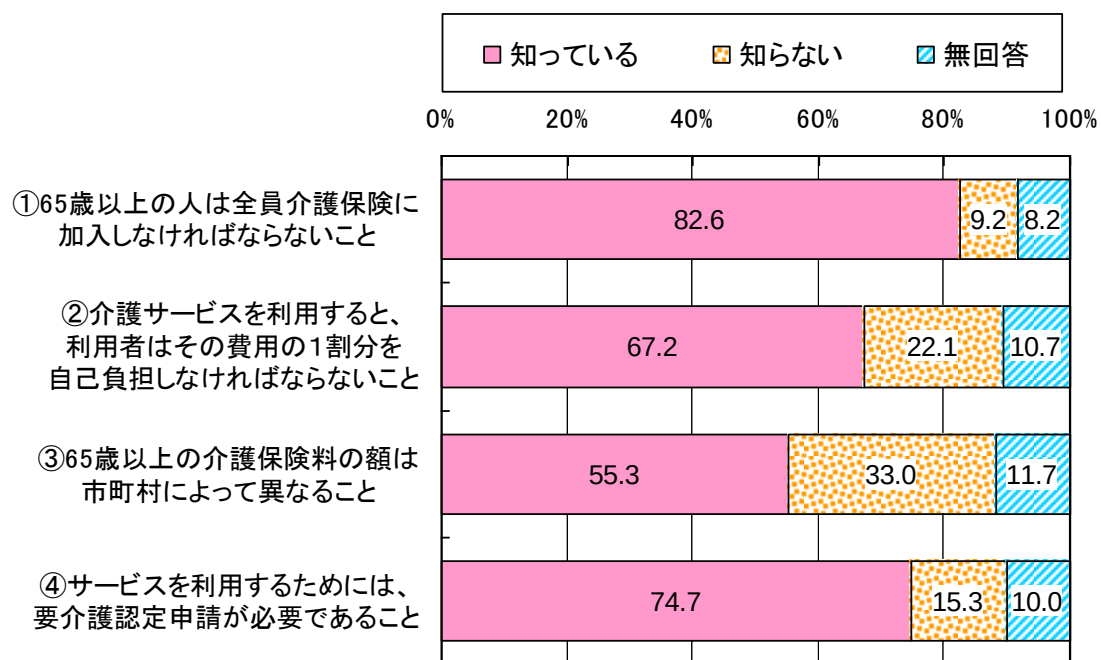
問41 介護保険料と介護サービスの関係について、あなたの考え方に近いのはどれですか。
(1つ)



介護保険料と介護サービスの関係については、「介護保険料の負担には限界があるので、ある程度介護サービスの利用を抑えることは必要である」が41.6%で最も多く、次いで「介護を必要とする人が増えてサービスの利用も増加しているのだから、介護保険料が高くなるのはやむを得ない」が22.0%で続いている。なお、23.3%は「わからない」と回答している。

(3) 介護保険制度の認知度

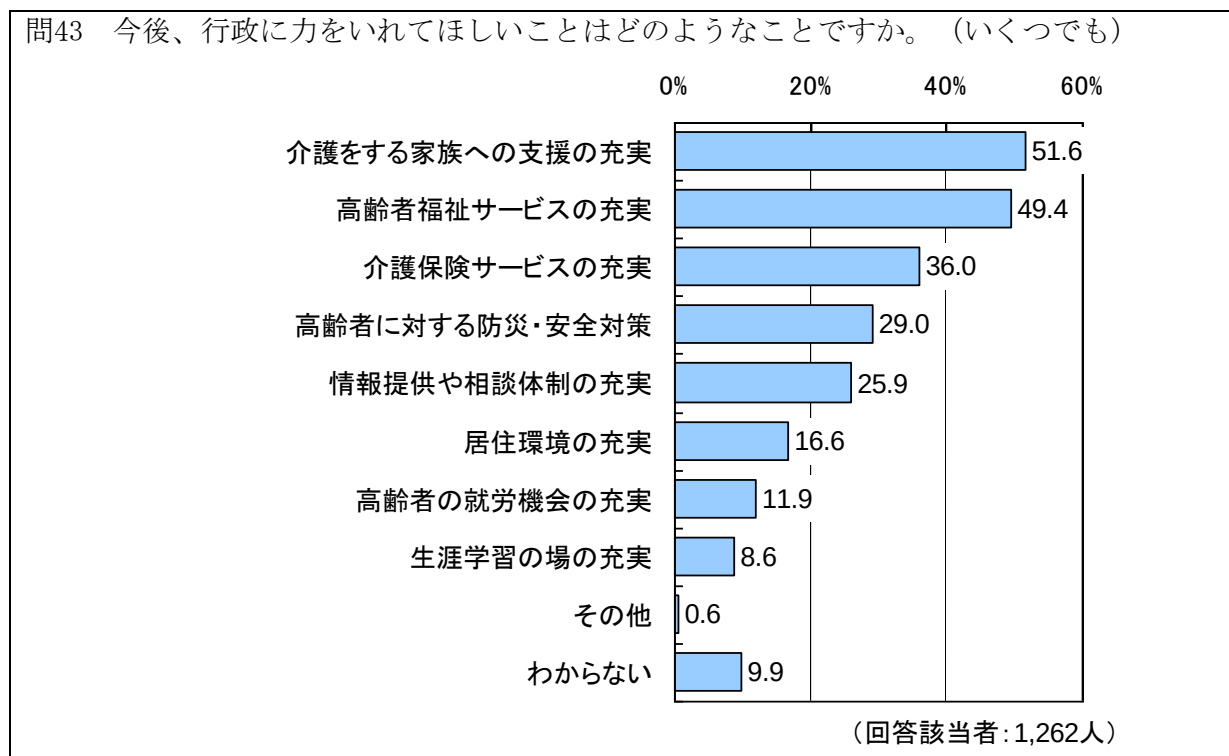
問42 介護保険制度について以下のようなことを知っていますか。(それぞれ1つ)



(回答該当者: 1,262人)

介護保険制度について「知っている」割合は①から④までのいずれの内容についても5割以上となっている。その中で「知っている」割合が最も高い内容は、「①65歳以上の人は全員介護保険に加入しなければならないこと」で82.6%となっている。逆に「知っている」割合が最も低い内容は「③65歳以上の介護保険料の額は市町村によって異なること」で55.3%であった。

（４）行政に力をいれてほしいこと



今後、行政に力をいれてほしいことを尋ねたところ、「介護をする家族への支援の充実」が51.6%で最も多く、次いで「高齢者福祉サービスの充実」が49.4%で続いており、これらはいずれも半数前後が挙げる結果となった。以下、「介護保険サービスの充実」（36.0%）、「高齢者に対する防災・安全対策」（29.0%）、「情報提供や相談体制の充実」（25.9%）などと続いている。

なお、9.9%は「わからない」と回答している。

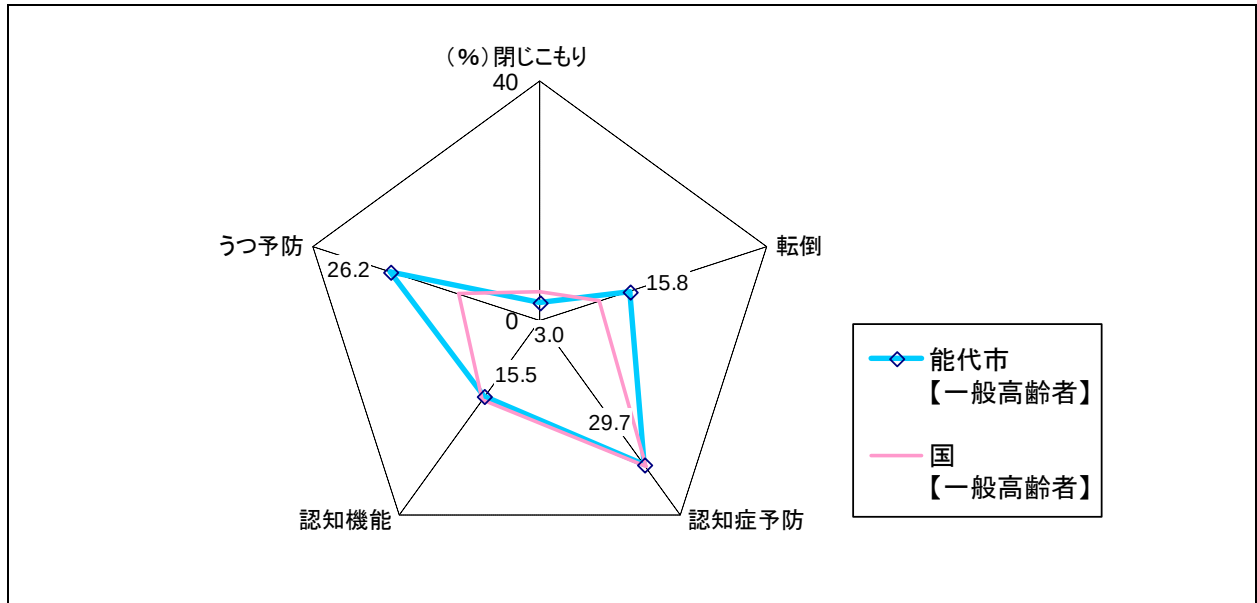
Ⅲ 調査結果②【生活機能等の評価】

1 一般高齢者の評価結果

(1) 生活機能項目別のリスク該当者割合

< リスク該当者割合… 高い方が「悪い」指標 >

●生活機能項目別リスク該当者割合（能代市と国の比較）【一般高齢者】



(数値単位：%)

	能代市 (一般高齢者)		国 (一般高齢者)
		国との比較	
運動器	-	—	-
閉じこもり	3.0	低い(良)	4.7
転倒	15.8	高い(悪)	10.5
栄養	-	—	-
口腔	-	—	-
認知症予防	29.7	低い(良)	30.2
認知機能	15.5	低い(良)	16.2
うつ予防	26.2	高い(悪)	14.1
虚弱	-	—	-

※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

※「運動器」、「栄養」、「口腔」、「虚弱」については、一般高齢者すべて非該当。

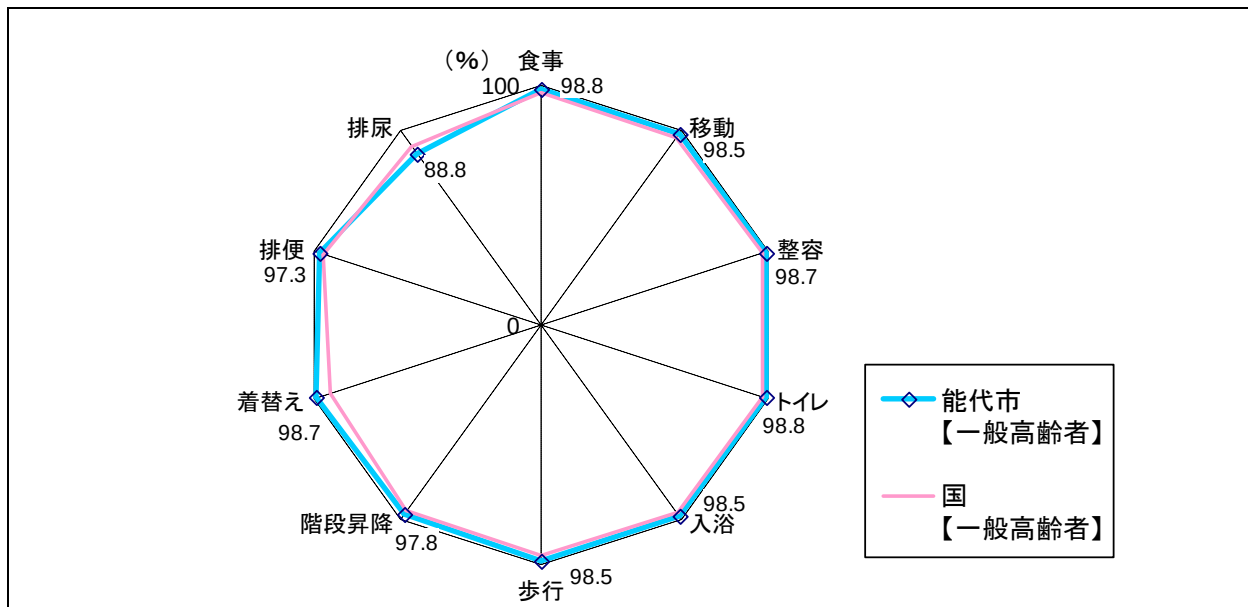
(いずれかに該当すれば二次予防対象者となるため。)

能代市の一般高齢者について、生活機能項目別のリスク該当者割合を国の数値と比較してみると、「転倒」、「うつ予防」については国の水準よりもリスク該当者割合が高くなっていることが分かる。

(2) 日常生活動作（ADL）の状況

< 自立者割合… 高い方が「良い」指標 >

● ADL 評価項目別自立者割合（能代市と国の比較）【一般高齢者】



(数値単位：%)

	能代市 (一般高齢者)		国 (一般高齢者)
		国との比較	
食事	98.8	高い(良)	96.9
移動	98.5	高い(良)	96.5
整容	98.7	高い(良)	97.3
トイレ	98.8	高い(良)	97.3
入浴	98.5	高い(良)	97.2
歩行	98.5	高い(良)	96.3
階段昇降	97.8	高い(良)	95.7
着替え	98.7	高い(良)	92.4
排便	97.3	高い(良)	95.4
排尿	88.8	低い(悪)	92.0

※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

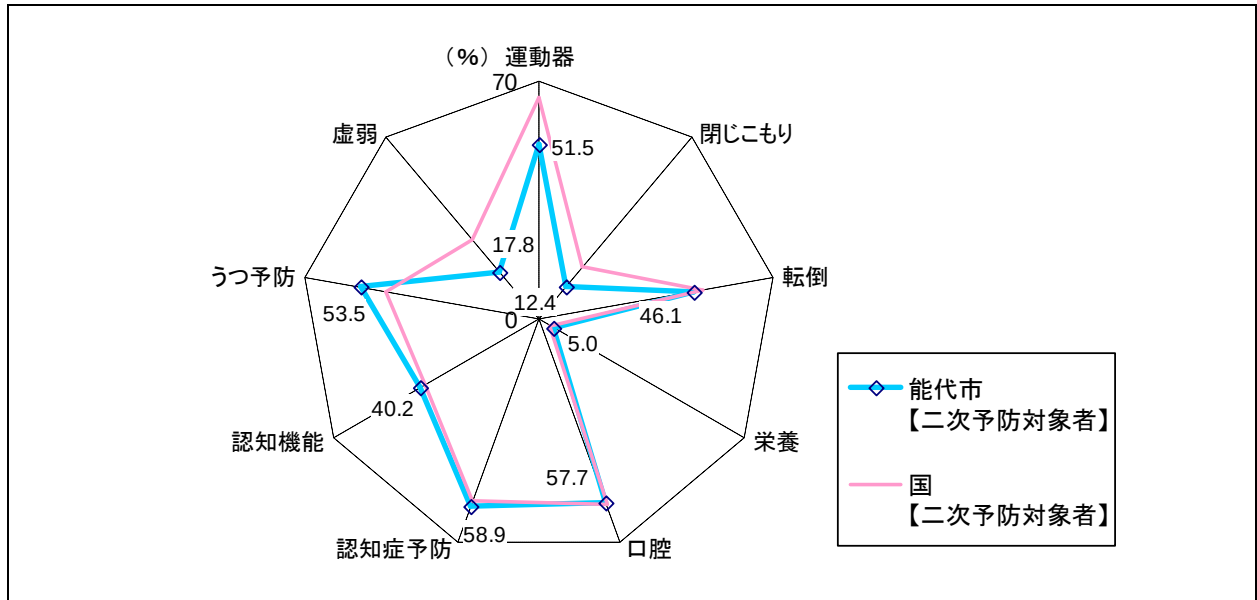
能代市の一般高齢者について、日常生活動作（ADL）の評価項目別の自立者割合を国の数値と比較してみると、「排尿」を除く9つの項目で国の数値を上回っており、総じて、日常生活動作の側面で自立可能な高齢者の割合は国の水準よりも高いことが分かる。

2 二次予防対象者の評価結果

(1) 生活機能項目別のリスク該当者割合

＜ リスク該当者割合… 高い方が「悪い」指標 ＞

●生活機能項目別リスク該当者割合（能代市と国の比較）【二次予防対象者】



(数値単位：%)

	能代市 (二次予防対象者)		国 (二次予防対象者)
		国との比較	
運動器	51.5	低い(良)	65.4
閉じこもり	12.4	低い(良)	19.9
転倒	46.1	低い(良)	48.9
栄養	5.0	高い(悪)	3.6
口腔	57.7	低い(良)	58.4
認知症予防	58.9	高い(悪)	57.2
認知機能	40.2	高い(悪)	38.7
うつ予防	53.5	高い(悪)	45.6
虚弱	17.8	低い(良)	30.6

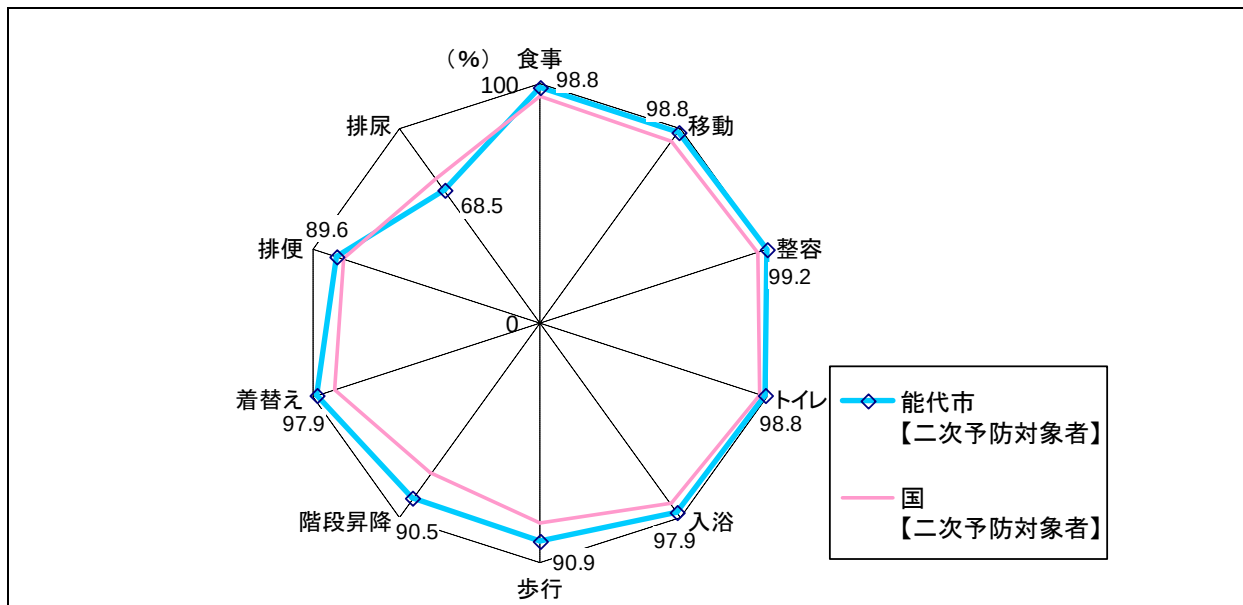
※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

能代市の二次予防対象者について、生活機能項目別のリスク該当者割合を国の数値と比較してみると、「栄養」、「認知症予防」、「認知機能」、「うつ予防」については、国の水準よりもリスク該当者割合が高いことが分かる。

(2) 日常生活動作（ADL）の状況

< 自立者割合… 高い方が「良い」指標 >

● ADLの状況<評価項目別自立者割合>（能代市と国の比較）【二次予防対象者】



(数値単位：%)

	能代市 (二次予防対象者)		国 (二次予防対象者)
		国との比較	
食事	98.8	高い(良)	94.8
移動	98.8	高い(良)	94.2
整容	99.2	高い(良)	95.6
トイレ	98.8	高い(良)	95.9
入浴	97.9	高い(良)	93.2
歩行	90.9	高い(良)	83.6
階段昇降	90.5	高い(良)	77.8
着替え	97.9	高い(良)	89.9
排便	89.6	高い(良)	86.1
排尿	68.5	低い(悪)	74.1

※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

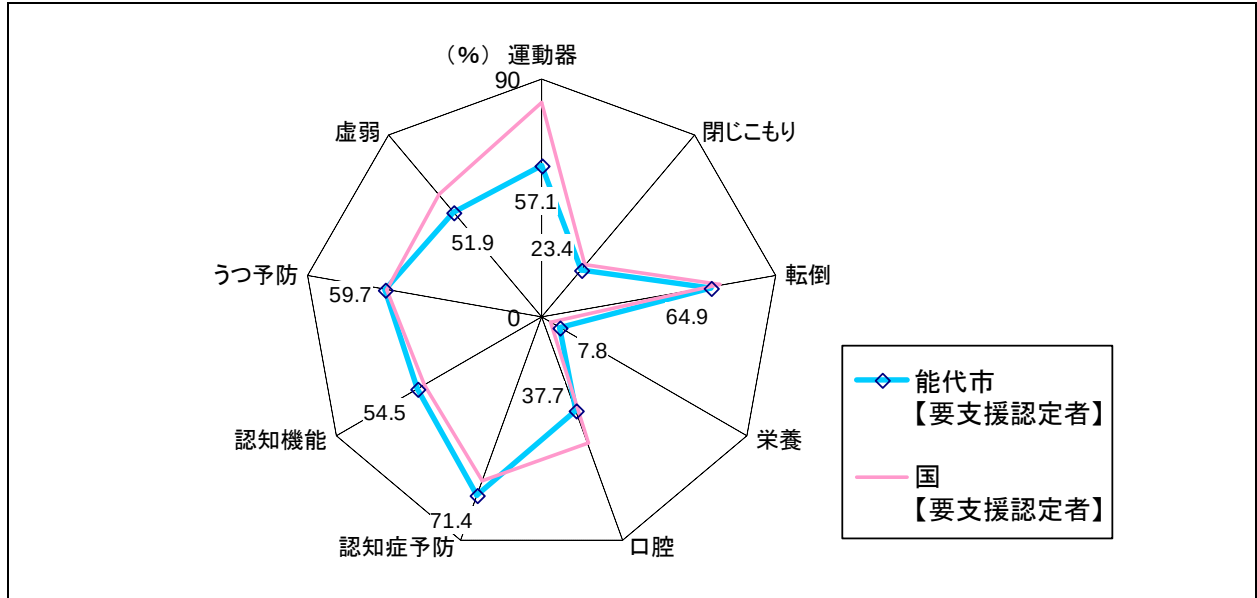
能代市の二次予防対象者について、日常生活動作（ADL）の評価項目別の自立者割合を国の数値と比較してみると「排尿」を除く9つの項目で国の数値を上回っており、総じて、日常生活動作の側面で自立可能な二次予防対象者の割合は国の水準よりも高いことが分かる。

3 要支援認定者の評価結果

(1) 生活機能項目別のリスク該当者割合

＜ リスク該当者割合… 高い方が「悪い」指標 ＞

●生活機能項目別リスク該当者割合（能代市と国の比較）【要支援認定者】



(数値単位：%)

	能代市 (要支援認定者)		国 (要支援認定者)
	国との比較		
運動器	57.1	低い(良)	80.8
閉じこもり	23.4	低い(良)	26.2
転倒	64.9	低い(良)	68.8
栄養	7.8	高い(悪)	3.9
口腔	37.7	低い(良)	50.9
認知症予防	71.4	高い(悪)	65.8
認知機能	54.5	高い(悪)	51.2
うつ予防	59.7	高い(悪)	59.5
虚弱	51.9	低い(良)	61.0

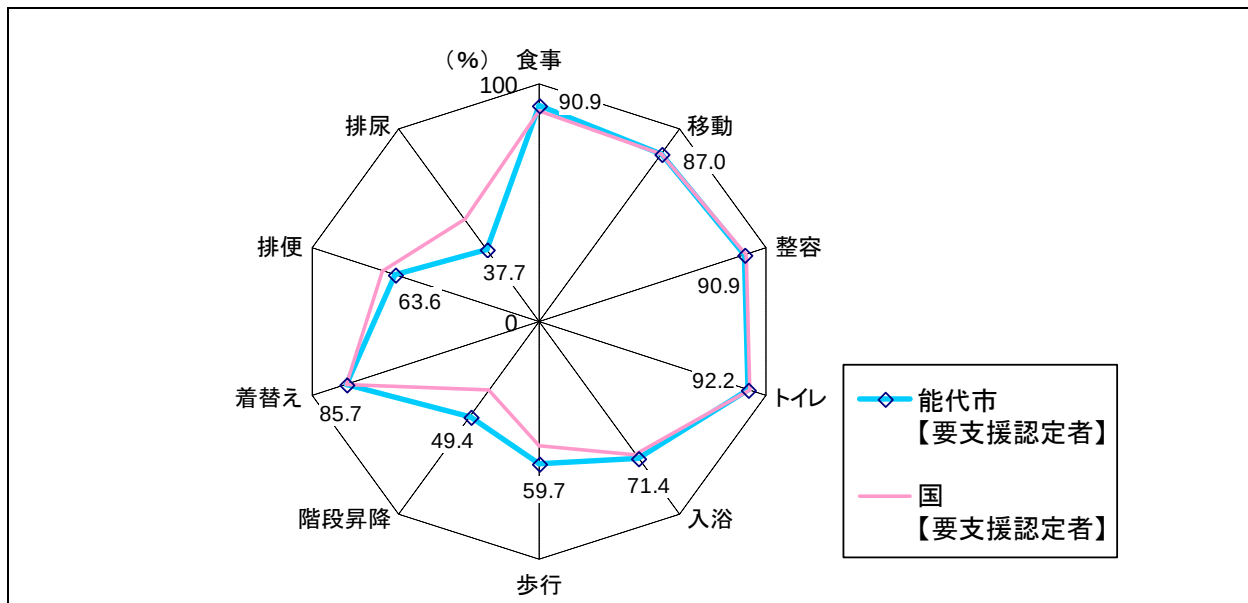
※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

能代市の要支援認定者について、生活機能項目別のリスク該当者割合を国の「要支援認定者」の数値と比較してみると、「栄養」、「認知症予防」、「認知機能」、「うつ予防」の項目において、国の水準よりもリスク該当者割合が高くなっている。一方で、「運動器」については、国のリスク該当者割合をかなり下回る数値を示している。

(2) 日常生活動作（ADL）の状況

< 自立者割合… 高い方が「良い」指標 >

●ADLの状況<評価項目別自立者割合>（能代市と国の比較）【要支援認定者】



（数値単位：％）

	能代市 （要支援認定者）		国 （要支援認定者）
		国との比較	
食事	90.9	高い（良）	88.7
移動	87.0	高い（良）	86.8
整容	90.9	低い（悪）	91.7
トイレ	92.2	低い（悪）	93.4
入浴	71.4	高い（良）	69.1
歩行	59.7	高い（良）	52.0
階段昇降	49.4	高い（良）	35.6
着替え	85.7	高い（良）	85.6
排便	63.6	低い（悪）	68.8
排尿	37.7	低い（悪）	52.9

※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

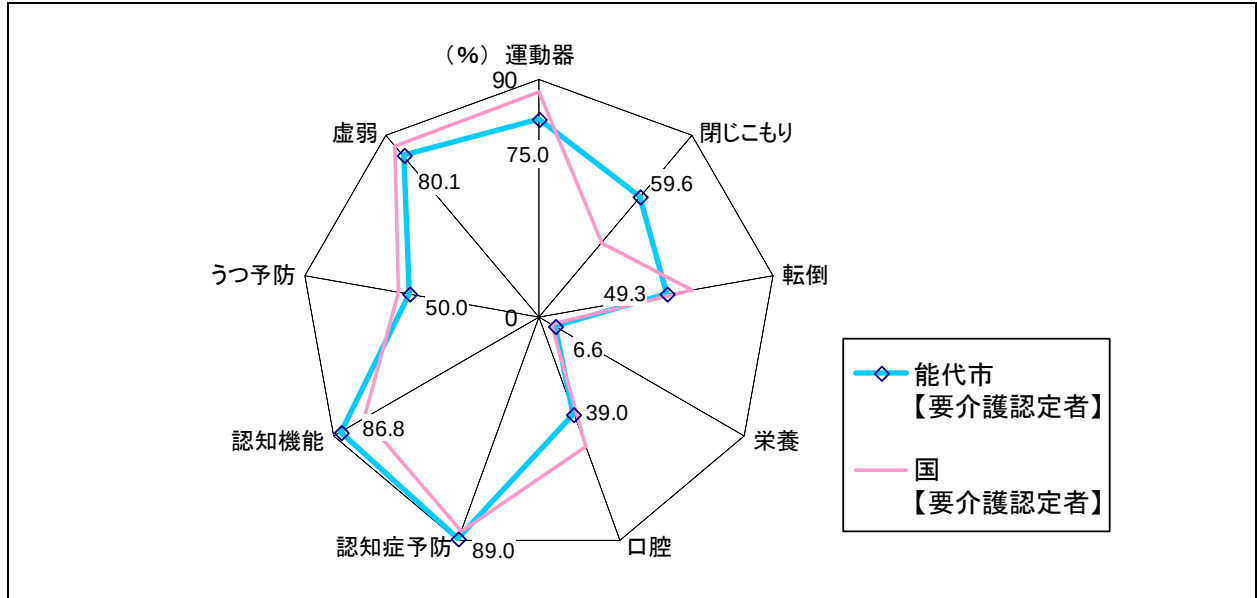
能代市の要支援認定者について、日常生活動作（ADL）の評価項目別の自立者割合を国の「要支援認定者」の数値と比較してみると、10項目中6項目では国の数値を上回るものの、「整容」、「トイレ」、「排便」、「排尿」については自立可能な要支援認定者の割合は国の水準よりも低くなっている。

4 要介護認定者の評価結果

(1) 生活機能項目別のリスク該当者割合

＜ リスク該当者割合… 高い方が「悪い」指標 ＞

●生活機能項目別リスク該当者割合（能代市と国の比較）【要介護認定者】



(数値単位：%)

	能代市 (要介護認定者)		国 (要介護認定者)
		国との比較	
運動器	75.0	低い(良)	85.0
閉じこもり	59.6	高い(悪)	37.1
転倒	49.3	低い(良)	58.8
栄養	6.6	高い(悪)	5.5
口腔	39.0	低い(良)	52.3
認知症予防	89.0	高い(悪)	86.3
認知機能	86.8	高い(悪)	76.4
うつ予防	50.0	低い(良)	53.7
虚弱	80.1	低い(良)	84.5

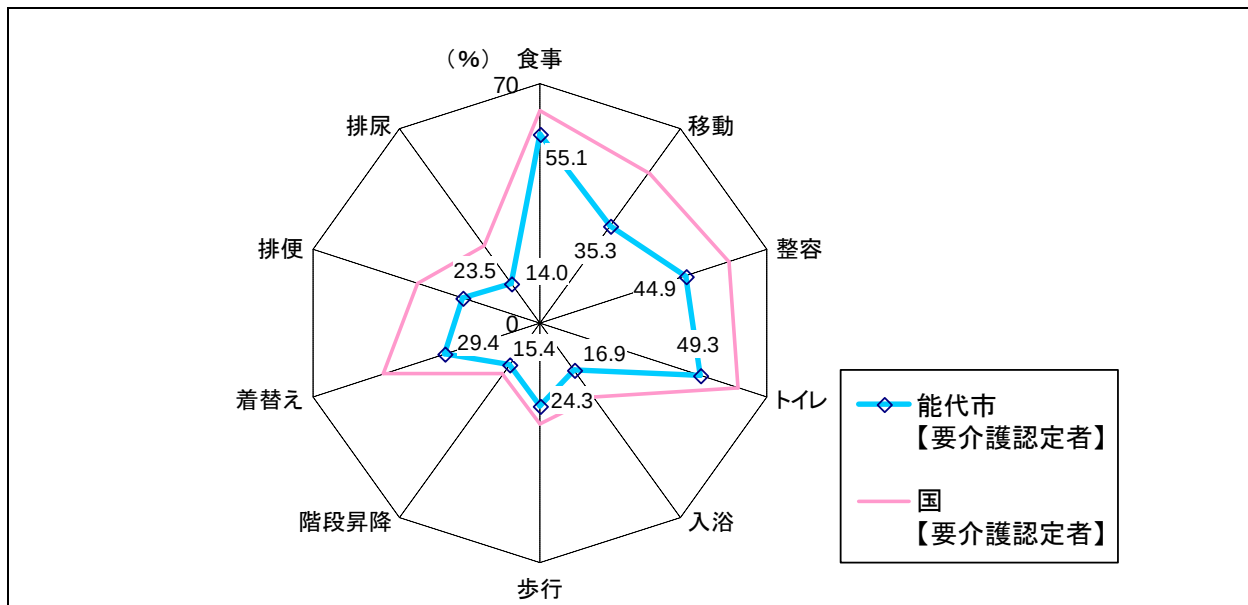
※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

能代市の要介護認定者について、生活機能項目別のリスク該当者割合を国の「要介護認定者」の数値と比較してみると、「閉じこもり」、「栄養」、「認知症予防」、「認知機能」の各項目において、国の水準よりもリスク該当者割合が高くなっている。

(2) 日常生活動作（ADL）の状況

< 自立者割合… 高い方が「良い」指標 >

● ADLの状況<評価項目別自立者割合>（能代市と国の比較）【要介護認定者】



(数値単位：%)

	能代市 (要介護認定者)		国 (要介護認定者)
		国との比較	
食事	55.1	低い(悪)	62.3
移動	35.3	低い(悪)	54.2
整容	44.9	低い(悪)	57.8
トイレ	49.3	低い(悪)	61.1
入浴	16.9	低い(悪)	26.7
歩行	24.3	低い(悪)	29.4
階段昇降	15.4	低い(悪)	18.6
着替え	29.4	低い(悪)	47.9
排便	23.5	低い(悪)	37.3
排尿	14.0	低い(悪)	28.1

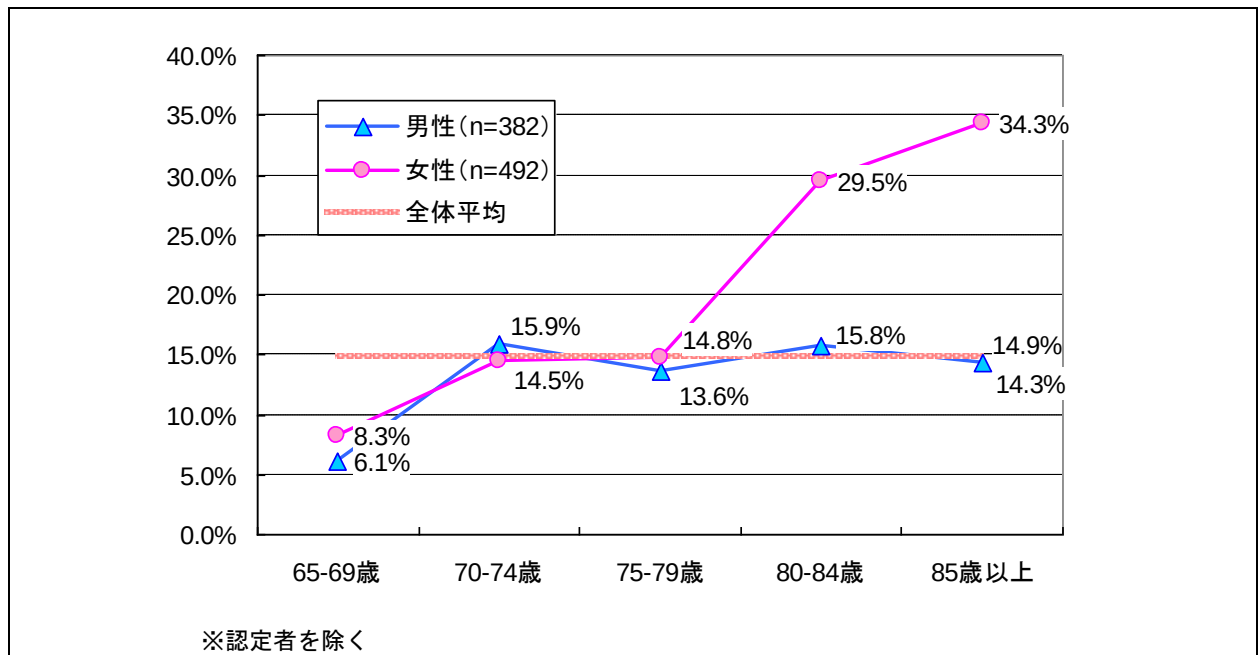
※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

能代市の要介護認定者について、日常生活動作（ADL）の評価項目別の自立者割合を国の「要介護認定者」の数値と比較してみると、すべての項目において国の数値を下回っており、総じて、自立可能な要介護認定者の割合は国の水準よりも低くなっている。

Ⅳ 調査結果③【項目別リスク分析】

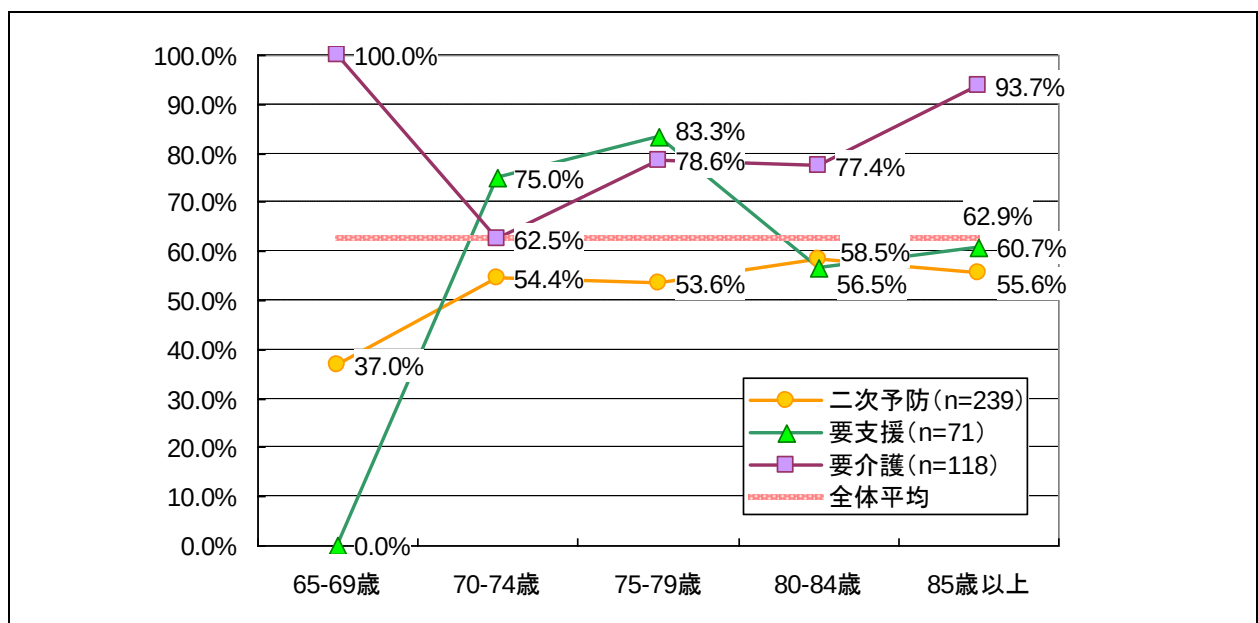
1 運動器

(1) 男女・年齢階級別該当状況



運動器リスクについて、男女別、年齢階級別に該当者割合をみると、「女性」については「80-84歳」階級から高くなっていることが特徴的である。

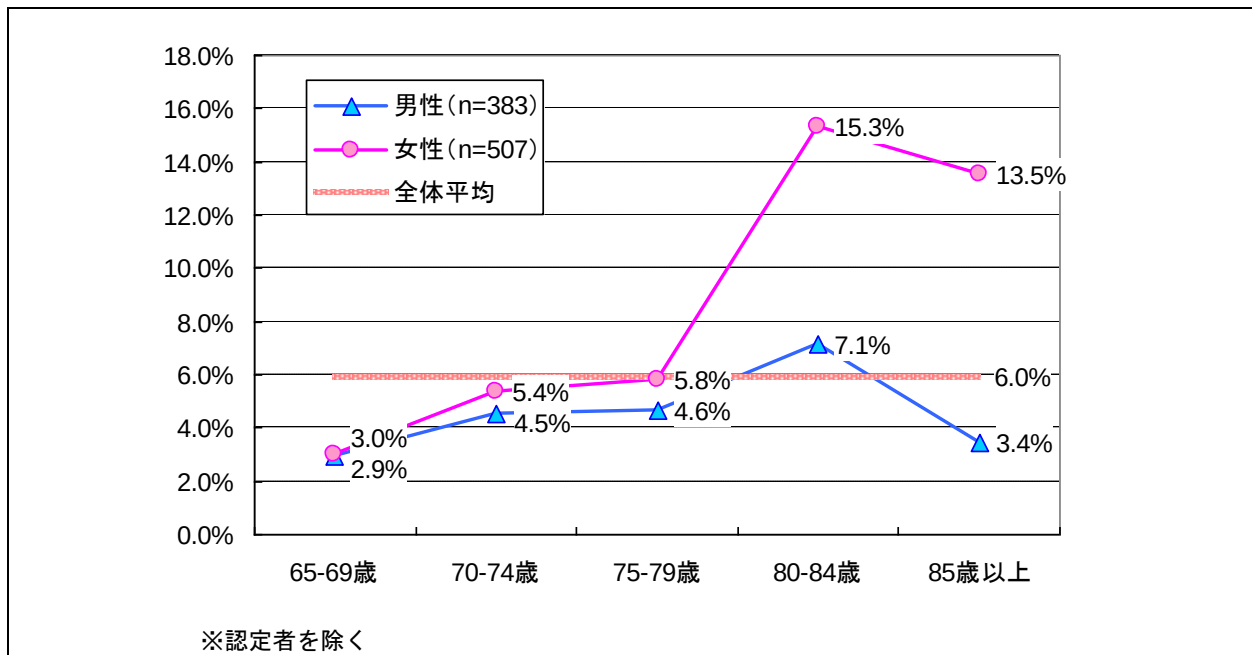
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況



運動器リスクについて、認定状況別、年齢階級別に該当者割合をみると、「二次予防」については、「70-74歳」以降の各年齢階級ではいずれも50%程度が該当していることが分かる。また、「要支援」では「75-79歳」、「要介護」では「85歳以上」でそれぞれ該当割合が最も高い。（なお、「一般」については、全員非該当である。）

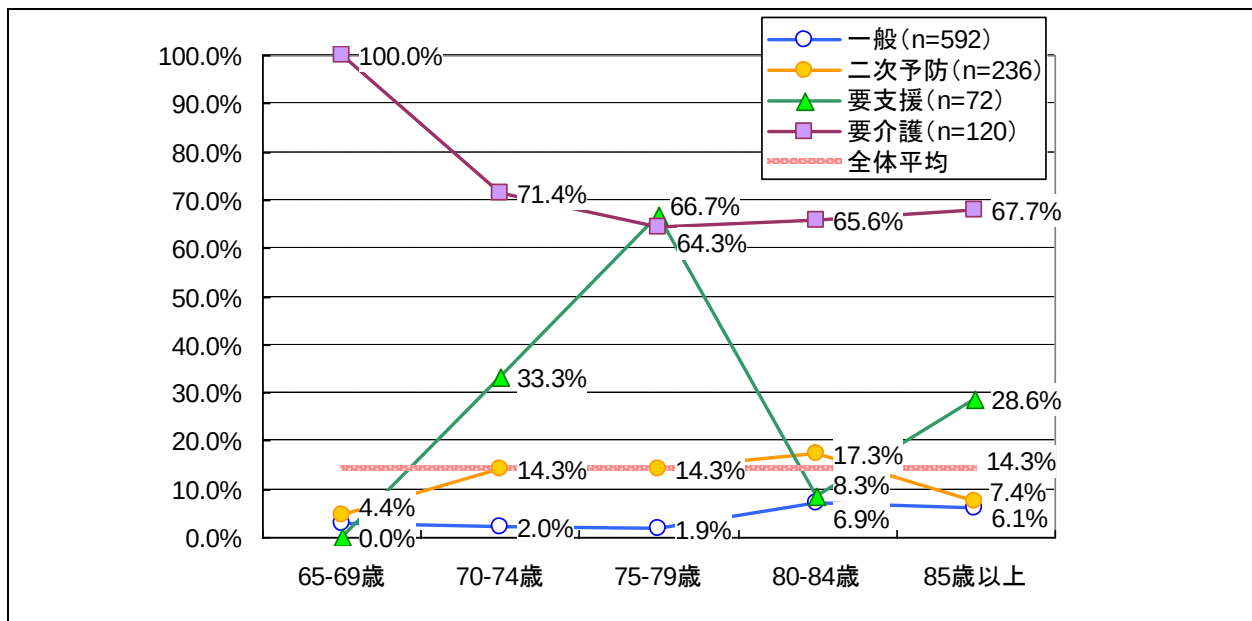
2 閉じこもり

(1) 男女・年齢階級別該当状況



閉じこもりリスクについて、男女別、年齢階級別に該当者割合をみると、「男性」、「女性」いずれも「80-84歳」階級でピークを迎えていることが分かる。また、「女性」については「80-84歳」階級から数値が大きく上昇している。

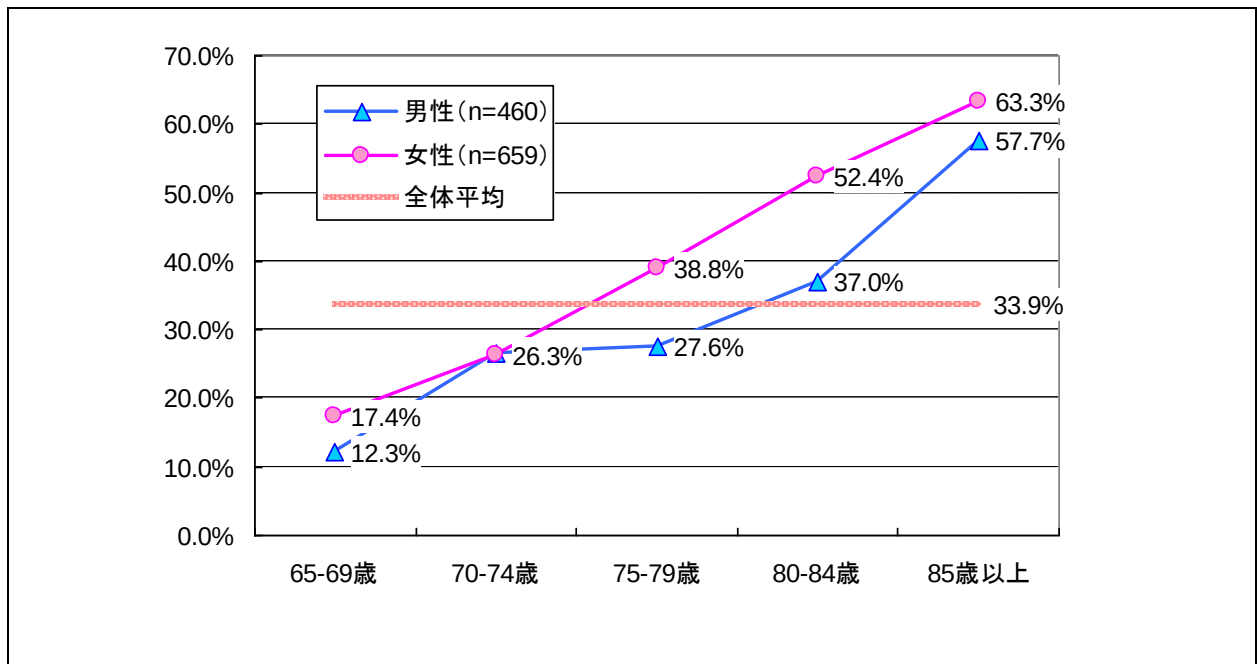
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況



閉じこもりリスクについて、認定状況別、年齢階級別に該当者割合をみると、「要介護」の数値がいずれの年齢階級においても他に比べて高い数値を示しているほか、「要支援」については「75-79歳」が突出して高くなっている。

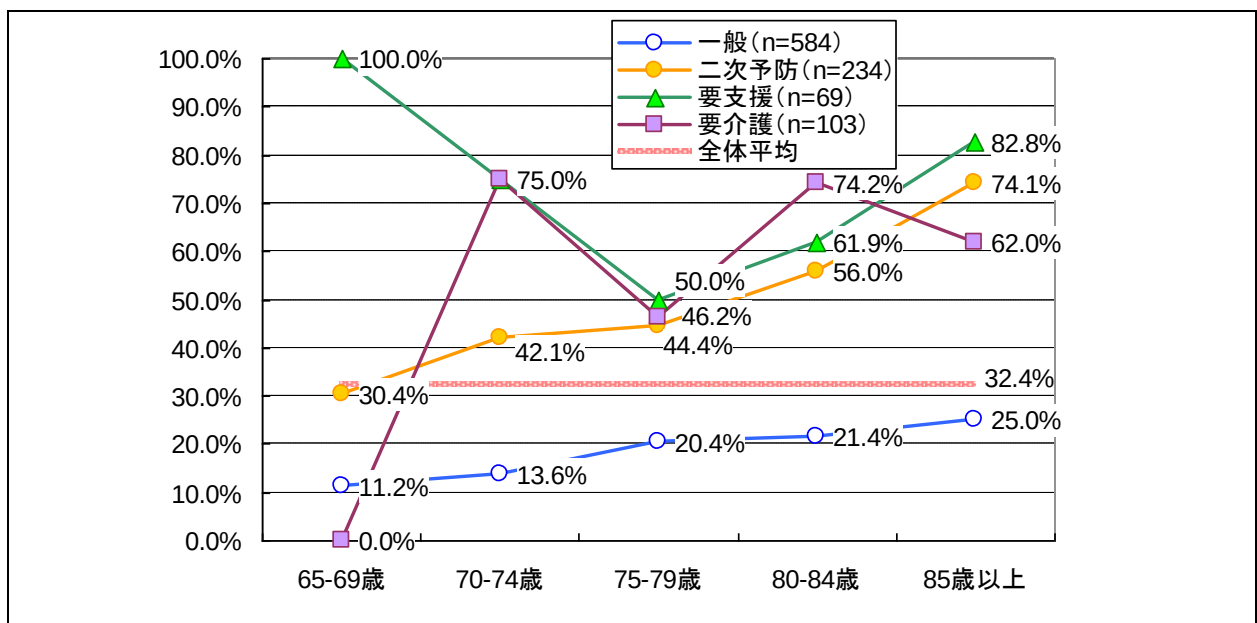
3 転倒

(1) 男女・年齢階級別該当状況



転倒リスクについて、男女別、年齢階級別に該当者割合をみると、「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて数値が高くなっていくことが特徴的である。

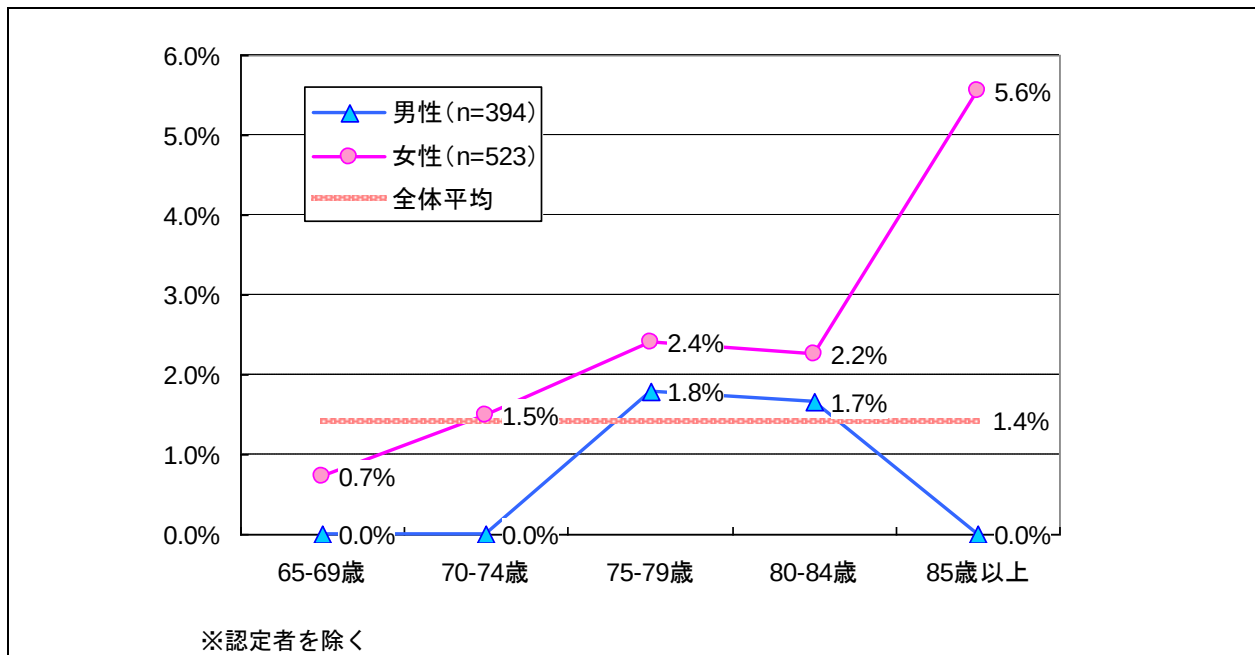
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況



転倒リスクについて、認定状況別、年齢階級別に該当者割合をみると、「一般」及び「二次予防」については年齢が上がるにつれて数値が高くなっており、特に「二次予防」については「75-79歳」以降の各年齢階級では、「要支援」、「要介護」と差のない数値を示している。

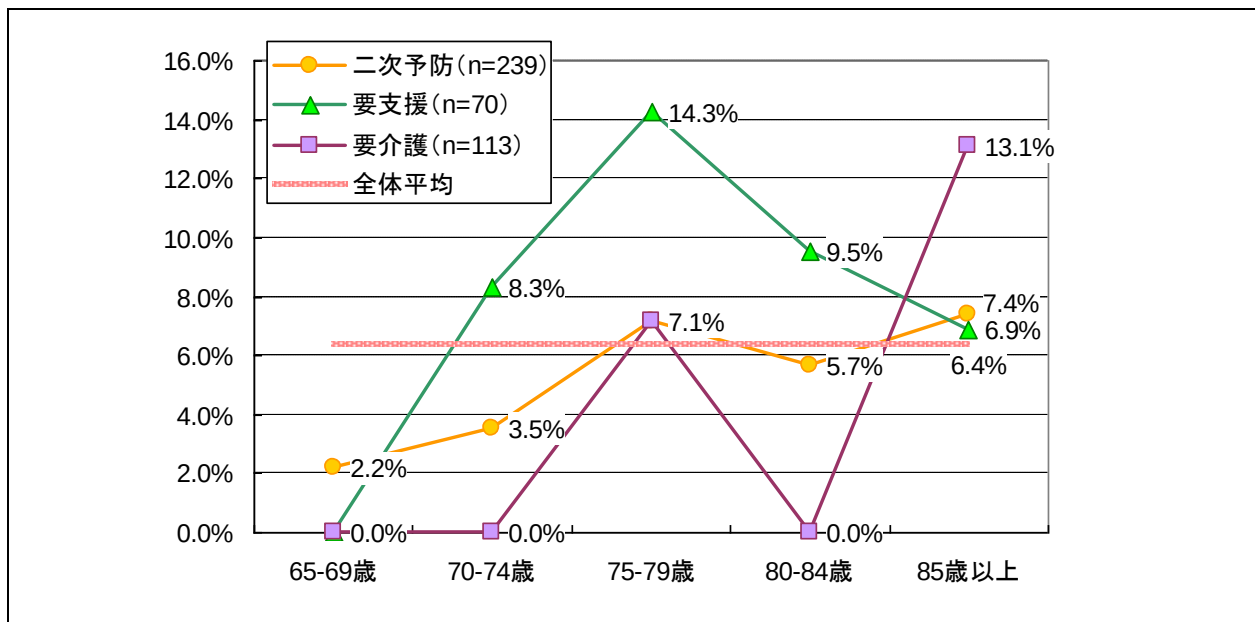
4 栄養

(1) 男女・年齢階級別該当状況



栄養リスクについて、男女別、年齢階級別に該当者割合をみると、「女性」の「85歳以上」の数値がひときわ高くなっている。

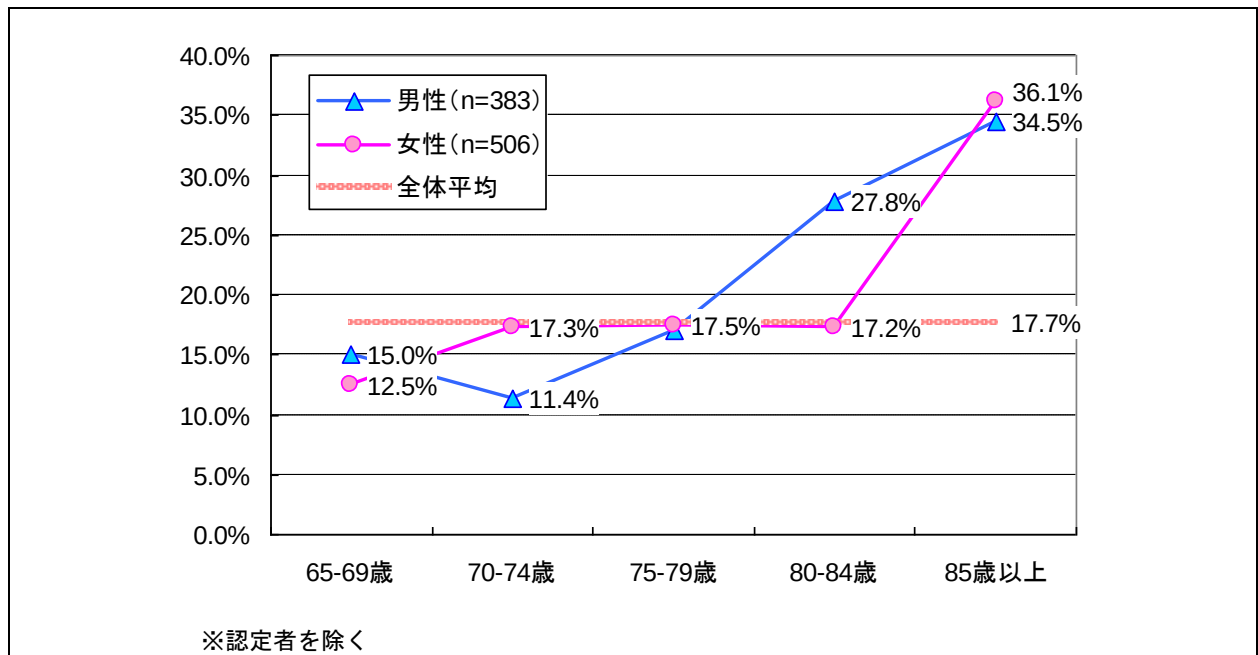
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況



栄養リスクについて、認定状況別、年齢階級別に該当者割合をみると、全体的に後期高齢者の該当傾向がうかがえる。（なお、「一般」については、全員非該当である。）

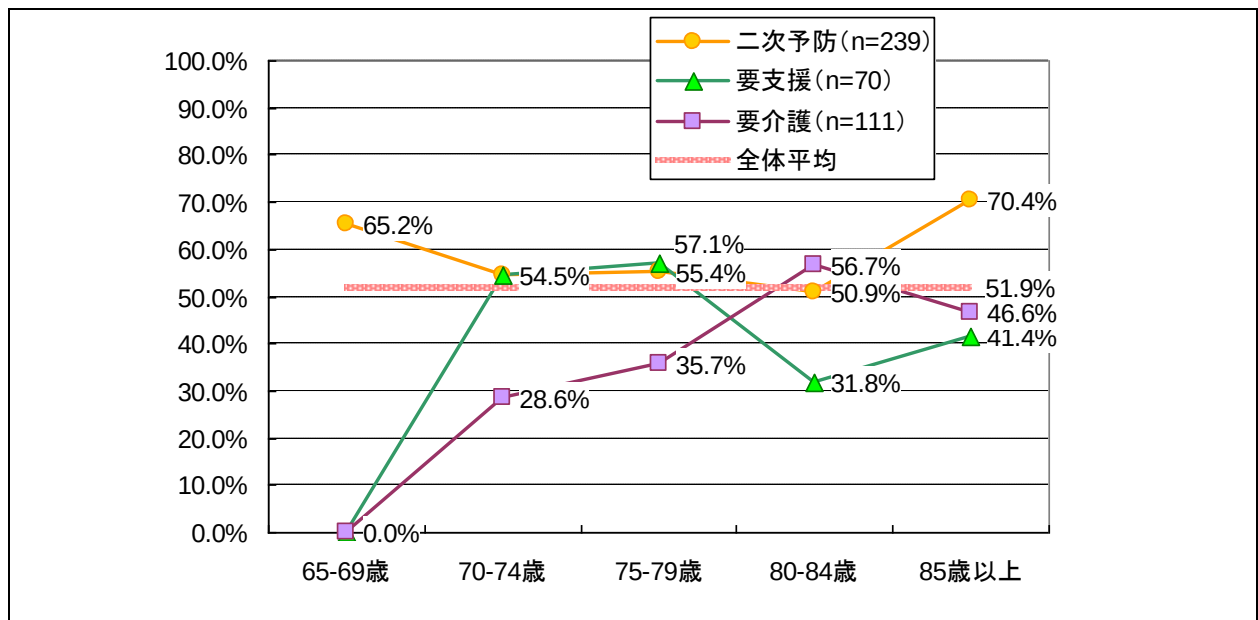
5 口腔

(1) 男女・年齢階級別該当状況



口腔リスクについて、男女別、年齢階級別に該当者割合をみると、「男性」では「80-84歳」以上の年齢階級から高くなり、「女性」では「85歳以上」で高くなっている。

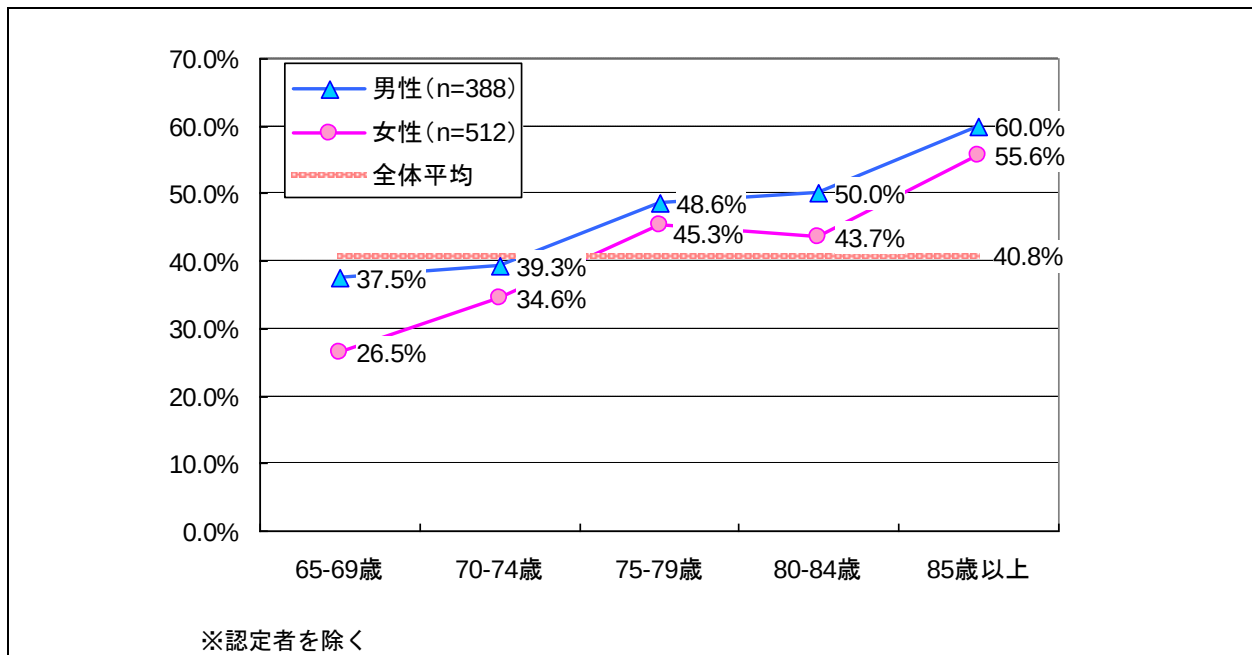
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況



口腔リスクについて、認定状況別、年齢階級別に該当者割合をみると「要支援」及び「要介護」に比しても、総じて、各年齢階級を通じた「二次予防」の数値の高さが目立つ。（なお、「一般」については、全員非該当である。）

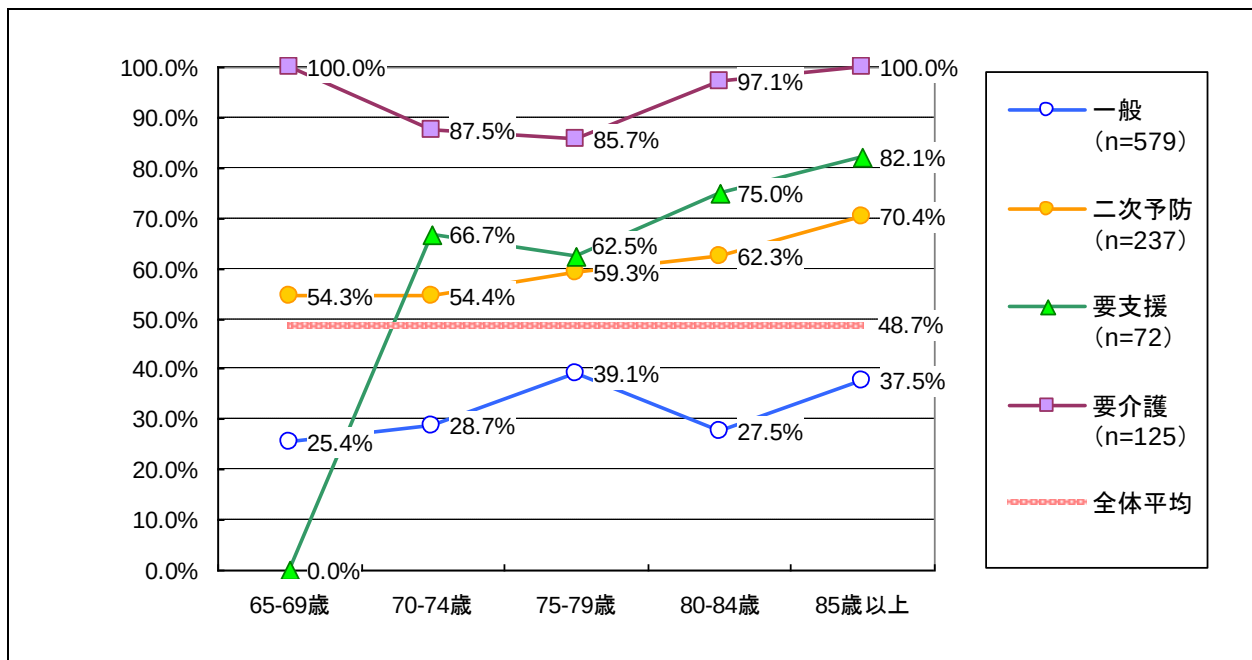
6 認知症予防

(1) 男女・年齢階級別該当状況



認知症予防について、男女別、年齢階級別に該当者割合をみると、「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて数値が高くなっていくほか、いずれの年齢階級においても「男性」の数値が「女性」を上回っていることが特徴的である。

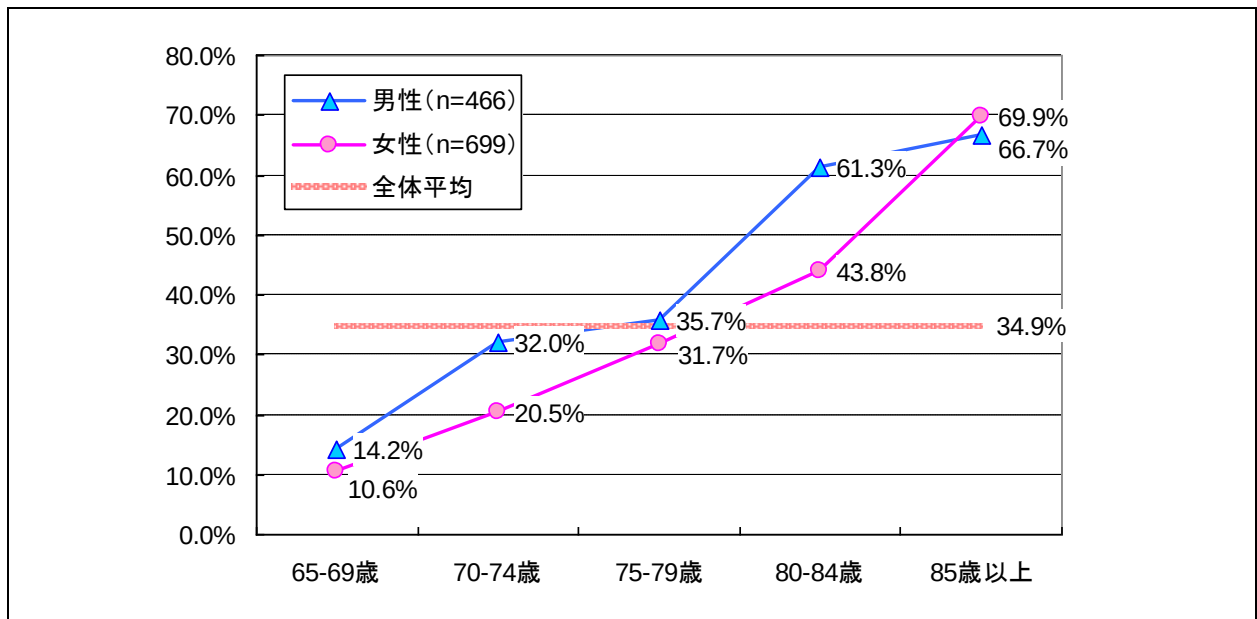
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況



認知症予防について、認定状況別、年齢階級別に該当者割合をみると、「要支援」の「65-69歳」階級を除き、いずれの年齢階級においても「一般」、「二次予防」、「要支援」、「要介護」の序列順に数値が高くなっていくことが分かる。

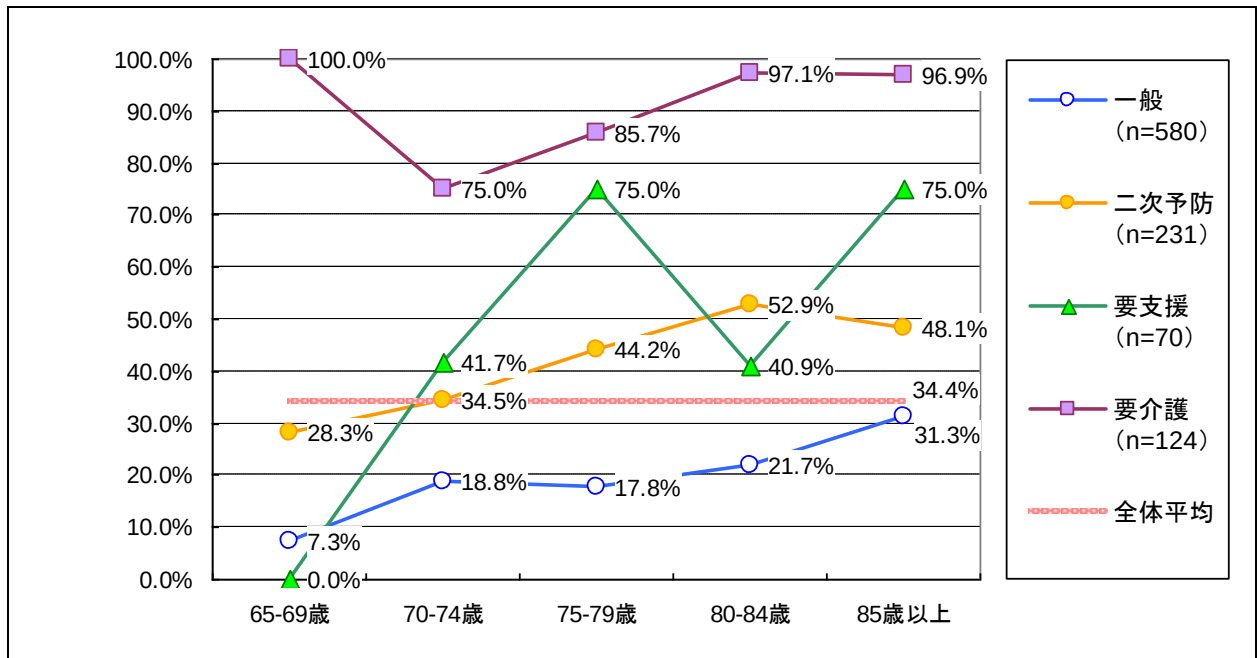
7 認知機能障害程度（CPS）

（１）男女・年齢階級別該当状況



認知機能障害程度（CPS）について、男女別、年齢階級別にリスク者割合をみると「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて数値が高くなっていくことが分かる。

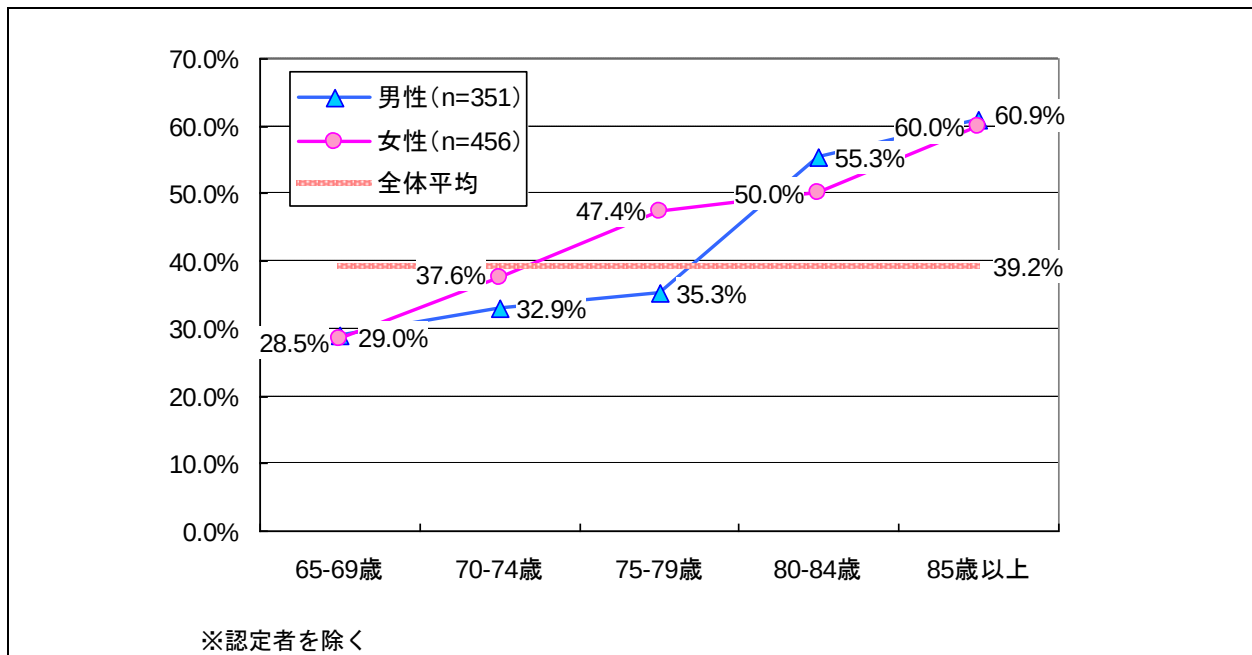
（２）認定状況・年齢階級別該当状況



認知機能障害程度（CPS）について、認定状況別、年齢階級別にリスク者割合をみると、「一般」についても、「85歳以上」では3割以上が該当していることが分かる。

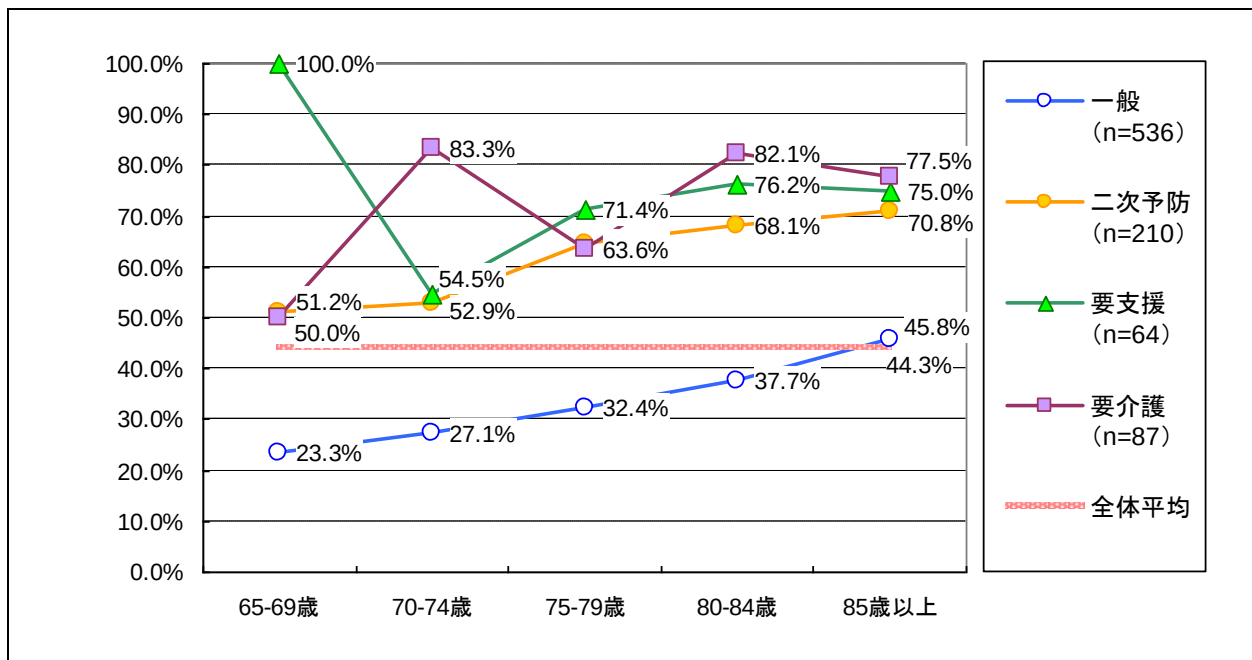
8 うつ予防

(1) 男女・年齢階級別該当状況



うつ予防について、男女別、年齢階級別に該当者割合をみると、「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて数値が高くなっていくが、「男性」は「80-84歳」階級から数値が大きく上昇するのに対して、「女性」は「70-74歳」以降から緩やかに高くなっていく。

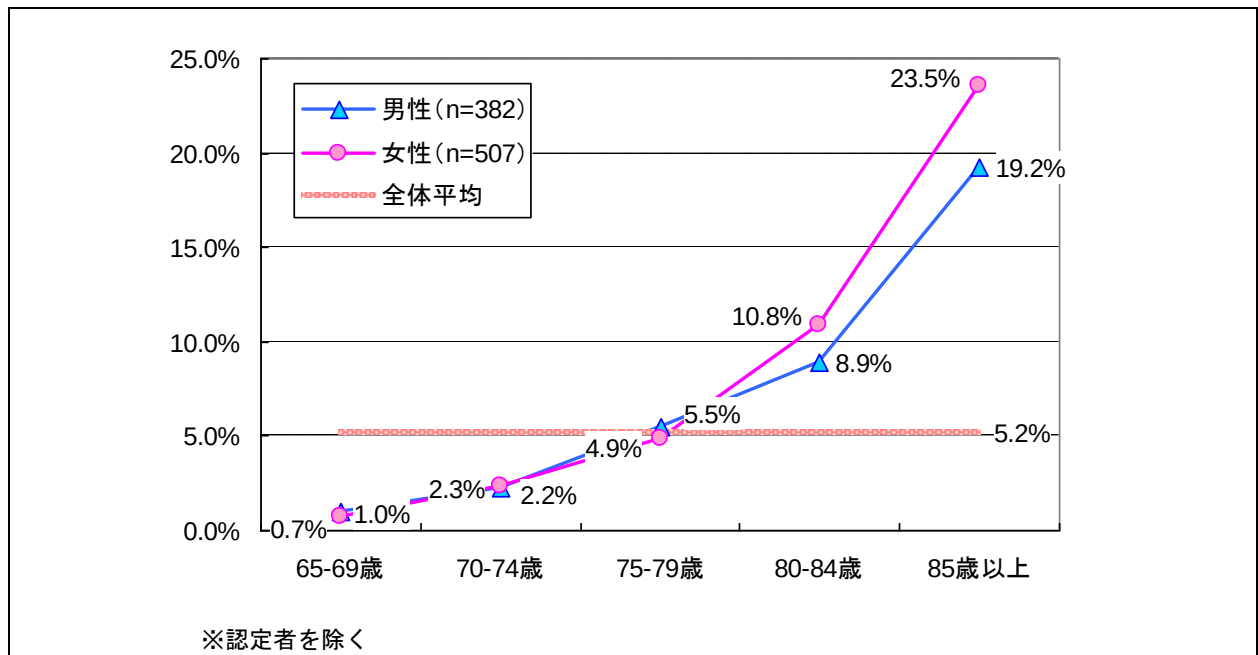
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況



うつ予防について、認定状況別、年齢階級別に該当者割合をみると、「二次予防」、「要支援」、「要介護」についてはいずれの年齢階級においても該当者割合は50%以上となっていることが分かる。また、「一般」については年齢が上がるにつれて数値が高くなっていくものの、「85歳以上」の年齢階級においても該当者割合は50%を下回っている。

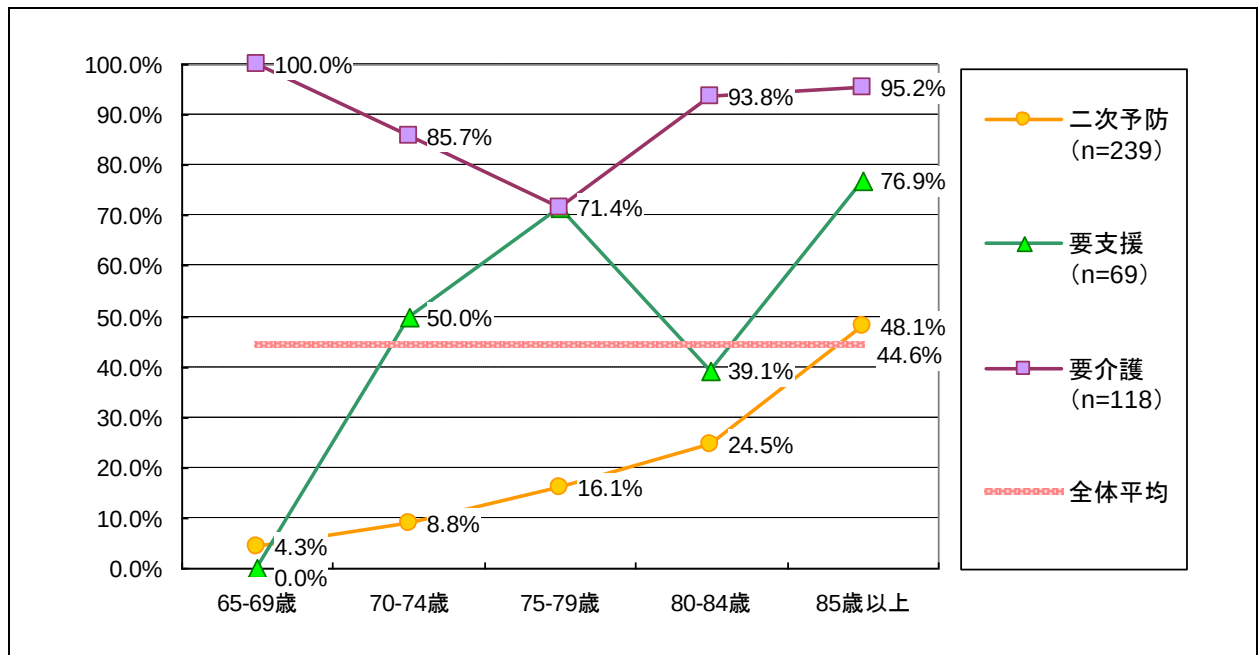
9 虚弱

(1) 男女・年齢階級別該当状況



虚弱判定について、男女別、年齢階級別に該当者割合をみると、「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて数値が高くなっており、特に「85歳以上」になると急激に数値が高くなっていることが特徴的である。

(2) 認定状況・年齢階級別該当状況

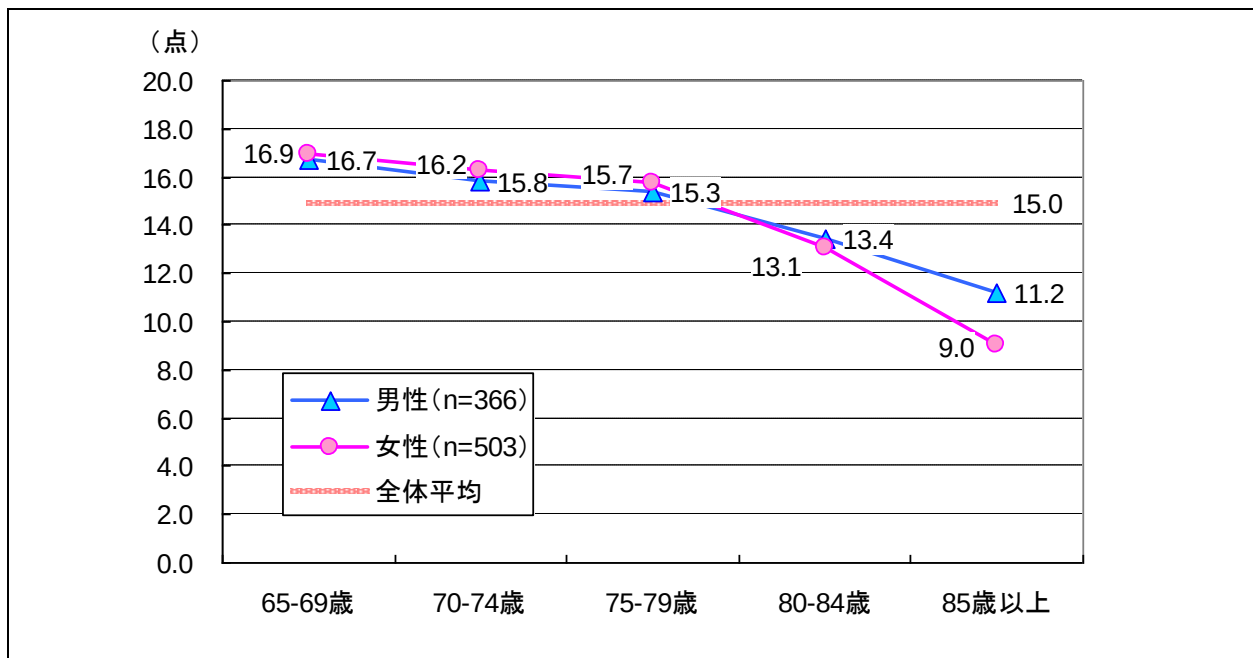


虚弱判定について、認定状況別、年齢階級別に該当者割合をみると、「要介護」ではいずれの年齢階級においても7割以上の数値を示す一方、「二次予防」については、「65-69歳」を除く各年齢階級について「要支援」、「要介護」の数値を下回っている。（なお、「一般」については、全員非該当である。）

10 基本チェックリスト得点

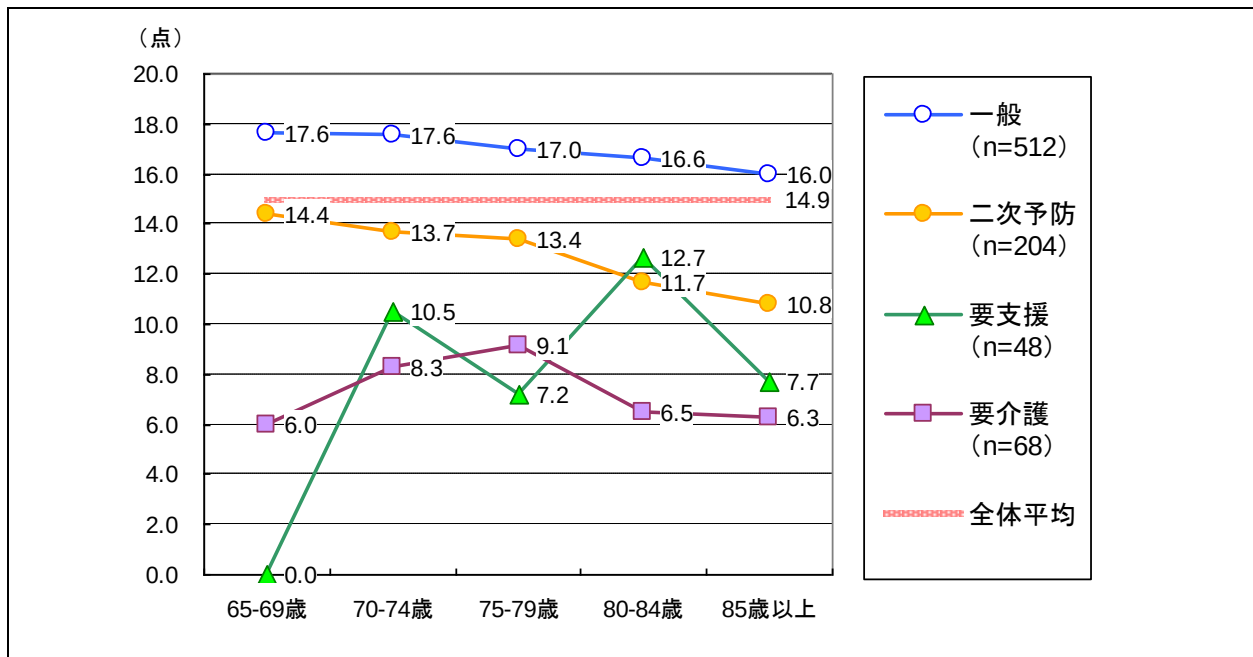
※この項目の指標はリスク該当者割合でなく、肯定的な数値であることに注意。

(1) 男女・年齢階級別該当状況



基本チェックリスト得点について、男女別、年齢階級別に平均得点をみると、「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて得点が低下している。

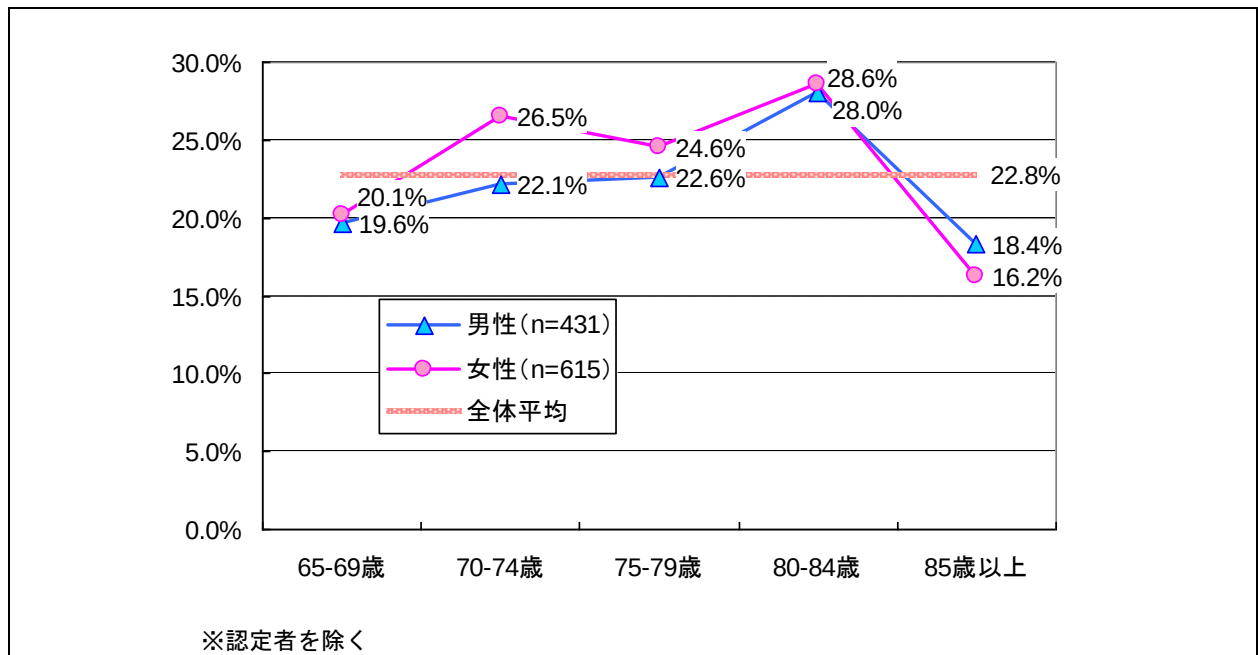
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況



基本チェックリスト得点について、認定状況別、年齢階級別に平均得点をみると、「一般」についてはいずれの年齢階級においても全体平均を上回る一方、「二次予防」、「要支援」、「要介護」については、いずれの年齢階級においても全体平均を下回っている。

11 二次予防対象者

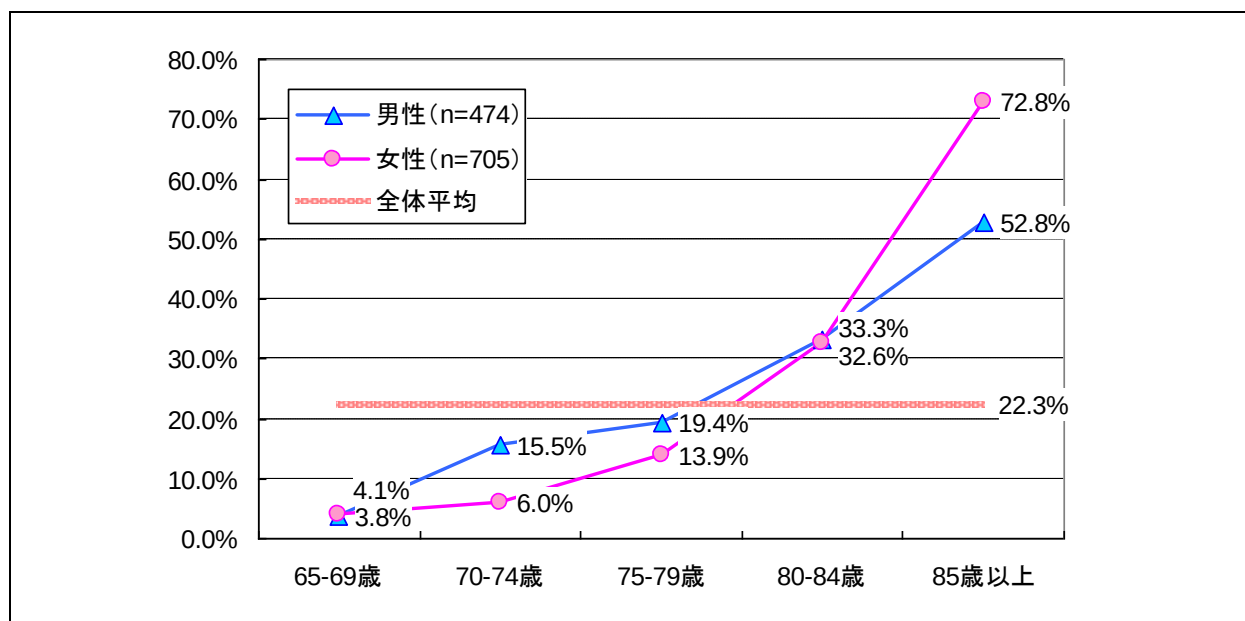
(1) 男女・年齢階級別該当状況



二次予防対象者について、男女別、年齢階級別に該当者割合をみると、「男性」、「女性」いずれも「80-84歳」階級の数値が最も高く、「85歳以上」になると数値が落ち込み、最も低くなっている点で共通している。

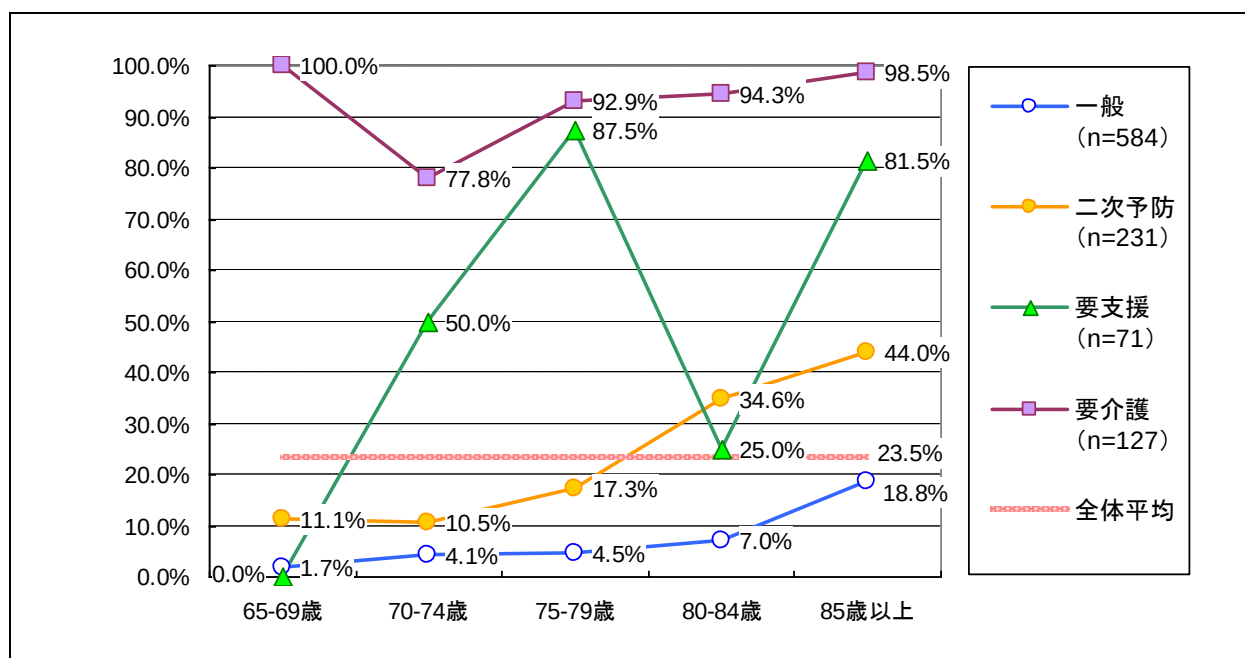
12 手段的自立度（IADL）

（１）男女・年齢階級別該当状況



手段的自立度（IADL）について、男女別、年齢階級別に低下者割合をみると、「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて数値が高くなっており、特に「80-84歳」からの上昇傾向が顕著である。

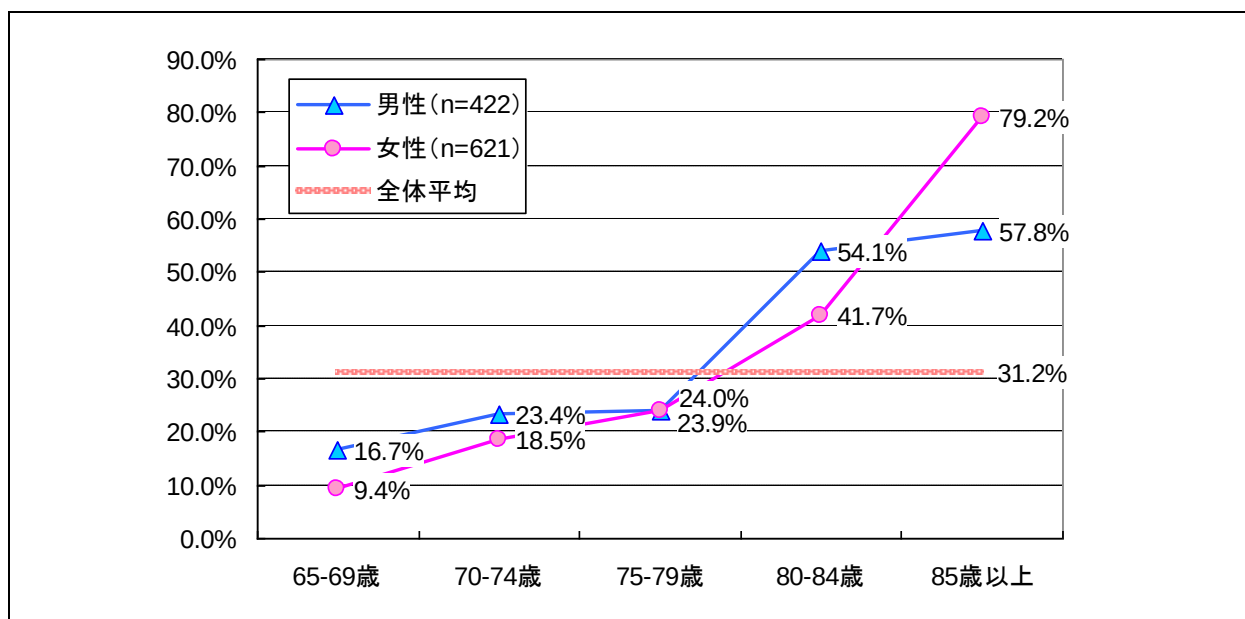
（２）認定状況・年齢階級別該当状況



手段的自立度（IADL）について、認定状況別、年齢階級別に低下者割合をみると、「要介護」ではいずれの年齢階級においても7割以上の数値を示している。また、「二次予防」については、「80-84歳」以降の数値の上昇が目立っている。

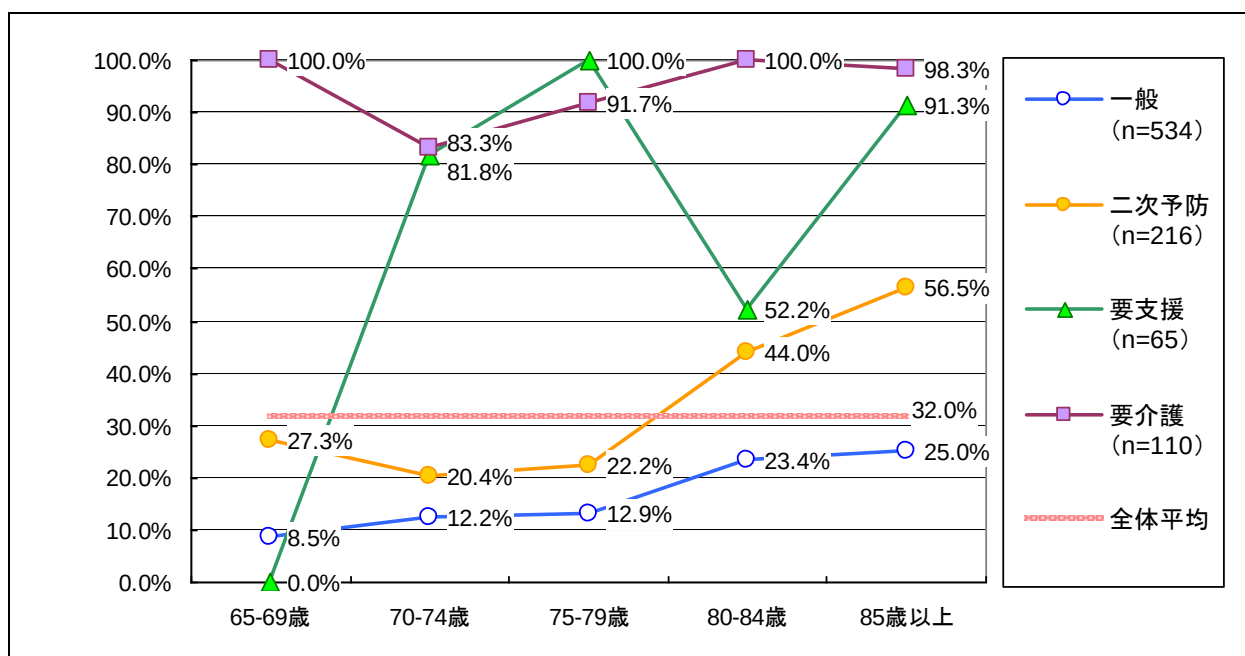
13 生活機能総合評価

(1) 男女・年齢階級別該当状況



生活機能総合評価結果から、男女別、年齢階級別に低下者割合をみると、「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて数値が高くなっており、特に「80-84歳」からの上昇傾向が顕著である。

(2) 認定状況・年齢階級別該当状況

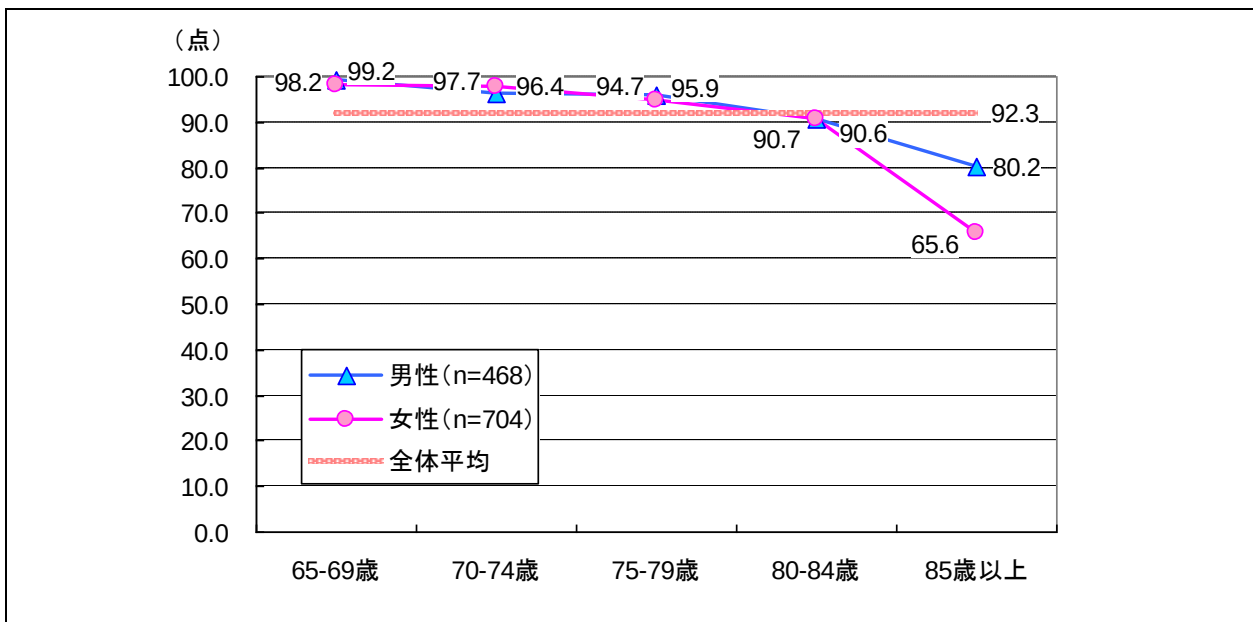


生活機能総合評価結果から、認定状況別、年齢階級別に低下者割合をみると、「要介護」ではいずれの年齢階級においても8割以上の高い数値を示しており、「要支援」についても「70-74歳」、「80-84歳」、「85歳以上」の年齢階級で8割以上の数値を示している。また、「一般」及び「二次予防」を比較すると、「80-84歳」以降に数値の開きが大きくなっていくことが分かる。

14 日常生活動作（ADL）

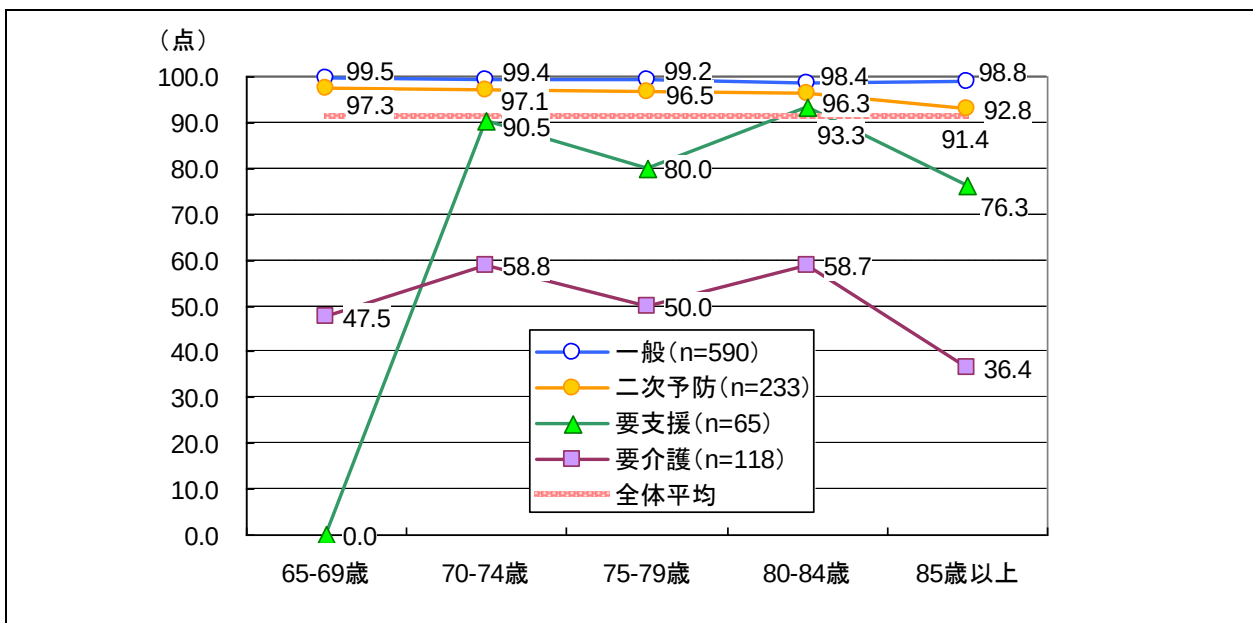
※この項目の指標はリスク該当者割合でなく、肯定的な数値であることに注意。

（１）男女・年齢階級別該当状況



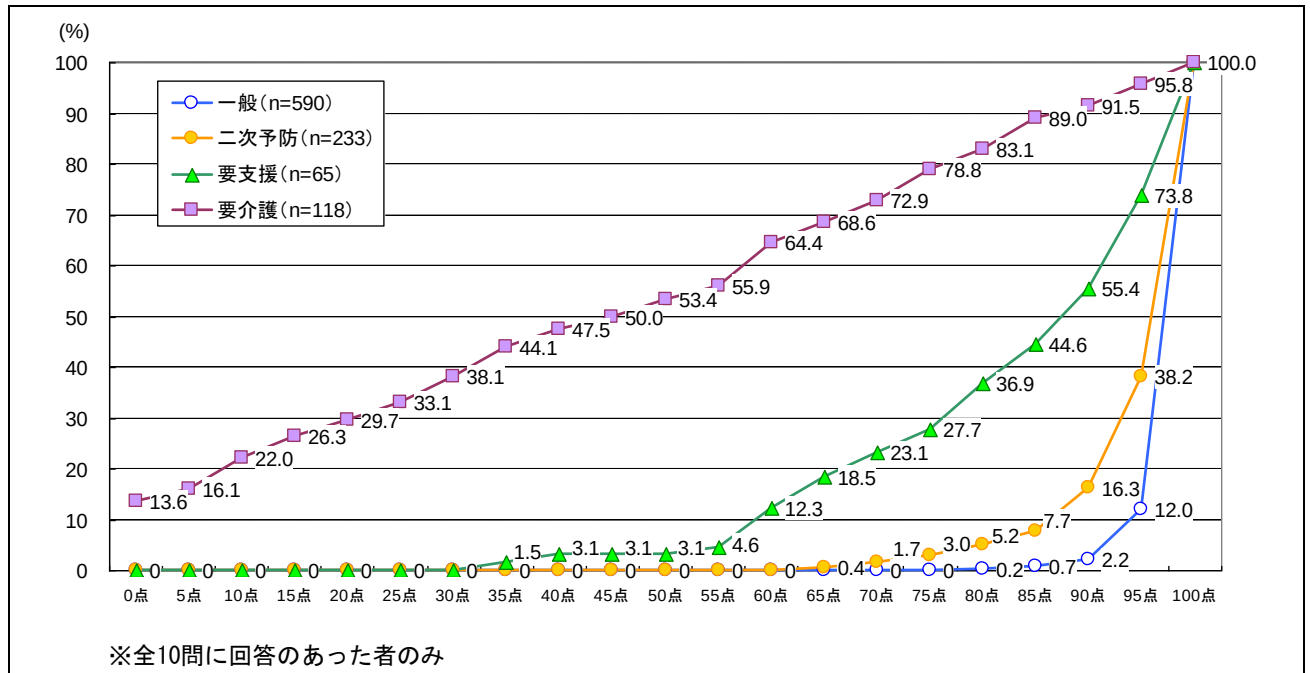
日常生活動作（ADL）について、男女別、年齢階級別に平均得点をみると、「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて得点が低下する傾向がみられ、「85歳以上」の数値の低下が顕著であることも共通している。また、「80-84歳」までの男女の得点に大きな差はみられないが、「85歳以上」では「女性」の数値が「男性」の数値を大きく下回ることが特徴的である。

（２）認定状況・年齢階級別該当状況



日常生活動作（ADL）について、認定状況別、年齢階級別に平均得点をみると、「要支援」の「65-69歳」階級を除き、いずれの年齢階級においても「一般」、「二次予防」、「要支援」、「要介護」の序列順に得点が低くなっていくことが分かる。

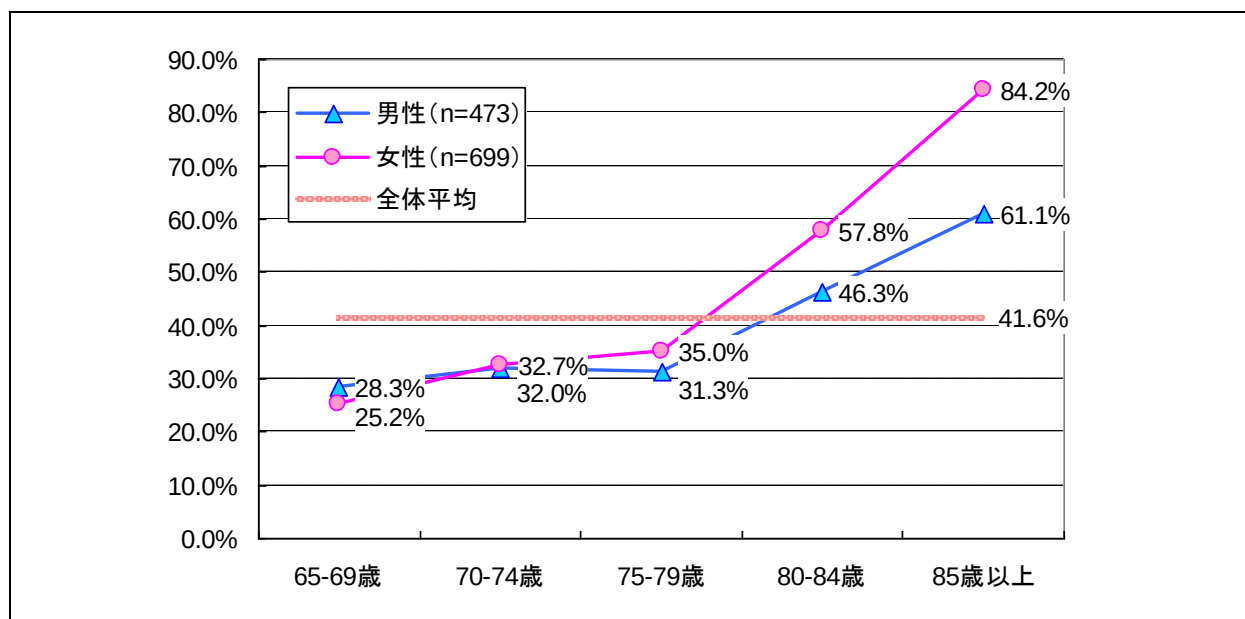
(3) ADL得点累積相対度数



日常生活動作（ADL）について、ADL得点累積相対度数をみると、「一般」については高得点が大半を占めるためL字型の分布となっている一方、「要介護」は高得点から低得点が分散しているため、直線に近い分布となっている。また、「二次予防」及び「要支援」については、「一般」と「要介護」の間に分布していることが分かる。

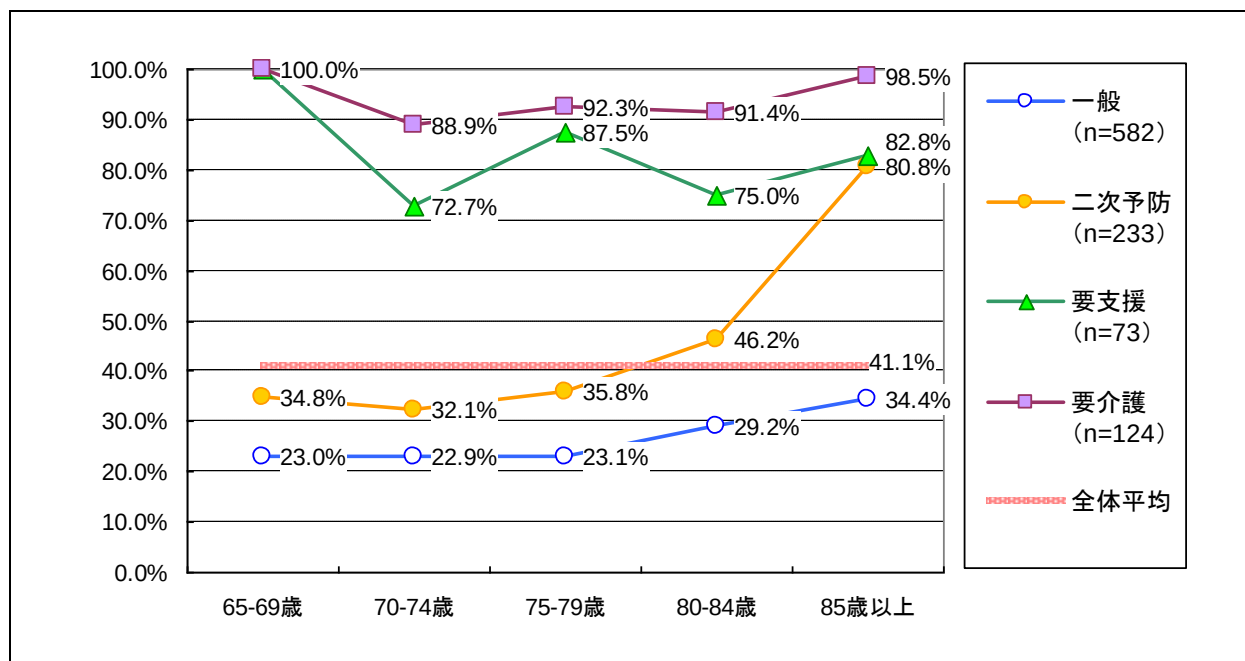
15 知的能動性

(1) 男女・年齢階級別該当状況



知的能動性について、男女別、年齢階級別に低下者割合をみると、「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて数値が高くなっており、特に「80-84歳」からの上昇傾向が顕著である。また、「65-69歳」階級を除き、その他の年齢階級においては「女性」の数値が「男性」の数値をいずれも上回っていることが分かる。

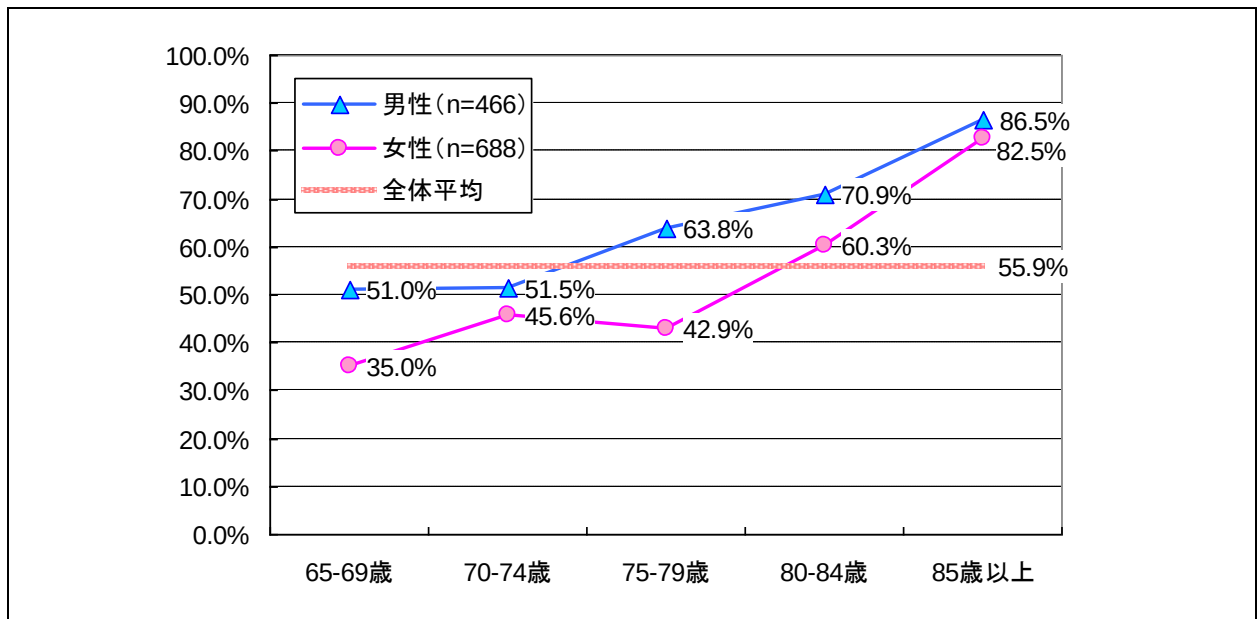
(2) 認定状況・年齢階級別該当状況



知的能動性について、認定状況別、年齢階級別に該当者割合をみると、いずれの年齢階級においても「一般」、「二次予防」、「要支援」、「要介護」の序列順に数値が高くなっていくことが分かる。

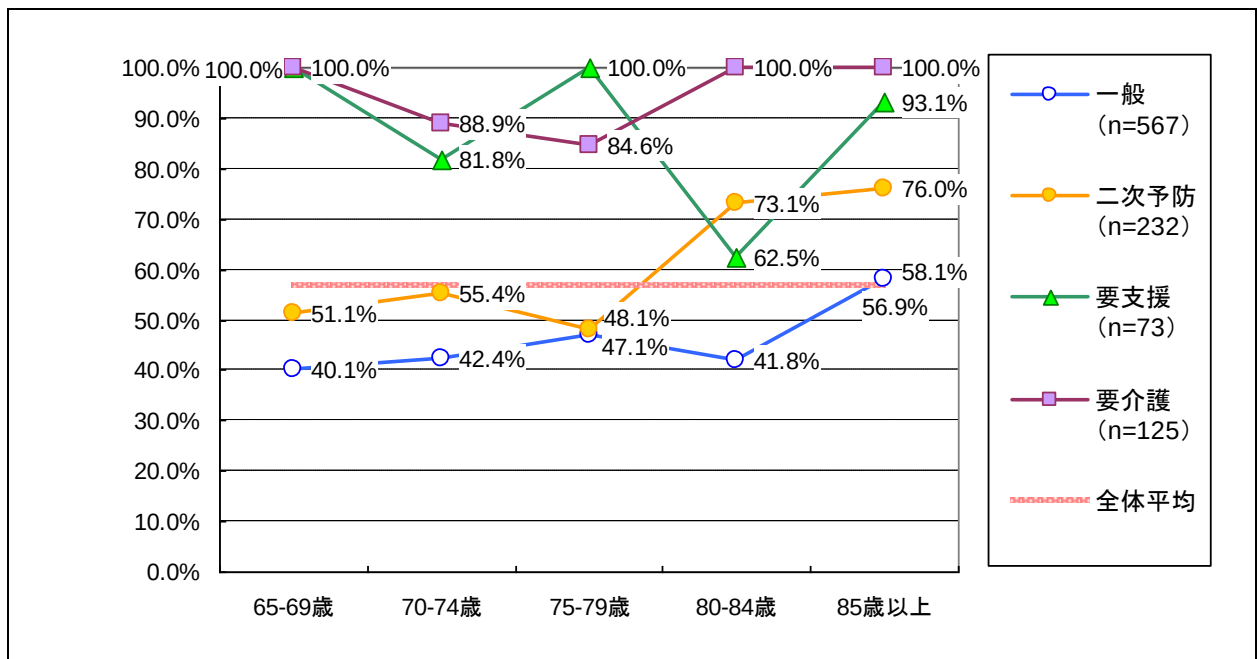
16 社会的役割

(1) 男女・年齢階級別該当状況



社会的役割について、男女別、年齢階級別に低下者割合をみると、「男性」、「女性」いずれも年齢が上がるにつれて数値が高くなっているほか、いずれの年齢階級においても「男性」の数値が「女性」の数値を上回っていることが分かる。

(2) 認定状況・年齢階級別該当状況



社会的役割について、認定状況別、年齢階級別に低下者割合をみると、「要支援」の「75-79歳」及び「80-84歳」階級で上下がみられるものの、総じて、「一般」、「二次予防」、「要支援」、「要介護」の序列順に数値が高くなっていると言える。

V 調査結果④【各地区のリスク該当状況】

各地区の対象者の基本属性（年齢・性別・要介護認定状況）

本章における地区の分類については、p 8における9つの居住地区のうち、「扇洲地区」「檜山地区」「鶴形地区」の3地区を「東部地区」に、さらに「二ツ井地区」「富根地区」の2地区を「二ツ井地区」に統合し、①本庁地区、②南地区、③向能代地区、④東部地区、⑤常盤地区、⑥二ツ井地区の6地区としている。

■年齢

上段:度数 下段:%	年齢						
	合計	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
全体	1262 100.0%	265 21.0%	279 22.1%	289 22.9%	230 18.2%	183 14.5%	16 1.3%
本庁地区	539 100.0%	123 22.8%	118 21.9%	125 23.2%	103 19.1%	67 12.4%	3 0.6%
南地区	106 100.0%	25 23.6%	25 23.6%	27 25.5%	17 16.0%	10 9.4%	2 1.9%
向能代地区	164 100.0%	28 17.1%	38 23.2%	33 20.1%	27 16.5%	37 22.6%	1 0.6%
東部地区	89 100.0%	21 23.6%	19 21.3%	20 22.5%	15 16.9%	14 15.7%	-
常盤地区	37 100.0%	6 16.2%	8 21.6%	10 27.0%	7 18.9%	6 16.2%	-
二ツ井地区	293 100.0%	56 19.1%	63 21.5%	71 24.2%	57 19.5%	45 15.4%	1 0.3%
無回答	34 100.0%	6 17.6%	8 23.5%	3 8.8%	4 11.8%	4 11.8%	9 26.5%

■性別

上段:度数 下段:%	性別			
	合計	男	女	無回答
全体	1262 100.0%	492 39.0%	756 59.9%	14 1.1%
本庁地区	539 100.0%	211 39.1%	325 60.3%	3 0.6%
南地区	106 100.0%	39 36.8%	67 63.2%	-
向能代地区	164 100.0%	64 39.0%	99 60.4%	1 0.6%
東部地区	89 100.0%	38 42.7%	51 57.3%	-
常盤地区	37 100.0%	16 43.2%	21 56.8%	-
二ツ井地区	293 100.0%	119 40.6%	174 59.4%	-
無回答	34 100.0%	5 14.7%	19 55.9%	10 29.4%

年齢については、「向能代地区」、「常盤地区」、「二ツ井地区」では後期高齢者比率が相対的に高く、逆に「南地区」では相対的に低い。

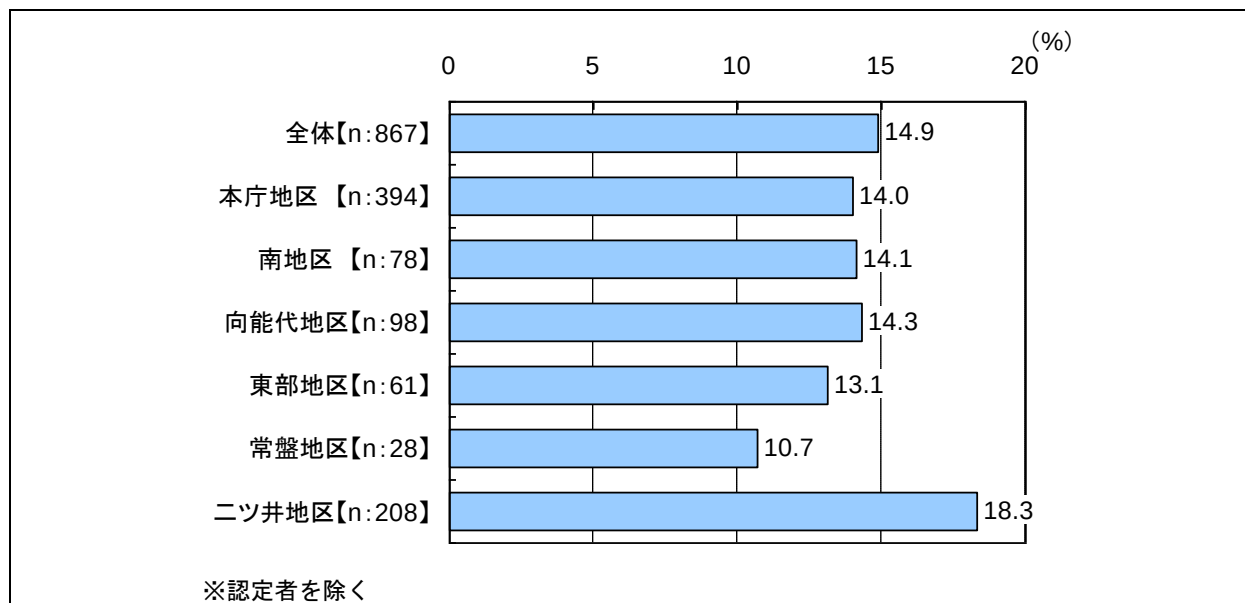
男女比については、「南地区」で、「女」の構成比が相対的に高くなっている。

■要支援・要介護認定状況

上段:度数 下段:%	要介護度									
	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	1262 100.0%	944 74.8%	47 3.7%	30 2.4%	44 3.5%	25 2.0%	23 1.8%	16 1.3%	28 2.2%	105 8.3%
本庁地区	539 100.0%	415 77.0%	23 4.3%	13 2.4%	18 3.3%	12 2.2%	7 1.3%	6 1.1%	8 1.5%	37 6.9%
南地区	106 100.0%	86 81.1%	3 2.8%	-	4 3.8%	3 2.8%	1 0.9%	1 0.9%	3 2.8%	5 4.7%
向能代地区	164 100.0%	108 65.9%	10 6.1%	7 4.3%	8 4.9%	4 2.4%	9 5.5%	2 1.2%	8 4.9%	8 4.9%
東部地区	89 100.0%	68 76.4%	3 3.4%	2 2.2%	4 4.5%	-	2 2.2%	1 1.1%	2 2.2%	7 7.9%
常盤地区	37 100.0%	29 78.4%	-	2 5.4%	-	-	-	2 5.4%	-	4 10.8%
二ツ井地区	293 100.0%	224 76.5%	8 2.7%	5 1.7%	10 3.4%	6 2.0%	4 1.4%	4 1.4%	7 2.4%	25 8.5%
無回答	34 100.0%	14 41.2%	-	1 2.9%	-	-	-	-	-	19 55.9%

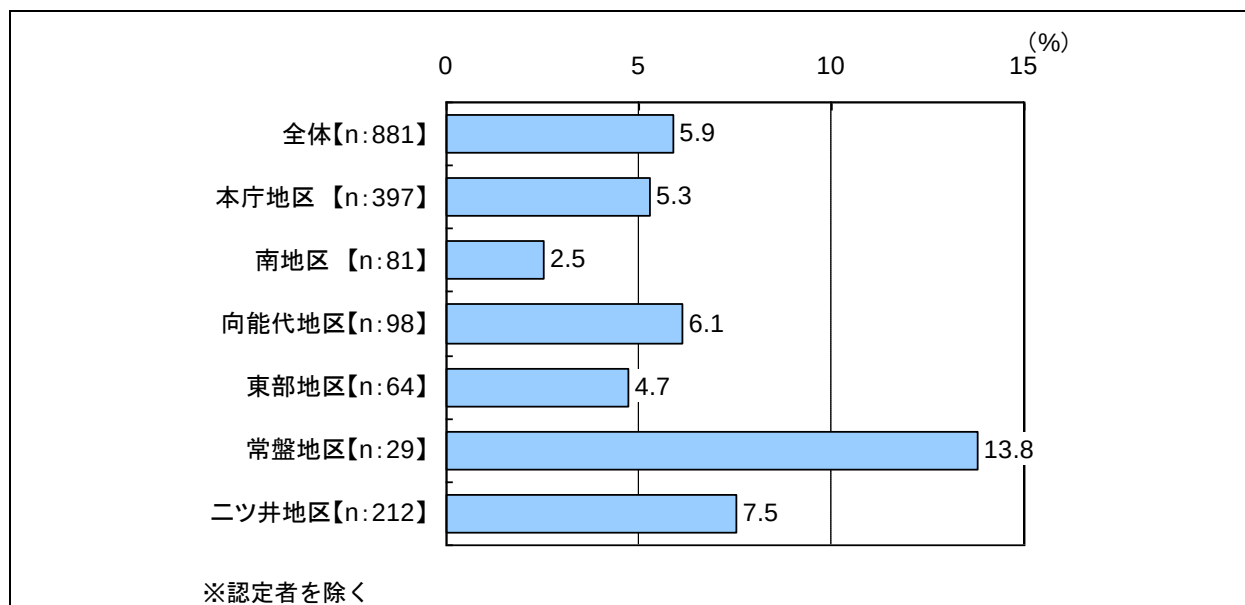
要支援・要介護認定を受けていない「自立」の割合は、「南地区」で81.1%と最も高く、逆に、「向能代地区」では65.9%と最も低い。その他の地区についてはいずれも7割以上を占めている。

1 運動器



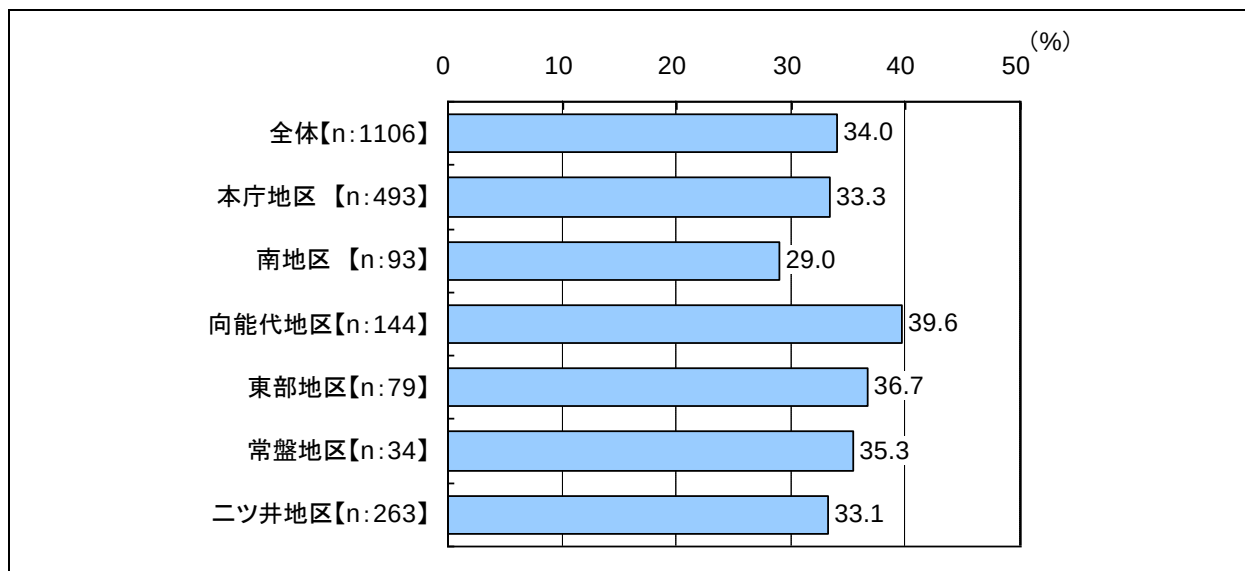
運動器リスクについて、地区別に該当者割合をみると、「ニツ井地区」で最も高い数値を示す一方、「常盤地区」では最も低い数値となっている。

2 閉じこもり



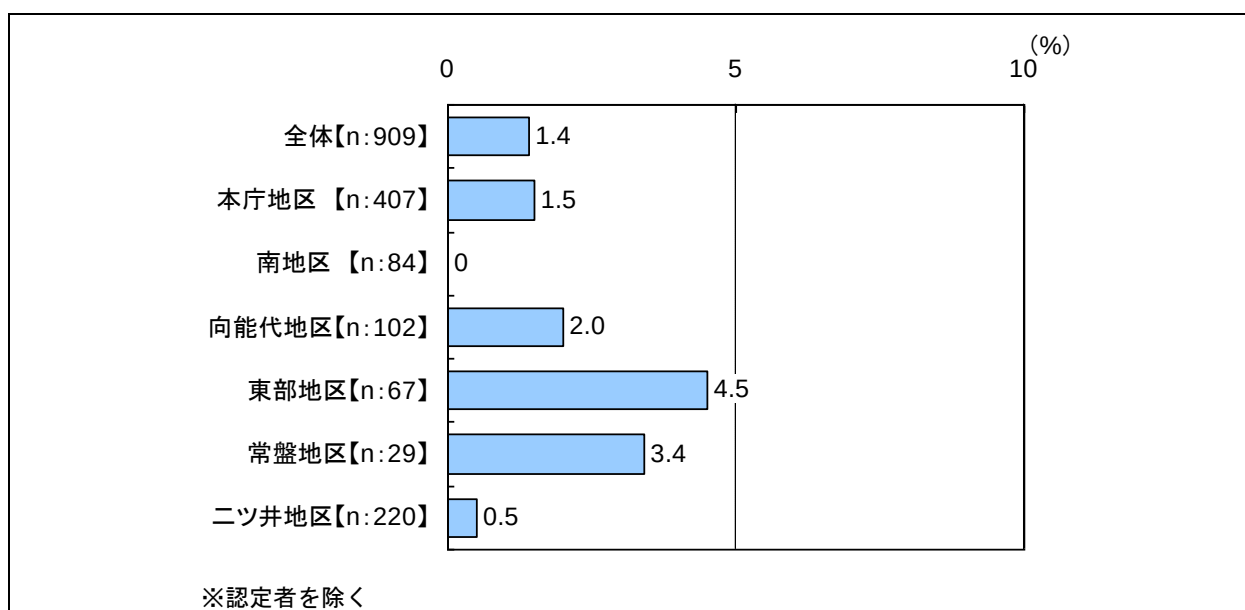
閉じこもりリスクについて、地区別に該当者割合をみると、「常盤地区」で突出して高い数値を示す一方、「南地区」、「東部地区」では相対的に低い数値となっている。

3 転倒



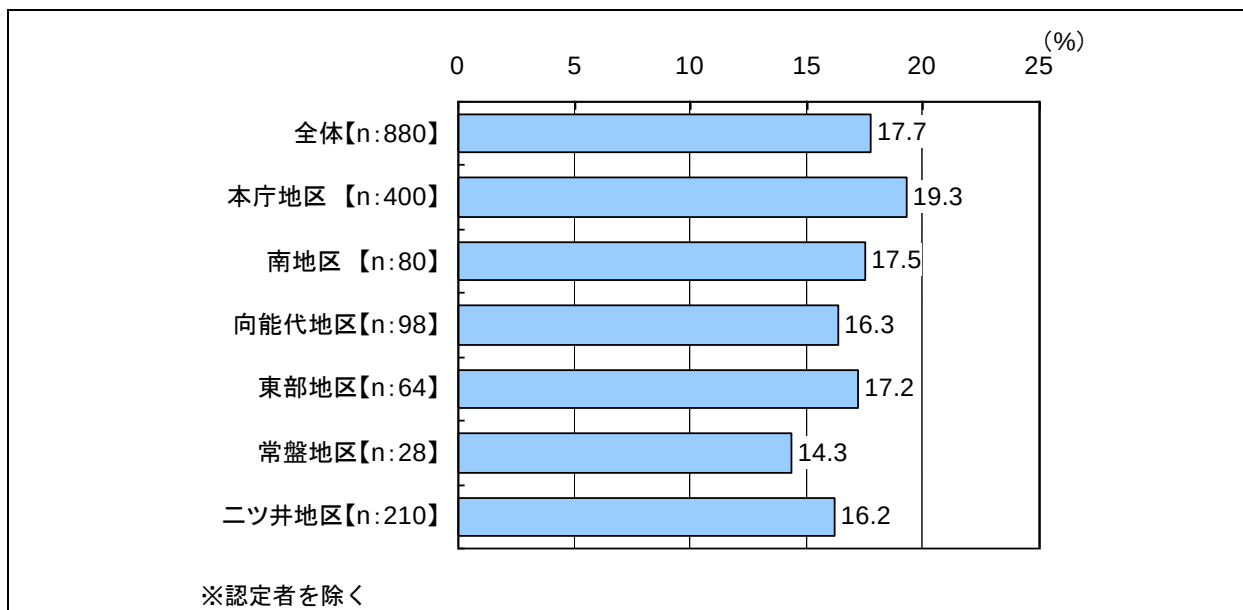
転倒リスクについて、地区別に該当者割合をみると、「向能代地区」、「東部地区」、「常盤地区」で相対的に高い数値を示す一方、「南地区」では最も低い数値となっている。

4 栄養



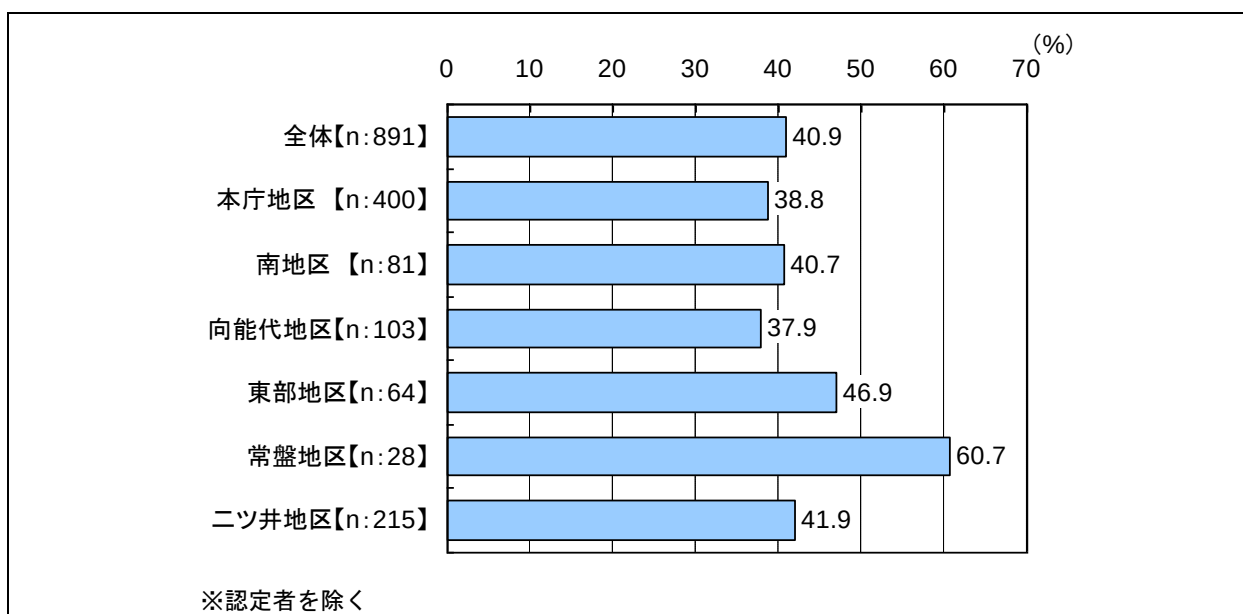
栄養リスクについて、地区別に該当者割合をみると、「東部地区」、「常盤地区」で相対的に高い数値を示している。

5 口腔



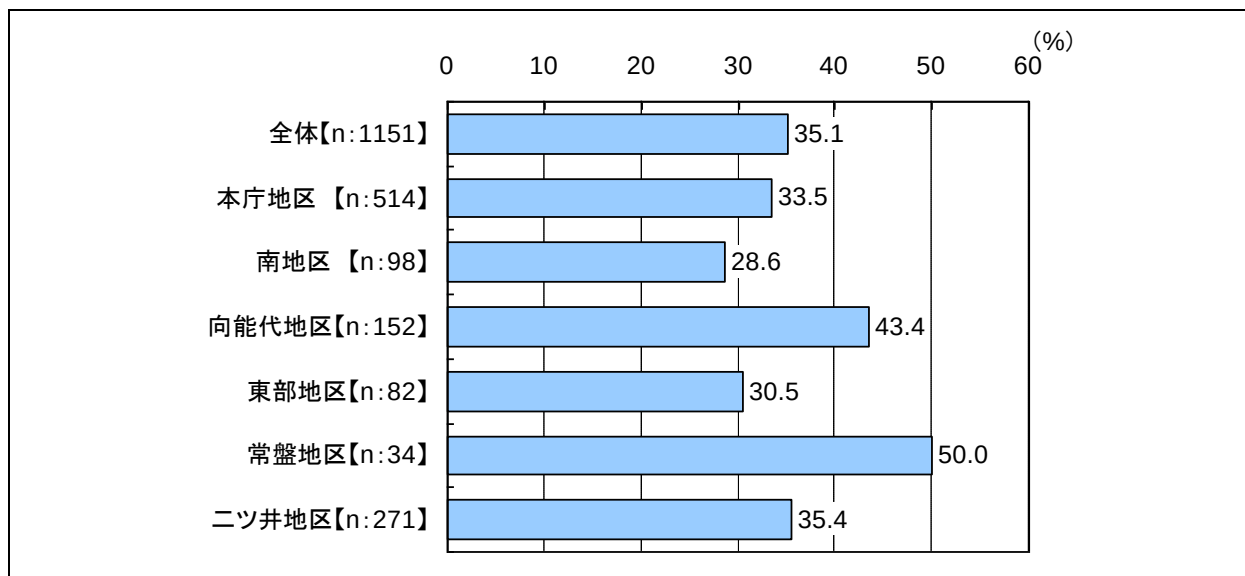
口腔リスクについて、地区別に該当者割合をみると、「本庁地区」においてのみ「全体」の数値を上回り、最も高い数値を示している。一方、「常盤地区」では最も低い数値となっている。

6 認知症予防



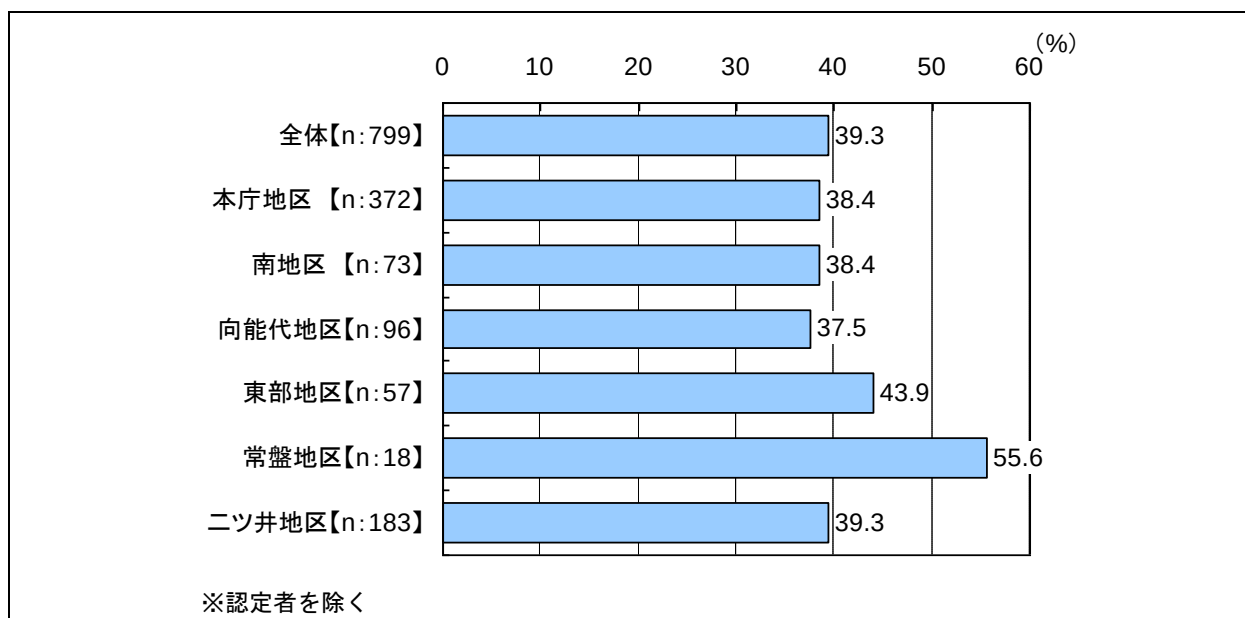
認知症予防について、地区別に該当者割合をみると、「常盤地区」で突出して高い数値を示しているほか、「東部地区」、「ニツ井地区」で全体の数値を上回っている。

7 認知機能障害程度（CPS）



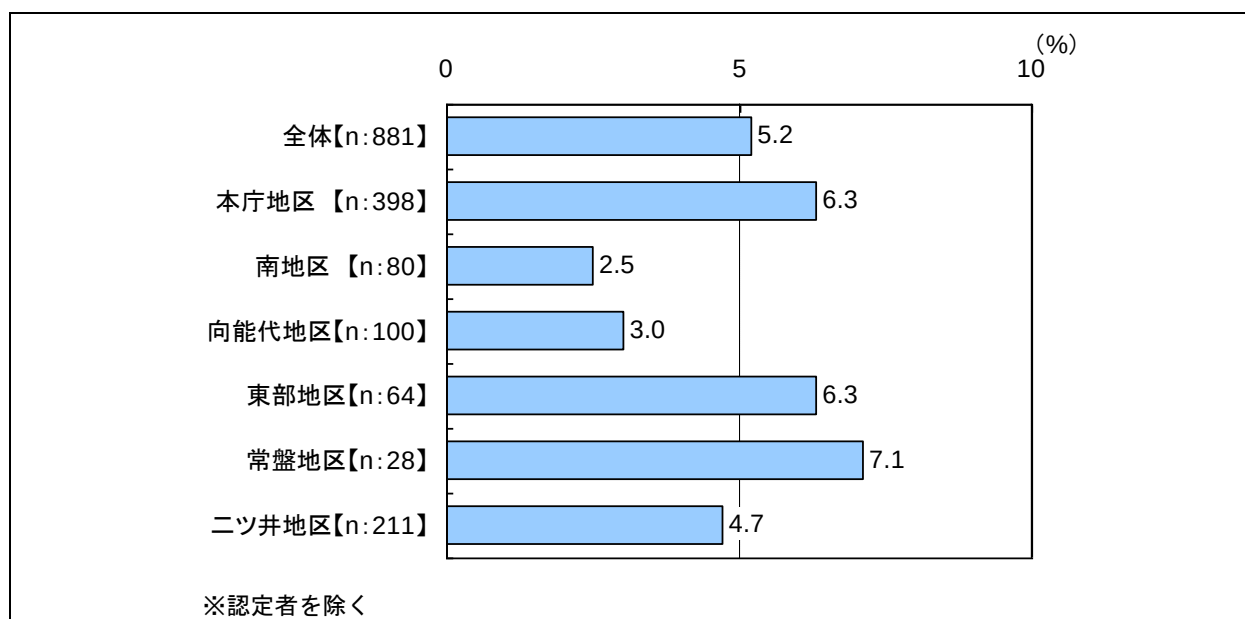
認知機能障害程度（CPS）について、地区別にリスク者割合をみると、「向能代地区」、「常盤地区」で相対的に高く、逆に「南地区」、「東部地区」では相対的に低い数値となっている。

8 うつ予防



うつ予防について、地区別に該当者割合をみると、「常盤地区」で最も高く、半数以上が該当しているほか、「東部地区」においても相対的に高い数値を示している。

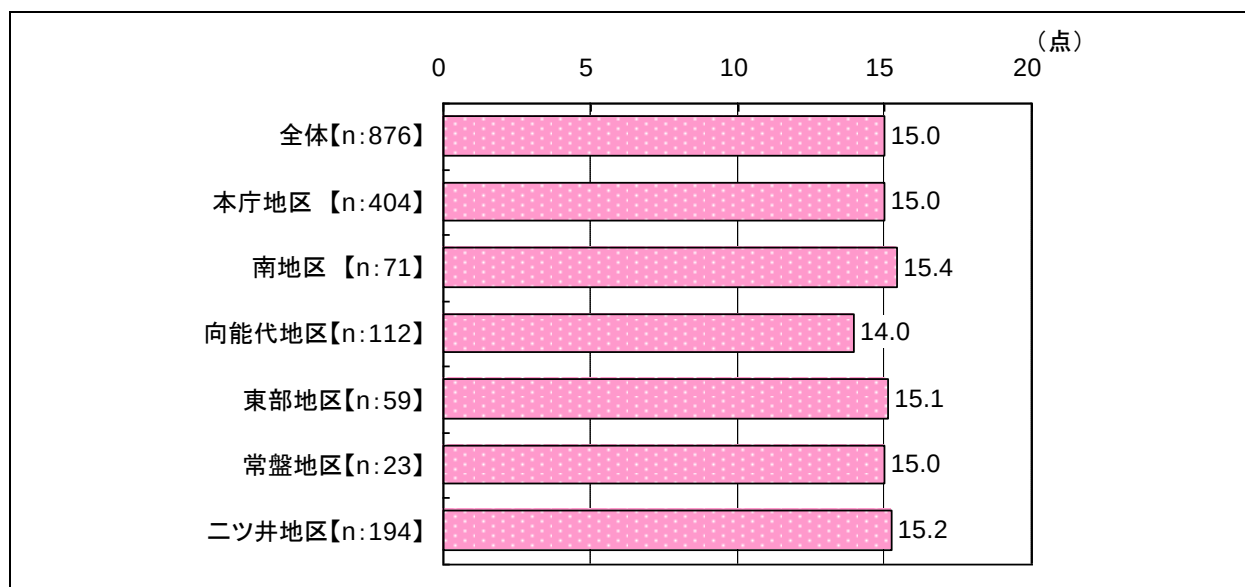
9 虚弱



虚弱判定について、地区別に該当者割合をみると、「常盤地区」で最も高いほか、「本庁地区」、「東部地区」においても相対的に高い数値を示す一方、「南地区」、「向能代地区」では相対的に低い数値となっている。

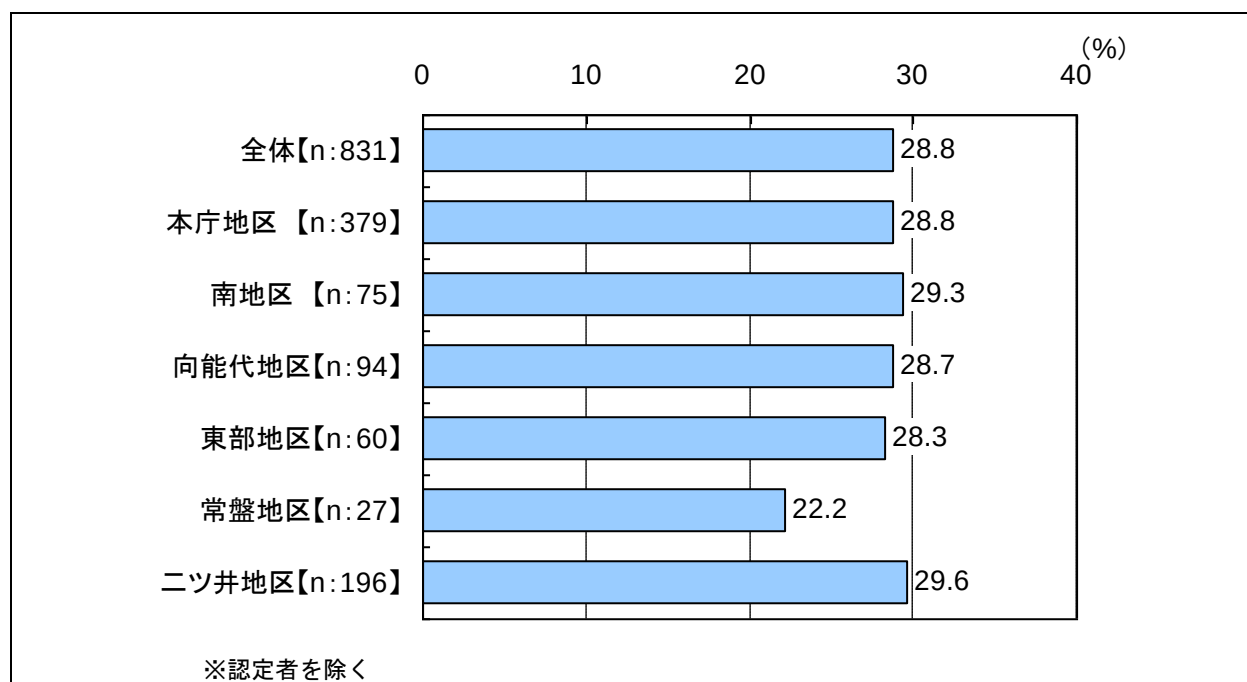
10 基本チェックリスト得点

※この項目の指標はリスク該当者割合でなく、肯定的な数値であることに注意。



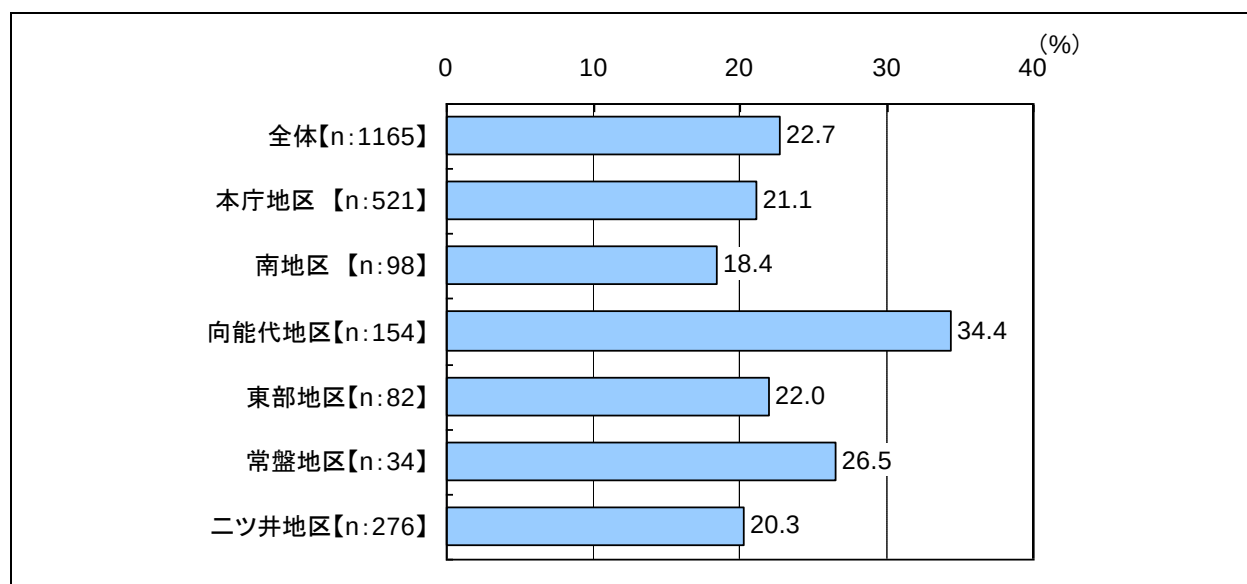
基本チェックリスト（ADL）について、地区別に平均得点をみると、「向能代地区」においてのみ全体の数値を下回っている。

11 二次予防対象者



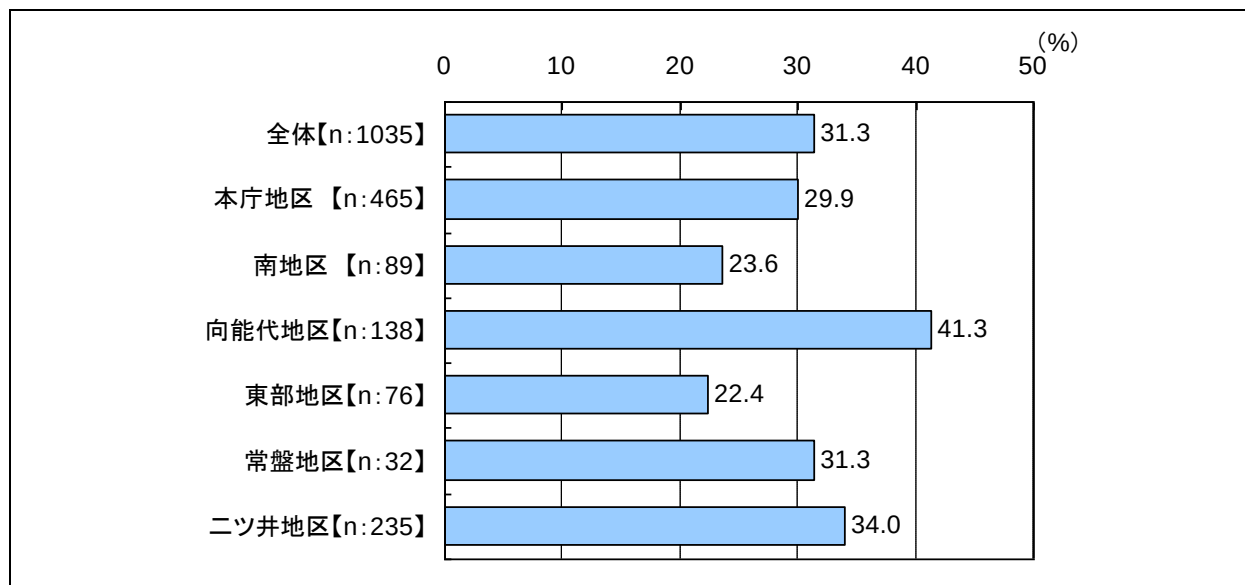
二次予防対象者について、地区別に該当者割合をみると、「常盤地区」で相対的に低い数値を示しているが、その他の地区についてはそれほど大きな差はないことが分かる。

12 手段的自立度（IADL）



手段的自立度（IADL）について、地区別に低下者割合をみると、「向能代地区」で他の地区よりもひととき高いほか、「常盤地区」においても相対的に高く、「全体」の数値を上回っている。一方、「南地区」では最も低い数値を示している。

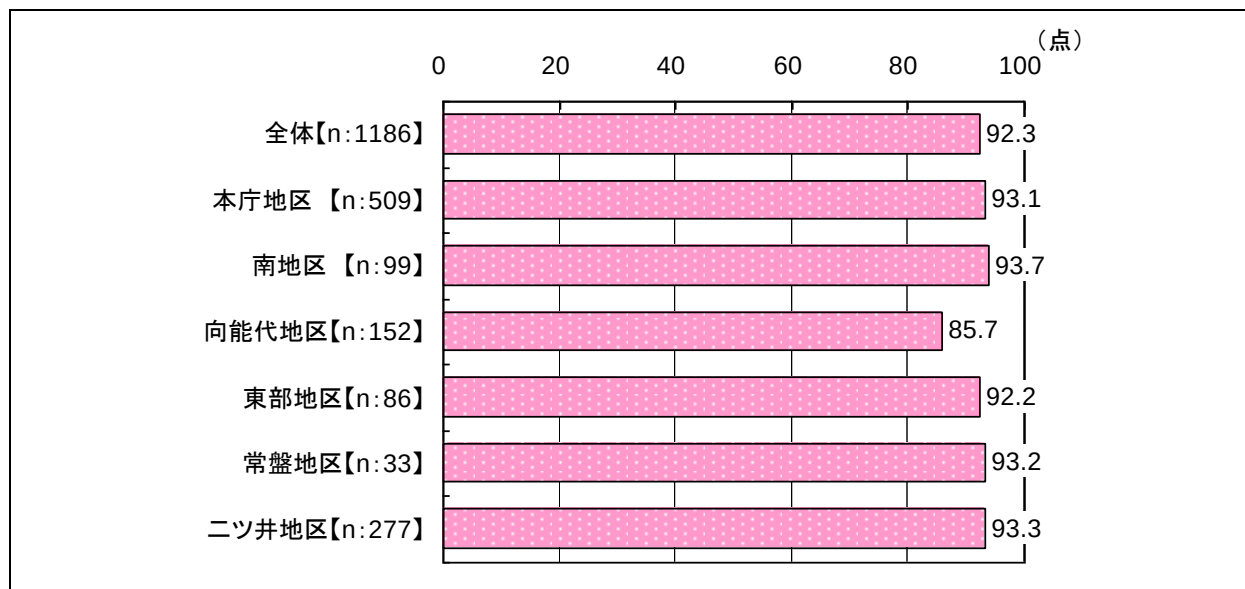
13 生活機能総合評価



生活機能総合評価について、地区別に低下者割合をみると、「向能代地区」でひとときわ高い数値を示す一方、「南地区」、「東部地区」では相対的に低い数値となっている。

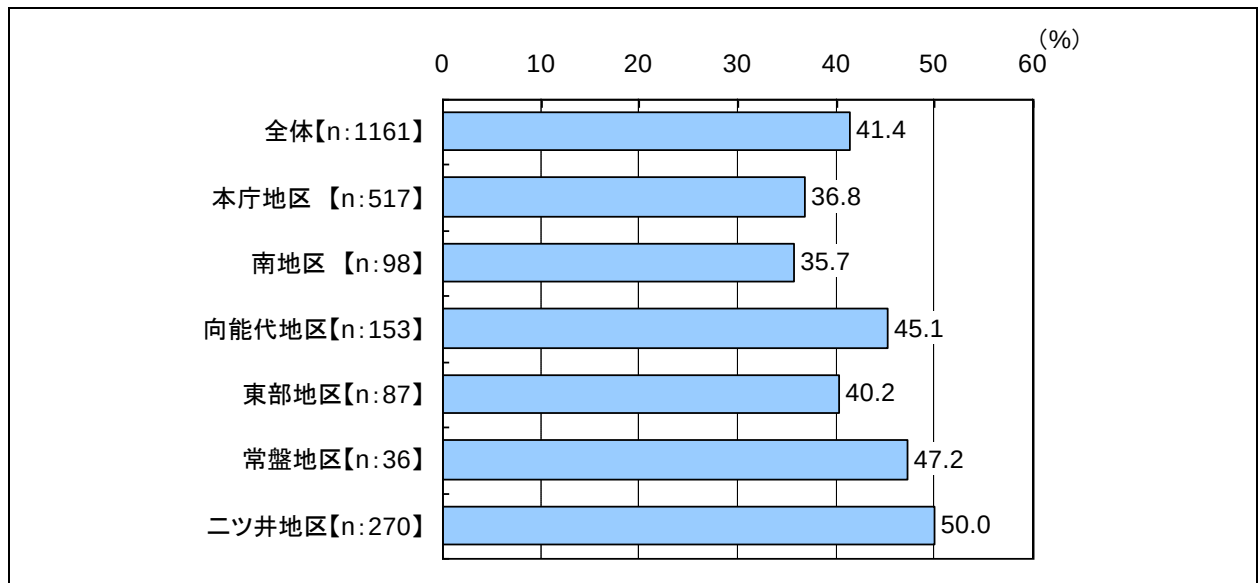
14 日常生活動作（ADL）

※この項目の指標はリスク該当者割合でなく、肯定的な数値であることに注意。



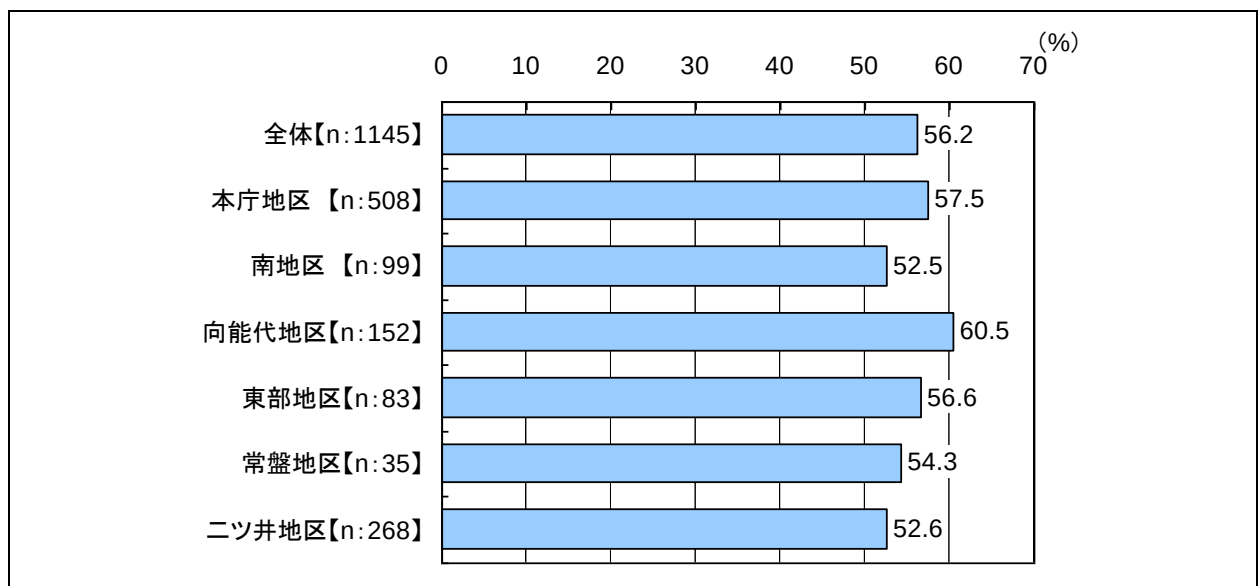
日常生活動作（ADL）について、地区別に平均得点をみると、「向能代地区」で相対的に低い数値を示している。

15 知的能動性



知的能動性について、地区別に低下者割合をみると、「ニツ井地区」で最も高いほか、「向能代地区」、「常盤地区」でも相対的に高い数値を示す一方、「本庁地区」、「南地区」では相対的に低い数値となっている。

16 社会的役割



社会的役割について、地区別に低下者割合をみると、「向能代地区」で最も高い数値を示す一方、「南地区」、「ニツ井地区」では相対的に低い数値となっている。

参考資料【判定方法】

判定方法

1 基本チェックリスト

(1) 運動器

運動器の判定に関しては、下記設問5点満点中、3点以上がリスクありと判定される。

設問番号	設問内容	回答と配点	
問2-Q1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0: はい	1: いいえ
問2-Q2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	0: はい	1: いいえ
問2-Q3	15分位続けて歩いていますか。	0: はい	1: いいえ
問3-Q1	この1年間に転んだことがありますか。	1: はい	0: いいえ
問3-Q2	転倒に対する不安は大きいですか。	1: はい	0: いいえ

(2) 閉じこもり予防

閉じこもり予防の判定に関しては、下記設問1点以上がリスクありと判定される。

設問番号	設問内容	回答と配点	
問2-Q5	週に1回以上は外出していますか。	0: はい	1: いいえ

(3) 転倒リスク

転倒リスクの判定に関しては、下記設問13点満点中、6点以上がリスクありと判定される。

設問番号	設問内容	回答と配点	
問3-Q1	この1年間に転んだことがありますか。	5: はい	0: いいえ
問3-Q3	背中が丸くなってきましたか	2: はい	0: いいえ
問3-Q4	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	2: はい	0: いいえ
問3-Q5	杖を使っていますか	2: はい	0: いいえ
問8-Q3	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか	2: 5種類以上	0: それ以外

(4) 栄養

栄養の判定に関しては、下記設問2点満点中、2点がリスクありと判定される。

設問番号	設問内容	回答と配点	
問4-Q1	6ヵ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1: はい	0: いいえ
問4-Q2	BMIが18.5未満か。(身長・体重よりBMIを算出)	1: はい	0: いいえ

(5) 口腔

口腔の判定に関しては、下記設問3点満点中、2点以上がリスクありと判定される。

設問番号	設問内容	回答と配点	
問4-Q3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1: はい	0: いいえ
問4-Q4	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1: はい	0: いいえ
問4-Q5	口の渇きが気になりますか。	1: はい	0: いいえ

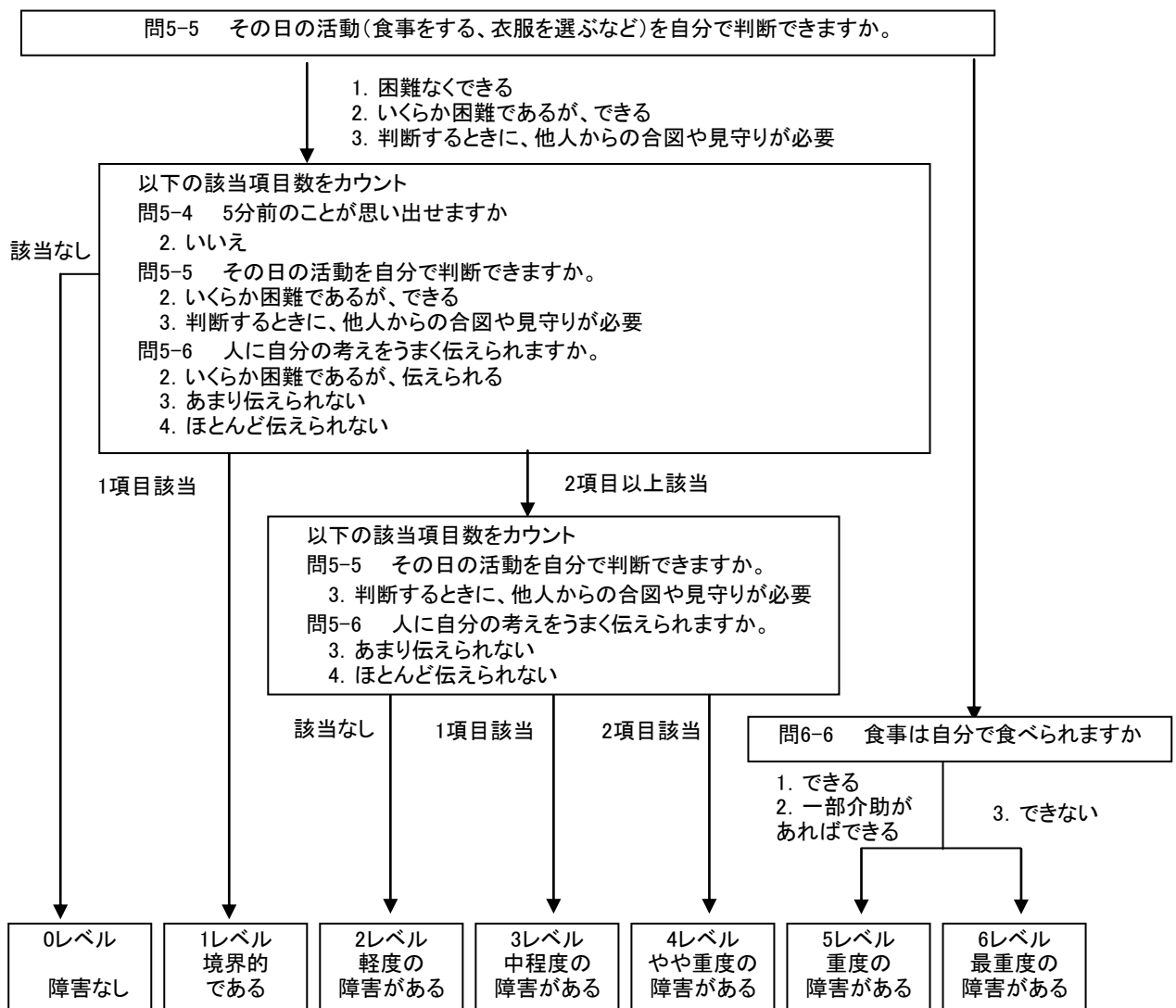
(6) 認知症予防

認知症予防の判定に関しては、下記設問3点満点中、1点以上が該当者と判定される。

設問番号	設問内容	回答と配点	
問5-Q1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。	1: はい	0: いいえ
問5-Q2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	0: はい	1: いいえ
問5-Q3	今日が何月何日かわからない時がありますか。	1: はい	0: いいえ

(7) 認知機能

設問に対する回答内容により、0レベル（障害なし）から6レベル（最重度の障害がある）までの評価を行う。判定方法は、下記のとおり。



（８）うつ予防

うつ予防の判定に関しては、下記設問5点満点中、2点以上が該当者と判定される。

設問番号	設問内容	回答と配点	
問8-Q8	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない。	1: はい	0: いいえ
問8-Q9	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。	1: はい	0: いいえ
問8-Q10	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる。	1: はい	0: いいえ
問8-Q11	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない。	1: はい	0: いいえ
問8-Q12	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする。	1: はい	0: いいえ

（９）虚弱

虚弱の判定に関しては、下記設問20点満点中、10点以上がリスクありと判定される。

設問番号	設問内容	回答と配点	
問6-Q1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)。	0: はい	1: いいえ
問6-Q2	日用品の買物をしていますか。	0: はい	1: いいえ
問6-Q5	預貯金のお出し入れをしていますか。	0: はい	1: いいえ
問7-Q5	友人の家を訪ねていますか。	0: はい	1: いいえ
問7-Q6	家族や友人の相談にのっていますか。	0: はい	1: いいえ
問2-Q1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0: はい	1: いいえ
問2-Q2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	0: はい	1: いいえ
問2-Q3	15分位続けて歩いていますか。	0: はい	1: いいえ
問3-Q1	この1年間に転んだことがありますか。	1: はい	0: いいえ
問3-Q2	転倒に対する不安は大きいですか。	1: はい	0: いいえ
問4-Q1	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1: はい	0: いいえ
問4-Q2	BMIが18.5未満か。(身長・体重よりBMIを算出)	1: はい	0: いいえ
問4-Q3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1: はい	0: いいえ
問4-Q4	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1: はい	0: いいえ
問4-Q5	口の渇きが気になりますか。	1: はい	0: いいえ
問2-Q5	週に1回以上は外出していますか。	0: はい	1: いいえ
問2-Q6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	1: はい	0: いいえ
問5-Q1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか。	1: はい	0: いいえ
問5-Q2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	0: はい	1: いいえ
問5-Q3	今日が何月何日かわからない時がありますか。	1: はい	0: いいえ

（10）二次予防対象者

二次予防対象者に関しては、上記「（１）運動」「（４）栄養」「（５）口腔」「（９）虚弱」の4つの項目のうち、1つでもリスクがある場合に、該当者と判定される。

2 日常生活動作（ADL）

日常生活動作（ADL）に関して、下記項目ごとの配点の最高点に該当する場合は、各項目において自立と判定される。

日常生活動作（ADL）全体に関しては、各設問の合計が100点の場合に自立と判定される。

問番号	項目	配点	選択肢
問6-Q6	食事	10:	「1.できる」
		5:	「2.一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる」
		0:	「3.できない」
問6-Q7	ベッドへの移動	15:	「1.受けない」
		10:	「2.一部介助があればできる」
		5:	「3.全面的な介助が必要」 （問6-8の回答が「1.できる」「2.支えが必要」の場合）
		0:	「3.全面的な介助が必要」 （問6-8の回答が「3.できない」の場合）
問6-Q9	整容	5:	「1.できる」
		0:	「2.一部介助があればできる」または「3.できない」
問6-Q10	トイレ	10:	「1.できる」
		5:	「2.一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」
		0:	「3.できない」
問6-Q11	入浴	5:	「1.できる」
		0:	「2.一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」または「3.できない」
問6-Q12	歩行	15:	「1.できる」
		5:	「2.一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」
		0:	「3.できない」
問6-Q13	階段昇降	10:	「1.できる」
		5:	「2.介助があればできる」
		0:	「3.できない」
問6-Q14	着替え	10:	「1.できる」
		5:	「2.介助があればできる」
		0:	「3.できない」
問6-Q15	排便	10:	「1.ない」
		5:	「2.ときどきある」
		0:	「3.よくある」
問6-Q16	排尿	10:	「1.ない」
		5:	「2.ときどきある」
		0:	「3.よくある」

3 日常生活

(1) 手段的自立度 (IADL)

手段的自立度 (IADL) に関しては、下記設問5点満点中、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価される。

問番号	設問内容	配点	選択肢
問6-Q1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)。	1:	「1.できるし,している」
		1:	「2.できるけどしていない」
		0:	「3.できない」
問6-Q2	日用品の買物をしていますか。	1:	「1.できるし,している」
		1:	「2.できるけどしていない」
		0:	「3.できない」
問6-Q3	自分で食事の用意をしていますか。	1:	「1.できるし,している」
		1:	「2.できるけどしていない」
		0:	「3.できない」
問6-Q4	請求書の支払いをしていますか。	1:	「1.できるし,している」
		1:	「2.できるけどしていない」
		0:	「3.できない」
問6-Q5	預貯金の出し入れをしていますか。	1:	「1.できるし,している」
		1:	「2.できるけどしていない」
		0:	「3.できない」

(2) 生活機能総合評価

生活機能総合評価に関しては、下記設問13点満点中、11点以上を「高い」、9、10点を「やや低い」、8点以下を「低い」として評価される。

問番号	設問内容	配点	選択肢
問6-Q1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)。	1:	「1.できるし、している」
		1:	「2.できるけどしていない」
		0:	「3.できない」
問6-Q2	日用品の買物をしていますか。	1:	「1.できるし、している」
		1:	「2.できるけどしていない」
		0:	「3.できない」
問6-Q3	自分で食事の用意をしていますか。	1:	「1.できるし、している」
		1:	「2.できるけどしていない」
		0:	「3.できない」
問6-Q4	請求書の支払いをしていますか。	1:	「1.できるし、している」
		1:	「2.できるけどしていない」
		0:	「3.できない」
問6-Q5	預貯金のおし入れをしていますか。	1:	「1.できるし、している」
		1:	「2.できるけどしていない」
		0:	「3.できない」
問7-Q1	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。	1:	「1.はい」
		0:	「2.いいえ」
問7-Q2	新聞を読んでいますか。	1:	「1.はい」
		0:	「2.いいえ」
問7-Q3	本や雑誌を読んでいますか。	1:	「1.はい」
		0:	「2.いいえ」
問7-Q4	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1:	「1.はい」
		0:	「2.いいえ」
問7-Q5	友人の家を訪ねていますか。	1:	「1.はい」
		0:	「2.いいえ」
問7-Q6	家族や友人の相談にのっていますか。	1:	「1.はい」
		0:	「2.いいえ」
問7-Q8	病人を見舞うことができますか。	1:	「1.はい」
		0:	「2.いいえ」
問7-Q10	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1:	「1.はい」
		0:	「2.いいえ」

能代市 高齢者福祉・介護保険に関するニーズ調査
調査結果報告書

平成23年 8 月

発 行 : 能代市

企画・編集 : 能代市 長寿いきがい課

編集協力 : 株式会社 ワイズマンコンサルティング
